



令和5年度指定管理業務 事業報告書

令和6年5月15日

浜松科学館指定管理者
乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

目次

I 指定管理施設の概要	
1. 施設概要	1
2. 指定管理者事業	1
(1) 指定管理者	1
(2) 指定管理期間	1
(3) 組織	1
(4) 浜松科学館運営委員会	2
(5) 共同事業体による運営支援体制	2
(6) 常設展示更新事業	3
II 施設の利用状況	5
1. 年間実績	5
2. 施設利用者状況	5
(1) 利用者数実績	5
(2) 入場者数実績	5
3. 利用者目標と達成状況	6
4. 利用料金と収入状況	6
(1) 科学館利用料金	6
(2) 利用料金収入実績	7
(3) その他の利用料金	7
5. COVID-19 対策	8
(1) マスク着用について	8
(2) 館内制限について	8
(3) 館内の消毒・換気等	9
(4) 広報・掲示物	9
III 科学館事業	10
1. 展示運営	10
2. 特別展・企画展・特別イベント	11
3. 展示体験プログラム・支援ツール	14
(1) 展示ストーリーブック	14
(2) 学習活用ワークシート	14
(3) 科学学習情報システム	14
4. 参加型学習	15
5. 特別プログラム「夜の科学館」	17
6. プラネタリウム	19
(1) 投映スケジュール	19
(2) 投映番組	19
7. アテンダント	25
8. 連携協力事業	26
(1) 学校等との連携	26
(2) 教育関係機関等との連携	31
(3) その他（研究機関や科学館との連携事業等）	35

9. サポーター会員制度	38
10. ボランティア活動支援	39
11. 調査・研究および収集・保存	44
12. パブリックレーションズ	45
13. 視察・調査	47
IV 維持管理業務	48
1. 科学館の維持保全業務	48
2. 特殊機材・展示物等保守管理業務	49
3. 什器・備品等保守管理業務	49
4. 清掃・警備・防災関係業務	50
(1) 清掃業務	50
(2) 警備業務	50
(3) 防災関係業務	50
(4) 安全管理	51
5. 修繕工事に関する業務	52
6. 事故・苦情等の対応状況	52
V 施設貸出	53
(1) 業務概要	53
(2) 貸室料金等	53
(3) 貸出実績	53
VI 収支報告	54
1. 収入	54
2. 支出	54
VII 自主事業	55
1. 必須の自主事業	55
(1) ミュージアムショップ	55
(2) カフェ	56
(3) 自動販売機	57
2. 任意の自主事業	57
(1) キッチンカーのフードサービス	57
(2) プリントシール機の設置	58
(3) 賑わい創出のマルシェ	58
3. 自主事業の収支	60
VIII 資料	61
1. 2023年度科学館入館観覧者状況	62
2. 2023年度イベント・講座実施状況	63
3. 利用者アンケート集計結果	69
4. 浜松科学館と大学・企業等との事業連携アンケート調査（評価）結果	79
5. メディア取材等一覧表	83
IX 指定管理者による自己評価	85

I 指定管理施設の概要

1. 施設概要

施設名称	浜松科学館（愛称 みらいーら）
施設住所	静岡県浜松市中央区北寺島町 256 番地の 3
敷地面積	9,911.47 m ² （サイエンスパーク 3,020 m ² 、自然観察園 1,742 m ² ）
建築面積	3,373.95 m ²
延床面積	6,891.95 m ²
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
竣 工	昭和 61 年（1986 年）4 月
展示更新	令和元年（2019 年）7 月 1 日

2. 指定管理者事業

（1）指定管理者 乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

指定管理者 1（代表企業）

所在地	東京都港区台場二丁目 3 番 4 号
名 称	株式会社乃村工藝社
代表者	代表取締役 社長執行役員 奥本 清孝

指定管理者 2（構成員）

所在地	静岡県静岡市駿河区森下町 1 番 35 号
名 称	株式会社 SBS プロモーション
代表者	代表取締役社長 永田 龍彦

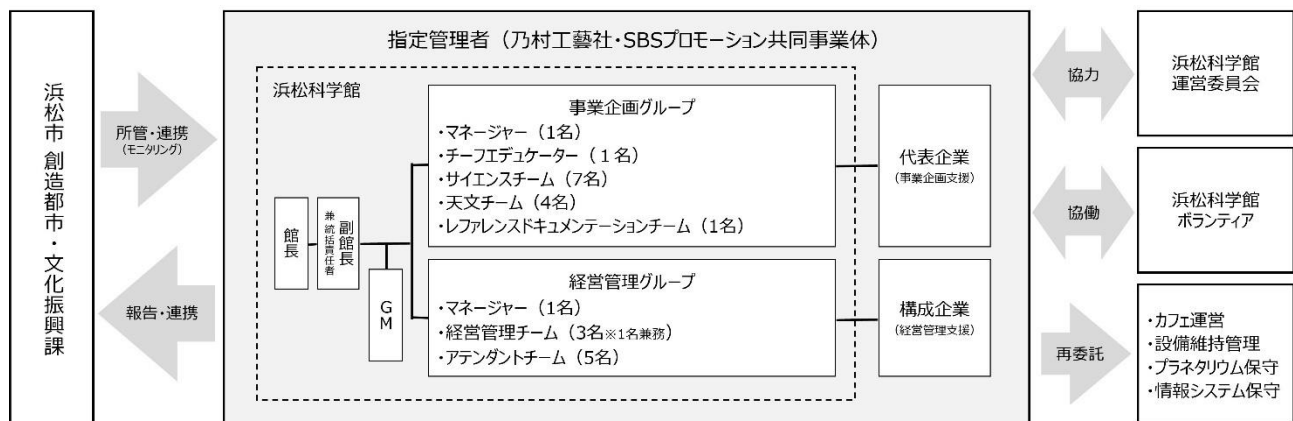
（2）指定管理期間 2019 年 7 月 1 日～2029 年 3 月 31 日

（3）組織

名誉館長 天野 浩・名古屋大学教授

館長 小田木 基行

（以下、常勤職員 25 人。下図は 2024 年 3 月 31 日現在）



(4) 浜松科学館運営委員会

科学館事業への助言および協力、評価等を目的に、学識経験者等で構成する浜松科学館運営委員会を開催しました。スタッフとも率直な意見交換を行い、事業価値を高めるためのさまざまなアイデアや考え方を話し合う機会となっています。

名 称	日時及び場所	内 容
浜松科学館運営委員会	7月5日(水) 14:30～17:40 浜松科学館1階セミナールーム	(1)令和4年度事業報告及令和5年度事業計画 ・各チームリーダーの活動実績報告 (2)常設展示更新事業 展示リニューアル基本計画 (案)の概要説明 (3)意見交換 等
	2024年1月24日(水) 14:00～16:30 浜松科学館1階セミナールーム	(1)常設展示更新事業 展示リニューアル 2024/2026 第一期基本設計中間報告 (2)令和6年度事業計画 (3)意見交換 等

委員名簿（順不同、敬称略）

氏 名	所 属	専 門（役員）
上野 征洋	静岡文化芸術大学 名誉教授	メディア論（委員長）
遊橋 裕泰	静岡大学情報学部 教授	ICT 研究（副委員長）
村井 良子	(有)プランニング・ラボ代表（ミュージアム・プランナー）	博物館経営
嶋野 聡	浜松市 市民部 文化振興担当部長	行政
名波 佳紀	浜松商工会議所 産業振興部 工業振興課長	産業界

(5) 共同事業体による運営支援体制

浜松科学館指定管理者である乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体構成員は、連帯して指定管理業務に責任を負うとともに、必要な経営資源（人材・業務インフラ・資金・情報）を供給します。また、各社の得意分野や専門性を活かして運営をバックアップします。さらに、共同事業体の各企業が管理運営する類似施設や静岡県内の文化施設との人的交流と事業の連携を進める環境をつくることで、運営ノウハウの共有や、スタッフ個々人の専門能力の向上を図っています。共同事業体の代表企業である乃村工藝社は、国内の主要科学館における展示の設計・製作及び施設の管理・運営実績を数多く有しており、蓄積された民間ノウハウと全国的なネットワークを活用することで浜松科学館の運営を支援します。また SBS プロモーションは、自社メディアを活用した効果的な広報・プロモーション活動とともに、地域人材や企業、大学との幅広いネットワークにより、魅力的な科学館づくりに寄与しています。

名 称	日時及び場所	内 容
展示貸し出し	7 月 22 日（土） ～9 月 30 日（土）	SBS プロモーションの指定管理施設である菊川文化会館アエルに、パズル展で作成したパズル数点を貸し出し、アエルのエントランスにて来館者に提供しました。
乃村工藝社 クリエイティブ本部 新入社員対象研修 PPP 運営 事業体験、発表	（事業体験） 10 月 25 日（水） ～28 日（土） 会場：浜松科学館 （発表会） 11 月 21 日（火） 会場：乃村工藝社本社	乃村工藝社の社員に対して、PPP 運営館の事業、運営を経験してもらいました。浜松ならではの視点や事業について研修し、研修の成果レポート発表会が、乃村工藝社本社にて開催されました。 本社勤務 4 名、大阪支社勤務 1 名 計 5 名

（6）常設展示更新事業

浜松科学館では、2019 年のリニューアルから 5 年目にあたる 2024 年度と 7 年目にあたる 2026 年度に常設展示の一部を更新することが計画されています。展示更新は、最新の科学的知見や科学技術の新たな動向を取り入れ、常設展示の魅力を高め、施設価値向上を目的に実施します。（参照：事業スキーム）また、当館の設置者、運営スタッフによる分野横断的なメンバー構成でプロジェクトチーム（PT）を結成し、展示更新業務の実行体制を整えました。2023 年度は、前年度のモニタリング調査を踏まえ、基本計画の策定及び第 1 期常設展示更新基本設計書の提出を行いました。「自由に楽しみ、『面白そう』があふれる広場」を更新のビジョンに、ワークショップスペース「ROOM」、可変性のある可動実験台「WAGON」等による、さまざまな人が思い思いに過ごすことのできる場所づくりを、地域のクリエイターとの協働で目指します。また、その土台となる DE&I※の実現にむけ、アクセシビリティ向上などの取り組みを行います。

※多様性（ダイバーシティ）、包摂性（インクルージョン）、エクイティ（公正性）を加えた目指すべき価値を表す概念です。

① 事業スキーム

名称	常設展示更新事業（浜松科学館 展示リニューアル 2024/2026）
事業期間	2024 年度（第 1 期）、2026 年度（第 2 期）
事業予算	第 1 期 48,999,500 円、第 2 期 50,000,500 円（いずれも消費税込金額） 協定書第 31 条第 4 項及び第 5 項の規定に基づき、展示更新に関する指定管理料として浜松市が指定管理者に支払う。
事業スキーム	1 事業形態 DBO 協定書に基づく指定管理業務の期間内事業として実施 2 目的 「各科学分野の進展や最新の科学的知見、展示協力企業の持つ科学技術の状況を鑑み、指定管理期間を通じて常設展示数の 1 割程度（企業協力展示を除く）を目安に計画的に更新していくものとする。」（運営業務に関する要求水準書 40 頁 抜粋）

② プロジェクトチーム

構成メンバー	内容等
浜松科学館 チーフエディケーター	4月より定例会議を行い、基本計画を策定し、運営委員会での審議を経て8月に基本計画書を提出しました。
浜松科学館 サイエンスチームリーダー	
浜松科学館 天文チーム副リーダー	
浜松科学館 RD チームリーダー	9月からは、浜松市所在の建築事務所（辻琢磨建築事務所）に設計協力を依頼し、計画書をもととした第1期基本設計図書を作成。第1期に新設する「ROOM」や「WAGON」を中心に更新箇所のパース等をまとめ、3月に提出しました。
浜松科学館 アテンダントチームリーダー	
浜松科学館 経営管理グループマネージャー	
浜松科学館 事業企画グループマネージャー	
浜松科学館 副館長	
株式会社乃村工藝社（本社） PPP 課	
浜松市 市民部 創造都市・文化振興課 生涯学習推進グループ長	
浜松市 市民部 創造都市・文化振興課 生涯学習推進グループ主任	

③ 第1期更新 概要

項目	内容
更新箇所	・1 F：授乳室の新設、現行授乳室のボランティアルームへの変更 ・M2F：みらいーらステージのバックヤード増設、水道設備追加 ・2 F：「ROOM」、「WAGON」の新設、「へんてこ楽器」の新設、授乳室の新設 ・一部展示の撤去・移設 ・館内サインの見直し、追加
設計協力	合同会社辻琢磨建築企画事務所（浜松市浜名区）
その他協力	・特定非営利活動法人 Collable（東京都文京区） ・Fab Lab 浜松（浜松市中央区） ・株式会社ナイン（焼津市）
オープン時期（予定）	2025年3月



Ⅱ 施設の利用状況

1. 年間実績（2023年4月1日～2024年3月31日）

開館日数 314日
 休館日数 52日（うち8日は保守点検等のための休館）
 開館時間 9：30～17：00
 ・夏季開館時間延長 9：30～18：00（7月20日～8月31日）
 ・その他イベント等で適宜、開館時間を延長
 ・施設貸出 9：30～21：30

2. 施設利用者状況

(1) 利用者数実績

利用者数総数		215,474人
常設展示入場者・プラネタリウム観覧者数		174,215人
		80.9%
特別展・企画展入場者数		21,101人
		9.8%
講座・イベント参加者数		16,977人
		7.9%
施設貸出（ホール・セミナールーム）利用者数		3,181人
		1.5%

(2) 入場者数実績

常設展示入場者数：174,215人			
年齢別	大人	中人	小人
	82,907人	2,482人	88,826人
	47.6%	1.4%	51.0%
種 別	個人		団体
	156,889人		17,326人
	90.1%		9.9%
学校団体等利用状況：17,419人			
幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他
138園	121校	23校	87団体
5,519人	7,567人	932人	3,401人
31.7%	43.4%	5.4%	19.5%

3. 利用者目標と達成状況

2022年3月のプラネタリウム機器更新事業から2年目となり、リニューアルによる集客効果が低減する中でも、常設展入場者の47%がプラネ・大型映像を観覧しています。2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」となり、集客動向に大きな影響をもたらさなくなりましたが、通期的な利用者増による底上げ傾向を堅持し、年度目標を達成することができました。要因としては、サイエンスショーやミニワーク等の体験型プログラムのニーズがマッチしたこと、プラネタリウム番組の更新頻度を3か月から2か月に高めたことを併せて、1年以内の繰り返し利用が定着してきたものとみられます。また、特別展・企画展も集客に寄与しており、特に2023年3月から5月初旬にかけて開催された特別展（ビーコロ展 2 in 浜松）の人气が顕著となっています。

月	常設展入場者数（人）				プラネ・大型映像観覧者数（人）			
	目標	構成比	実績	達成率	目標	構成比	実績	達成率
4月	12,000	6.9%	13,100	109.2%	6,600	6.7%	5,020	76.1%
5月	12,000	7.3%	11,677	97.3%	6,600	6.7%	4,718	71.5%
6月	10,000	6.0%	10,020	100.2%	5,500	4.4%	4,707	85.6%
7月	17,000	9.9%	17,553	103.3%	9,400	8.9%	8,739	93.0%
8月	38,000	19.8%	34,209	90.0%	21,000	17.8%	18,309	87.2%
9月	13,000	6.9%	11,778	90.6%	7,100	6.7%	5,838	82.2%
10月	12,000	6.9%	11,195	93.3%	6,600	4.4%	5,495	83.3%
11月	11,000	6.0%	11,261	102.4%	6,000	4.4%	4,694	78.2%
12月	10,000	6.9%	9,375	93.8%	5,500	8.9%	4,857	88.3%
1月	10,000	7.8%	11,056	110.6%	5,500	8.9%	5,300	96.4%
2月	10,000	6.9%	13,471	134.7%	5,500	8.9%	5,731	104.2%
3月	15,000	8.6%	19,520	130.1%	8,200	13.3%	8,453	103.1%
合計	170,000	100.0%	174,215	102.5%	93,500	100.0%	81,861	87.6%

4. 利用料金と収入状況

（1）科学館利用料金

浜松科学館条例（昭和61年条例第30号）に基づき、利用料金を以下の通りに設定しています。利用料金制度（地方自治法第244条の2第8項・第9項）によって、利用料金は指定管理者の収入として収受し、管理運営業務経費等に充当されています。

区 分		常設展入場料			常設展入場料＋プラネタリウム1回分観覧料 （大型映像1回分観覧料）		
		大人	中人 （高校生）	小人 （中学生以下）	大人	中人 （高校生）	小人 （中学生以下）
通常料金		600 円	300 円	無料	1,100 円	550 円	無料
団体 料金	浜松市 湖西市	420 円	210 円	無料	770 円	380 円	無料
	その他地域	540 円	270 円	無料	990 円	490 円	無料

※70歳以上の方は入場料および観覧料が無料となります。

(2) 利用料金収入実績（科学館入場料、プラネタリウム観覧料）

※後納分の共済組合助成券、わーくんクーポン券の利用料金は本表に含みません。（別表参照）

区 分		利用料金
個人	常設展	22,389,900円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	30,906,750円
	観覧券	1,380,750円
	割引	-281,590円
	A 個人総合	54,395,810円
団体	常設展	184,530円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	311,640円
	B 個人総合	496,170円
個人・団体合計（A+B）		54,891,980円

（別表）

区 分	利用人数	利用料金
静岡県市町村職員共済組合助成券（後納分）	1,902人	1,231,800円
わーくんクーポン券（後納分）	367人	110,100円
合 計	2,269人	1,341,900円

(3) その他の利用料金

① 年間パスポート

科学への興味関心を深め、コアな利用者を育成するため、繰返し利用（リピート利用）を促す年間パスポートを発行しました。常設展入場に適用できます。

項 目		購入者数	料 金	科学館入場者数	1人当たり利用回数
購入者・利用者数	大 人	1,178人	1,767,000円	5,683人	4.8 回
	中 人	3人	2,250円	12人	4.0 回
	合 計	1,181人	1,769,250円	5,695人	4.8 回

② 企画展・特別展・特別イベント

開催規模や内容に応じて利用料金を設定します。2023年度は、夏の特別展「これって光？キラッとライトな10の実験」、秋の企画展「科学の学園祭 2023」、冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり 2023」、特別イベント「さがしてためしてみらいーら 2」「さがしてためしてみらいーら 3」、春の特別展「浜松ミクロ散歩」を開催しました。企画展は大人・中人・小人ともに常設展チケットで入場可、特別展は有料（未就学児は無料）としました。

・特別イベント

「さがしてためしてみらいーら 2」「さがしてためしてみらいーら 3」

参加費として冊子 1 冊につき 100 円を設定

開催期間	事業名	参加人数	参加費
4 月 1 日～12 月 23 日（231 日）	さがしてためしてみらいーら 2	2,269 人	226,900 円
12 月 24 日～3 月 31 日（84 日）	さがしてためしてみらいーら 3	1,188 人	118,800 円
計 315 日間	合計	3,457 人	345,700 円

③ その他の料金

催しの実施に際して、材料費等の実費相当額については、利用者から受益者負担分をいただきました。

区分	利用者数	金額
ミニワークショップ等参加者数・料金	13,981人	2,669,800円
みらいーらカード発行数・料金	545人	163,500円
貸出端末利用者・料金	4人	800円
合計	14,530人	2,834,100円

5. COVID-19 対策

COVID-19 による感染症対策について、浜松科学館来館者のマスク着用に関しては、2023 年 2 月 10 日付の厚生労働省の事務連絡を受け、以下の通り行いました。また、2023 年 5 月 8 日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、2 類相当から 5 類感染症に移行されたことにより（「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく）、法律に基づき施設が利用者に対して、さまざまな要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し市民の自主的な取組をベースとした対応を基本としました。

※本報告書では、世界保健機関（WHO）の決定に基づき、新型コロナウイルス感染症の正式名称を「COVID-19」と表記します。

（1）マスク着用について

	個人利用者	団体利用者
2023 年 3 月 13 日～ 2024 年 3 月 31 日	・個人の判断を基本とする。	・左記個人利用者に準じて、団体の責任者に判断を求める。

（2）館内の制限について

2023 年 3 月 13 日よりマスク着用の考え方が見直されたこと等により、入場者数・観覧者数等の制限を撤廃、機械換気設備の適切な作動に留意するとともに、今年度は、来館者の安心・信頼を損なわないことを重視しながら、以下のような対応をしました。

① 入場者数・観覧者数

	2023年3月13日～2024年3月31日
入場者数(有料ゾーン滞留者数)	制限なし
プラネタリウム観覧者数(1回あたり)	190人/190人定員

② サイエンスショー・ミニワークショップ

◎サイエンスショー

1回15分～20分、1日5回の開催を継続しました。定員：制限なし

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
11:00	12:00	13:00	14:00	15:00

◎ミニワークショップ

1階「出口ゲート付近」にて、1回あたり5組で、参加者が作り方を見ながら個々に作成する方法で開催しました。2023年3月13日からは制限を撤廃し、1回あたり8組まで参加可能としました。

③ 展示物等の利用

利用停止又は利用の一部停止。(4月1日～2024年3月31日)

◎利用停止

- ・ボイスチェンジパイプ（音ゾーン）
- ・子ども通路（6月1日から、利用を再開しました）

◎利用の一部停止

- ・電子音楽の世界（音ゾーン）：マイクのみ利用停止
- ・バイオメテックス（自然ゾーン）：ヤモリグローブのみ利用停止

(3) 館内の消毒・換気等

正面入口及び各フロアに消毒液を配置するとともに、館内は全館空調システムにより、機械換気を実施しました。

(4) 広報・掲示物

3月13日より、「皆さまに安心してご利用いただくために」を、入り口に掲出しました。

皆さまに安心してご利用いただくために

以下についてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ご利用に際して

手洗・こまめな手指消毒をお願いいたします。



咳や発熱の症状があるお客様はご来館をお控えください。



館内で行っていること

機械換気・消毒液での定期的な清掃を行います。



ショップのテスターや展示サンプル等を一部撤去します。



レジガードの設置や、コイントレーの使用をします。



Ⅲ 科学館事業

1. 展示運営

常設展示アイテム 91 点と屋外展示、自然観察園が常時良好な状態で利用できるよう管理するとともに、サービス価値を高めるためのさまざまな体験プログラム、学習ツール等を用意して多角的な展示運営事業を展開しました。

フロア	点数	ゾーニング	アイテム			
1 階	12点	自然ゾーン	浜松のすがた アクティブ・リサーチ・デスク デジタルスコープで見る 顕微鏡で見る でんけんラボ	いきものの色覚 センサーでとらえる世界 はままつ環境ウォール リアルタイム地震 アースモニター	コレクションウォール バイオミメティクス	
2 階	21点	光ゾーン	アクティブ・ライト・シューティング 光のテーブル いろいろな鏡 カラーミキサー 瞳のかんさつ	光ファイバーのしくみ 光通信のしくみ 光ではかる 光を利用する 光で動きをとらえる	目のしくみ 立体に見えるワケ 色当てチャレンジ ゾートロープ 視覚のふしぎ	かけ絵あそび 光の波長と技術 ようこそ LEDの世界へ イ号テレビ 高柳 健次郎 堀内 平八郎
2 階	22点	音ゾーン	アクティブ・サウンド・ライブ 弦の動き おんさじっけん ボイスチェンジパイプ ドップラーテーブル 耳のしくみ	発声のしくみ どこまで聞こえる？ どう聞こえる？ 効果音をつくらう おでこで聞こう 音でしらべる	音を利用する エコーチューブ 音のしぶき 音のかたち 響きの変わる部屋	ピアノアクション 電子楽器の世界 山葉 寅楠 河合 小市 梯 郁太郎
2 階	20点	カゾーン	アクティブ・パワー・コースター ビジュアルビリヤード パスカルのイス 縦波と横波 砂鉄でお絵かき	水のテーブル 振り子の動き いろいろ発電 電磁誘導テーブル 風のテーブル	メカニカルウォール メカニカルブロック クルマの基本と応用 バイクの基本 EVサーキット	船を動かそう パワーアシストつなひき 鈴木 道雄 本田 宗一郎 川上 源一
2 階 3 階	10点	宇宙ゾーン	アクティブ・スペース・ミッション 星座を見つけよう スイングバイ ロケットを飛ばそう カミオカンデVR	スペースホットトピック (3F) 月面AR (3F) 笹ヶ瀬隕石 (3F) H 2 A ロケット (模型・3F) 光学式プラネタリウム (3F)		
2 階	3点	新技術コーナー	ローム浜松株式会社 原田精機株式会社 静岡大学工学部			
2 階	3点	やらまいか テクノロジー コーナー	①浜松市スマート農業推進委員会 展示期間 2023年8月～10月 ②株式会社リサイクルクリーン 展示期間 2023年8月～10月 ③天龍製鋸株式会社 展示期間 2023年10月～2024年4月			
合計	91点					

屋内施設、屋外施設・展示については、常時、開放されている空間であるため、特に安全で快適な状況を保つよう努めるとともに、さまざまな事業を展開する場として活用しています。

区分	数量	ゾーニング	ファシリティー・アイテム			
屋内	5箇所	屋内施設	2 階 キッズ・サイエンス・ランド	中 2 階 みらいーらステージ みらいーらテーブル	1 階 ものづくりラボ サイエンスラボ	
屋外	8箇所	屋外設備・展示	サイエンスパーク パワーアスレチックハウス サウンドコレクトチエア マテリアルベンチ	芝生広場 バラボラ サイエンス農園 ニュートンのリンゴの木 醍醐寺のクローン桜	デッキ 霧のステージ	自然観察園

2. 特別展・企画展・特別イベント

特別展・企画展を開催し、市民が科学に親しむきっかけをつくるとともに、浜松の魅力を広く発信することに努めています。

名 称	開催時期	実施内容
春の特別展 「ビーコロ展 2 in 浜松」	4月1日～9日、11日～16日、 22日～30日、5月1日～7日 計 31 日間 	2021 年度の春の企画展第 2 弾。2023 年 3 月 21 日から開催。スタッフが内製したビーコロ装置にビー玉を入れ、ビー玉の動きを追って楽しみながら、落ちる、転がる、跳ねるなどの力学的な面白さを体感できる催しを実施しました。 入場料 一律 300 円 入場者数（大人・中人・小人） 9,103 人 ※リピート数 2,048 人
夏の特別展 「これって光？キラッと ライトな 10 の実験」	7月20日～8月31日 計 43 日間 	「虫眼鏡はなぜ大きく見える」「カメラはなぜ映る」など身近な道具を通して、光について体験しながら学べるもので、一般的な光展示とは異なり、浜松科学館らしい展示となるよう工夫しました。 入場料 一律 300 円 入場者数（大人・中人・小人） 8,764 人 ※リピート数 837 人
秋の企画展 「科学の学園祭 2023」	10月7日～29日 計 23 日間 	来場者と学生、学生どうしでのサイエンスを介した交流を目的として、浜松市および近隣の学生たちによる科学活動の発表の場を設けました。また、夏季に実施した「みらいーら自由に研究ラボ」の成果をポスターにまとめて展示し、ジュニアボランティアもブース出展しました。（無料ゾーンにて開催） 入場者数（大人・中人・小人） 1,575 人

名 称	開催時期	実施内容
冬の企画展 「みんなで熱中！ ものづくり2023」	12月23日～ 2024年1月8日 計11日間 	用意した材料を使ってゴムの力で飛ばすロケットを作り、飛距離を競うコンテストを実施しました。飛距離が伸びるように、試行錯誤しながら改良する過程で、ものづくりの楽しさを体感できる催しとしました。 ※コンテスト参加費 300 円 入場者数（大人・中人・小人） 783 人
春の特別展 「浜松ミクロ散歩」 ※5月6日(月)まで 開催	2024年3月20日～ 3月31日 計11日間 	浜松の名物・名所を、電子顕微鏡を使ってミクロな視点で紹介。現地取材と電子顕微鏡での観察結果のパネル展示や、現物を用いた解説を実施しました。地域産業の作り手、守り手の皆さんに協力していただいた展示です。 入場料 一律 300 円 入場者数（大人・中人・小人） 474 人 ※リピート数 34 人
特別展示 「プラネタリウムをより 一層楽しむための豆知識」	7月20日～ 2024年1月8日 計148日間 	プラネタリウム誕生 100 周年にあたり、プラネタリウム 100 周年記念トレーラーの上映や、プラネタリウムが作られた理由、プラネタリウムの種類等を Q&A 形式で紹介するパネル展示を開催しました。 (2F 宇宙ゾーンにて開催)

名 称	開催時期	実施内容		
特別イベント 「さがしてためして みらいーら 2」	4 月 1 日～12 月 22 日 計 230 日間 	親子で常設展をより楽しんでもらうために開催しました。常設展示内の 5 ゾーンそれぞれで、問題冊子の流れに沿って 5 つの問題を解いていく中で、観察や実験を行うことを促す仕掛けになっています。 参加費 1 冊 100 円。 <table><tr><td>参加人数（大人・中人・小人）</td></tr><tr><td>2,269 人</td></tr></table> 4 月 233 人 5 月 222 人 6 月 197 人 7 月 357 人 8 月 653 人 9 月 212 人 10 月 149 人 11 月 153 人 12 月 93 人	参加人数（大人・中人・小人）	2,269 人
参加人数（大人・中人・小人）				
2,269 人				
特別イベント 「さがしてためして みらいーら 3」	12 月 23 日～ 2024 年 3 月 31 日 計 84 日間 	科学館をより楽しんでもらうための親子向けのツールの第 3 弾です。 参加費 1 冊 100 円。 <table><tr><td>参加人数（大人・中人・小人）</td></tr><tr><td>1,188 人</td></tr></table> 12 月 94 人 1 月 301 人 2 月 273 人 3 月 520 人	参加人数（大人・中人・小人）	1,188 人
参加人数（大人・中人・小人）				
1,188 人				
特別イベント みらいーらブックセレク ション展	6 月 17 日～8 月 31 日 計 71 日間 	市内の小・中学生を対象に、その人に読んでほしい 1 冊をスタッフが選書し贈呈しました。当選者の読後のメッセージとスタッフのメッセージを本とともにライブラリーに展示しました。 共催：浜松ロータリークラブ 応募人数：48 人 本の贈呈：48 人 また、6/17 には記念品贈呈式をみらいーらステージで行い、14 人（保護者 12 人）が出席しました。		

3. 展示体験プログラム・支援ツール

(1) 展示ストーリーブック

自然を起点とし、歴史・文化との相互作用を経て、力・音・光・宇宙という4つの分野でさまざまな産業が生まれてきた浜松地域のストーリーを、当館の展示ゾーンに関連付けて紹介するコンテンツです。科学館内に掲示するとともに、ウェブサイトでも公開しています。



(2) 学習活用ワークシート

展示アイテムを利用した小学生の主体的な学び、深い学びを促進することを目的としています。児童を対象とした学習活用ワークシートを小学校の単元別に展開し、主に学校団体による学習利用の際に活用されています。

内容：3年生「磁石の性質」・「光の性質」

4年生「月と星」

5年生「電流の働き」・「振り子の運動」

6年生「電気の利用」・「土地のつくりと変化」

(3) 科学学習情報システム

展示に関わる情報と科学的知見の提供を行うとともに、クイズ形式で学びの促進を図る科学学習情報システムを運用しています。クイズの回答によるポイントや個人の体験の記録を残すことで、自宅など科学館の外での振り返りや自分で調べる発展的な学びにつながることを目的としています。

ポイントを貯める機能や、チャットボット機能を活用し、スマートフォン・アプリあるいはICカード（みらいーカード）を用いた学習支援と展示の利用促進を図りました。獲得したポイント数に応じて、オリジナルグッズや特別体験などの特典を提供することで参加意欲が増すようにしました。

4. 参加型学習

利用者サービスの目標を「創発的な学びの場の構築」として経験価値の向上に努めました。多様な利用者に向けたさまざまな体験プログラムをスタッフ自らが企画・実施し、身近な事象から宇宙まで幅広く興味関心を喚起するよう図りました。いずれも他の類似施設で行われているものより大規模な仕掛けで参加機会も多く、利用者の科学への関心を呼び起こし、思い出や記憶に残る浜松科学館ならではの人気プログラムとなっています。

名 称	実 績	内 容
科学学習情報システム	アプリ登録数 460 人 カード登録数 598 人 (合計) 1,058 人	ポイントの蓄積を楽しんでいる方が多く、館への愛着醸成や再来館を促すツールとして、継続した効果がみられます。アプリは公式 Web サイトと連動し、浜松科学館に関する情報を取得できるツールとしても機能しています。
アクティブ展示解説	実施回数 1 日 0～10 回 453 回 参加者数 4,020 人	5 ゾーンの展示アイテムや野外展示物を活用して、利用者とスタッフがコミュニケーションをとることができる解説を行いました。平日に 2 回、休日には 4 回ずつを目安に、多くの方に体験していただけるよう創意工夫をしながら実施しました。浜松の偉人を紹介する紙芝居、サイエンスパークでのシャボン玉ショー、春の特別展「浜松マイクロ散歩」の関連イベントとして「でんけんラボ」の開放など幅広いテーマを扱いました。
サイエンスショー	実施回数 1 日 5 回 1,613 回 参加者数 50,556 人 (1 回平均 31 人参加)	みらいーらステージで大規模に行っているサイエンスショーは、科学館のメインコンテンツとして利用者の人気プログラムに定着しました。演者と参加者がショーを介して交流する中で、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムとしています。
	実施回数（夜の科学館） 1 日 2 回 24 回 参加者数 1,059 人 (1 回平均 44 人参加)	毎月第 2 金曜日に開催した「夜の科学館」で、大人向けのサイエンスショーを実施しました。日中の時間帯に行うサイエンスショーと比べて、原理の解説をより詳細にするなどの工夫を加えたものです。科学館が大人でも楽しめる場所であるという印象を少しずつ浸透させていきます。

名 称	実 績	内 容
ミニワークショップ	実施回数 1 日 1 回 320 回 参加者数 8,655 人 ※うちミニワーク引換券利用者 215 人	10～15 分程度で体験できる、実験や工作などのプログラムを行いました。およそ 2 週間ごとに内容を入れ替え、コンテンツの鮮度を保ち、リピート参加を促進しています。加えて、科学館ボランティアが参画しやすく、利用者との交流の場としての役割も定着しました。
特別ミニワークショップ	実施回数 3 回 7/28 磐周教育研修会 18 人 8/1 浜松市教育委員会理 科部会研修会 74 人 8/4 浜松磐田信用金庫 (キット販売) 50 人	研修会を実施した後、特別ミニワークショップや実験工作のワークショップ、常設展見学、生解説プラネタリウム観覧、電子顕微鏡を使った解説などを体験していただきました。8/4 の浜松磐田信用金庫は、窓口にてワークショップを実施したいとの要望があり、当館で実施したミニワークショップ「偏光カード」「ビー玉万華鏡」のキットを販売して、制作方法を提供しました。
企画展 コンテスト	参加型の企画展でものづくりのコンテストを実施しました。 実施回数 1 日 3 回 33 回 参加者数 417 人	冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり 2023」の中で「遠くへ飛ばそう！手づくりロケット」をテーマにコンテストを実施しました。指定された材料を使って、ゴムの力で飛ばすロケットを作り、飛距離を競い合うとともに、試行錯誤をする過程でモノづくりの楽しさを感じられるように工夫しました。
教室・講座・イベント (サイエンスラボ、野外 ほか)	実施回数 99 回 参加者数 16,997 人	短時間で気軽に参加できる「15 分で科学実験、展示実験」、1 時間程度の実験・工作・自然観察、サイエンスカフェ形式で開催する「トークオブワンダー」など、多種多様な形式のイベントを考案、実施しました。
WS・イベント合計	実施回数 455 回 参加者数 26,211 人	

5. 特別プログラム「夜の科学館」

利用者層の拡大を目指し、毎月第2金曜日に大人（高校生以上）限定の「夜の科学館」を開催しました。毎月異なるテーマに沿ったさまざまなコンテンツを用意し、大人が楽しめる時間と空間を創出しました。

	テーマ	内 容	参加者数
4 月	【歴史】 家康を知ろう	・紙芝居「浜松のものづくりは家康からはじまった！」 ・特別サイエンスショー「家康が体験した科学」 ・でんけんラボ「鉛筆の濃い⇄薄い」 ・ミニワークショップ「墨流しコースター」 ・特別投映「大河ドラマ放送記念 星と家康」 ・ミュージアムショップ「家康グッズ」	146 人 常設展のみ 6 人 プラネタリウム 140 人
5 月	【世界】 浜松から世界を感じよう	・特別サイエンスショー「サイエンスショーで世界旅行」 ・でんけんラボ「サンゴは結晶で出来ている!？」 ・ミニワークショップ「フェルトで地球を作ろう」 ・特別投映「南十字星が見頃！南半球の星空」 ・ミュージアムショップ「オーロラグラス」	123 人 常設展のみ 6 人 プラネタリウム 117 人
6 月	【性】 神話と科学で語る性の世界	・サイエンストーク「子どもには聞かせられない生き物の話」 ・サイエンスラボ「ウニの発生をみよう！」 ・でんけんラボ「性的なキノコの観察」 ・ミニワークショップ「ポストカードに咲かせるレジンフラワー」 ・特別投映「子どもには聞かせられないギリシャ神話」 ・ミュージアムショップ「本」	206 人 常設展のみ 20 人 プラネタリウム 186 人
7 月	【食】 食べ物を食べずに見てみよう	・特別サイエンスショー「試したくなる？食材を使って大実験」 ・でんけんラボ「ウナギに鱗はある？ない？」 ・ミニワークショップ「葉脈標本のしおりをつくろう」 ・特別投映「もうすぐ土用の丑！幻のうなぎ座」 ・ミュージアムショップ「浜名湖グッズ」	118 人 常設展のみ 9 人 プラネタリウム 109 人
8 月	【光】 ヒカリを知ろう・感じよう	・夏の特別展ツアー ・特別サイエンスショー「ライト・オブ・サイレンス」 ・ミニワークショップ「虹色レジンキーホルダー」 ・特別投映「オーロラ」 ・ミュージアムショップ「グラス・本」	263 人 常設展のみ 78 人 プラネタリウム 185 人
9 月	【いにしえ】 今に繋がるムカシを掘り出そう	・常設展示ツアー「自然」 ・特別サイエンスショー「五感で楽しむ鉱物の世界」 ・でんけんラボ「まるで宝石！アンモナイト」 ・ミニワークショップ「化石探し体験」 ・特別投映「キトラ古墳壁画 天文図と中国星座の世界」 ・ミュージアムショップ「化石・鉱物」	164 人 常設展のみ 16 人 プラネタリウム 148 人

	テーマ	内 容	参加者数
10月	【音楽】 音を楽しむ	・常設展示ツアー「音」 ・特別サイエンスショー「サウンド・オブ・サイレンス」 ・でんけんラボ「何でできてる？バイオリンの弓」 ・ミニワークショップ「スマホスピーカー」 ・特別投映「懐メロプラネタリウム」 ・ミュージアムショップ「音グッズ」	143 人 常設展のみ 12 人 プラネタリウム 131 人
11月	【体】 身体を知ろう	・サイエンストーク「身体を知ろう」 ・サイエンスラボ「ギムネマ茶体験」 ・でんけんラボ「歯の断面を見てみよう」 ・ミニワークショップ「お風呂で実験！炭酸ガス入浴剤」 ・特別投映「熟睡ブラ寝タリウム」 ・ミュージアムショップ「癒し快眠グッズ」	161 人 常設展のみ 8 人 プラネタリウム 153 人
12月	【空】 空を見ると分かること	・常設展示ツアー「宇宙」 ・特別サイエンスショー「お天気実験」 ・でんけんラボ「羽根の比較～飛べる鳥と飛べない鳥～」 ・ミニワークショップ「3D 星座模型」 ・特別投映「ふたご座流星群」 ・ミュージアムショップ「星グッズ、クリスマス雑貨」	155 人 常設展のみ 17 人 プラネタリウム 138 人
1月	【旅】 科学と一緒に出かけよう	・常設展示ツアー「力」 ・特別サイエンスショー「鉄道」 ・でんけんラボ「超拡大！天浜線の敷石」 ・ミニワークショップ「カッティングマシンでステッカーを作ろう」 ・特別投映「海外の星空」 ・ミュージアムショップ「海外雑貨」	120 人 常設展のみ 8 人 プラネタリウム 112 人
2月	【テクノロジー】 科学技術とともに生きる	・特別サイエンスショー「浜松科学館のテクノロジー」 ・でんけんラボ「複雑すぎるマイクロチップの世界」 ・ミニワークショップ「綿花でつるし雛をつくろう」 ・特別投映「見えない宇宙に挑む」 ・ミュージアムショップ「宇宙グッズ」	101 人 常設展のみ 6 人 プラネタリウム 95 人
3月	【暮らし】 私たちの生活を考える	・特別サイエンスショー「役立つ？生活の裏ワザ」 ・でんけんラボ「ツルツル！グネグネ！色々な繊維」 ・ミニワークショップ「宇宙センサーボトル」 ・特別投映「第二章 <星よりも遠くへ>」 ・ミュージアムショップ「宇宙食」	112 人 常設展のみ 12 人 プラネタリウム 100 人
合計			1,812 人

6. プラネタリウム

(1) 投映スケジュール

回	平日（長期休暇を除く）	土曜・日曜・祝日・長期休暇期間
1	10：00～10：45 事前予約団体	10：30～11：10 キッズプラネタリウム
2	11：30～12：15 事前予約団体	11：40～12：35 生解説プラネタリウム
3	13：00～13：45 事前予約団体	13：15～13：55 大型映像
4	14：30～15：10 生解説プラネタリウム	14：30～15：25 生解説プラネタリウム
5	15：50～16：45 大型映像	15：50～16：30 大型映像
6	18：50～19：45 特別投映（毎月第2金曜日）	—————

(2) 投映番組

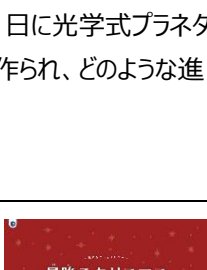
① 生解説プラネタリウム

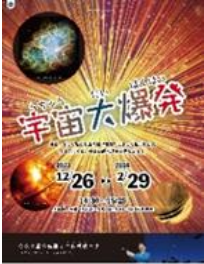
当日の星空解説とテーマ解説を、スタッフがすべて生解説することによって、一方的ではなく双方向のコミュニケーションを重視した投映を展開しました。テーマ解説部分では、企画・シナリオ・作画・動画制作・編集・スクリプト制作などの工程をスタッフが内製化し、宇宙天文に関する話題をタイムリーに提供しました。

当館の特徴である地域に根ざした投映を目指し、浜松市天文台や浜名湖花博20周年記念事業実行委員会の協力を得て、テーマ解説を制作しました。浜松市天文台事業協力者の会の皆様から天体観測におけるアドバイス等を盛り込み、より充実した内容となりました。浜名湖花博との関連テーマ「花と星めぐり」では浜名湖ガーデンパーク、はままつフラワーパークの園内や花の実写画像を投映し、花いっぱいの空間を演出しました。

【テーマ】

投映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
4月1日～4月30日	「日本の反対側の星空～南半球の星空を見よう～」 日本の反対側から見える星を紹介。 	38回	2,105人
5月1日～6月23日	「知ってる？小惑星」 6月30日の「小惑星の日」にあわせて、地球に衝突する可能性がある小惑星や小惑星の衝突を防ぐためにはどうしたらよいのかなど、衝突を防ぐ技術の最先端について紹介。 	66回	3,313人

放映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
5月5日	特別放映「星と家康」 大河ドラマ「どうする？家康」の舞台である浜松。家康公の誕生日の星空や三方ヶ原の戦いの夜の星空を再現。2023年4月14日の夜の科学館で放映した「星と家康」を再放映。 	1回	83人
6月24日～7月7日	「七夕まつり」 星の祭りである7月7日。七夕の星である「織女星（ベガ）」と「彦星（アルタイル）」のを見つけ方や七夕伝説を紹介。 	16回	748人
7月8日～9月18日	「あなたはわかる？クイズで天体観測」 観測道具や天体観測に関するクイズに答えながら、双眼鏡と望遠鏡の選び方や天体観測をするときのコツ等を紹介。 	122回	10,885人
9月19日～11月30日	「北極星のを見つけ方 ポラリス」 詳しい北極星のを見つけ方と北極星にまつわる伝説や、北極星という名の星は存在せず、時代によって北極星は替わることを紹介。 	80回	3,189人
10月21日・22日	特別放映「プラネタリウムを見ませんか？」 今から100年前の1923年10月21日に光学式プラネタリウムが誕生。プラネタリウムが何のために作られ、どのような進化を遂げているのかを紹介。 	2回	143人
12月1日～12月25日	「星降るクリスマス」 あまり知られていないツリーの起源や“クリスマスの星”について解説。 	31回	1,577人

投映期間	テーマ内容		回 数	観覧者数
12月26日～ 2024年2月28日	「宇宙大爆発」 ビッグバン、超新星爆発、太陽フレアといった、宇宙の爆発現象について解説。		74回	5,216人
2024年3月1日～ 3月31日	「花と星めぐり」 浜名湖花博2024の開催にあわせたコラボレーション企画。花博会場の紹介に加え、星に関する花言葉をもつ花々を紹介。		47回	3,332人
2024年3月9日	「第2章 星よりも、遠くへ」 3/8の「夜の科学館」で投映した東日本大震災特別番組「星よりも、遠くへ」を一般来館者向けに投映。 (観覧無料)		1回	47人
合 計			478回	30,638人

② 大型映像

プラネタリウムドームを有効活用し、科学分野の大型映像を上映することで科学への興味・関心を高めました。

【上映コンテンツ】

上映期間	コンテンツ内容		回 数	観覧者数
4月1日～7月14日	「水の惑星」星の旅シリーズ タチ、モルディブ、ニューカレドニア・いのちあふれる海。楽園地球から星空を望み、星の世界に水を探す旅。		43回	2,343人
4月1日～7月9日	「月をめざして」 ロケットに夢と希望を持ち続けて努力したパイオニアたちの物語をはじめ、人工衛星やロケットが飛ぶ仕組みを紹介。		78回	1,338人

上映期間	コンテンツ内容	回数	観覧者数
7月15日～ 2024年3月31日	「海竜王 モササウルス」 最強海竜モササウルスは、地球生命史の中でいかにして繁栄を誇ったのか。3,000万年にわたる壮大な逆転ドラマ。 	172回	16,633人
9月1日～ 2024年3月31日	「銀河鉄道の夜」 星を愛した作家、宮沢賢治の傑作『銀河鉄道の夜』を映像クリエイターのKAGAYA氏が鮮明に再現した作品。 	176回	5,660人
合 計		469回	25,974人

③ キッズプラネタリウム

小学校低学年以下の児童が、家族と楽しめる星空生解説番組を、通常より短い30分間で実施しました。投映当日の夜に、浜松で見られる星空案内と、見ごろとなる天体、星座、星並び、天文に関するイベントをトピックとして取り上げ、いつ来館しても新しい発見があるようにしました。また、プログラムの最後にミニ宇宙旅行を設け、宇宙空間や惑星の様子も観覧できる内容としました。

【上映コンテンツ】

投映期間	投映内容	回数	観覧者数
4月1日～6月23日	「さがそう！さんかくのかたち」 当日見られる星空とともに、明るい星をつないでできる「冬の大三角」や「春の大三角」の探し方を紹介。 	33回	2,572人
6月24日～7月2日	「みつけよう！ たなばたのほし」 当日見られる星空とともに、七夕にあわせて「おりひめぼし」と「ひこぼし」の見方を紹介。 	4回	441人

放映期間	放映内容	回数	観覧者数
7月8日～8月31日	「かぞえよう！ペルセウスざりゅうせいぐん」 当日見られる星空とともに、8月13日に極大を迎えるペルセウス座流星群について紹介。	46回	5,775人
9月1日～10月1日	「ながめよう！おつきみのはなし」 当日見られる星空とともに、9/29に満月で迎える「中秋の名月」について、紹介。	11回	899人
10月3日～ 11月30日	「しましま！もくせい」 当日見られる星空とともに、見頃を迎える「木星」について紹介。	19回	1,245人
12月1日～ 12月25日	「ワクワク！クリスマスのほし」 当日見られる星空とともに、クリスマスツリーの先端に飾る「クリスマスの星」について紹介。	9回	517人
12月26日～ 2024年3月20日	「すぐにみつける！オリオンざ」 当日見られる星空とともに、街明かりの中でも見える「オリオン座」の探し方や神話について紹介。	30回	2,080人
2024年3月21日～ 3月31日	「きらきら☆こんやのおほしさま」 昼間の空から始まり、夕焼け、夜へと時間を進め、当日見られる天体や星座について紹介。	12回	1,274人
合 計		164回	14,803人

④ 事前予約団体を対象とした投映

小学校向けに、理科の授業カリキュラムに合わせた学習投映を行いました。理科学習以外での利用にも対応するため、幼稚園・保育園や小学校低学年向けのスタンダードプログラム2種類（ショート：約25分間、フル：約30分間）を今年度のキッズプラネタリウムの内容をベースとしたものに変更しました。生解説の特徴を活かし、スタッフが臨機応変に解説内容を変えることで、幅広い年齢層に合わせた投映となっています。

投映期間：4月1日～2024年3月31日（平日のみ）

団 体	投映内容	団体数	観覧者数
小学校	小学校向け学習投映 スタンダードフル スタンダードショート 理科学習小学4年 理科学習小学6年 大型映像 	76 団体	4,797 人
幼稚園・保育園等	幼稚園・保育園向け星空生解説番組 スタンダードフル スタンダードショート 	86 団体	3,054 人
中学校・高等学校 その他	その他団体向け投映 スタンダードフル スタンダードショート 理科学習小学4年 理科学習小学6年 理科学習中学生以上 大型映像	26 団体	1,023 人
合 計		投映回数 150 回	188 団体 8,874 人

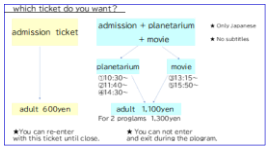
7. アテンダント

① 業務の概要

利用者に対し適切な案内を行い、顧客起点の接客や確実な発券業務により、利用者満足度を高めるよう図りました。業務マニュアルに基づく研修を随時行い、スタッフ各人が高いサービス水準の維持、向上に努めています。また、学習利用団体等の予約に際しては、申し込みや下見の受付、問い合わせなどの窓口を一元化し、状況に応じた利便性の高いスピーディーな対応を行いました。

② 業務実績

◎ 1 階インフォメーションにおける受付・案内業務

業 務	内 容
来館者の誘導 案内・受付業務	丁寧かつ的確な来館者の誘導や案内に努めました。また、団体利用の申込受付や下見に際しては、できるだけ利用時の不明点を解消できるよう対応しました。また、利用者視点での臨機応変な対応を心がけ、利用者一人ひとりに合った最適なサービスの提供を目指しました。特別支援学校の団体利用では、障害のある方も気兼ねなくプラネタリウムをご覧いただけるように配慮したり、喀痰吸引やおむつ交換の場所を専用に確保したりするなど、利用者との対話を通して、必要なサービスや機会を提供するよう心がけました。（合理的配慮の提供）
発券業務	常設展入場料、プラネタリウム観覧料等の利用料金の徴収（減免手続や領収書発行等含む）やチケットの発行、年間パスポートの新規発行や更新手続き、プラネタリウムの残席数の管理、各種割引券への対応、提携駐車場チケット等の配布を行いました。また、お客様のニーズに合わせ、クレジットカード、QRコード決済を導入しています。
科学学習情報システム端末貸出業務	科学学習情報システムの貸出端末利用者への対応、貸出料金の徴収、使用方法の説明を行いました。
情報提供業務	周辺及び市内の文化施設や関係機関に関する情報提供等を行いました。特に、利用者からは駅へのアクセスや周辺飲食店についての質問が多く、パンフレット等を活用して積極的な対応をしました。またインフォメーションの X（旧 Twitter）アカウントを開設し、館内のイベントや地域の情報を投稿しました。
その他	- 日本語を母語としない方への対応を工夫し、必要な情報が伝わるように工夫しました。 「やさしい日本語」での案内、Yes・No チャート（英語）の使用。 - 多言語（英語・ポルトガル語・中国語）で作成したプラネタリウムの注意事項等の作成と配布。 - 窓口での簡単な外国語対応マニュアル（英語・ポルトガル語）の作成 - 来館者に、より楽しんで利用していただくため、1 階のインフォメーションカウンター周りに、季節の飾りつけを行いました。 

◎ プラネタリウムにおける誘導・案内、安全管理業務

プラネタリウムドーム内で、観覧者の誘導、案内および安全管理を行いました。

業 務	内 容
チケット確認	観覧券の確認および観覧者数のカウントを行いました。
誘導案内	座席への誘導および出口への誘導を行いました。また、観覧者に対しドーム利用上の注意点等の説明を適宜行いました。
安全管理	非常時の避難誘導を含めた、番組投映中の場内の安全管理に取り組みました。また、避難誘導訓練を行い、観覧者の安全確保に努めています。

8. 連携協力事業

(1) 学校等との連携

科学館の特徴を活かした効果的な学習を、浜松市教育研究会理科研究部や学校の先生方と連携して取り組み、学校団体が利用しやすい環境の確保に努めました。また、浜松市教育研究会理科研究部や校長会にも積極的に出向き、学校団体の学習利用を依頼しました。

① 学校団体の学習利用の推進

展示室の見学とプラネタリウムの学習投映を基本とした学校等の団体向けのプログラムを設けて、学年や学校側の諸条件に合わせて選択できるようにしています。『浜松科学館 学習利用ガイドブック』（A4判19頁）を科学館ウェブサイトにも掲載しています。



また、浜松科学館ニュースレター「COMPASS」を、前年度に引き続き、浜松市の全小中学校、湖西市・磐田市・袋井市の全小学校児童、森町は各小学校60部を教育委員会経由で配布し、一層の周知を図りました。（掛川市は教育委員会からメールでのデータ配信）

② 学習利用にあたっての教員との連携・協力

教員・引率者の相談や実地踏査（下見）に対応し、学習効果の高い授業の実施を支援しました。児童・生徒が展示を活用して主体的に学ぶことを支援するワークシートを用意し、ウェブサイトでダウンロードできるようにしています。また、リバージオモデル、浜松（天竜川）の岩石学習キット等の教材貸出の対応も行っております。

区分		2023年度		2022年度		2021年度	
		校数	人数	校数	人数	校数	人数
小中学校	浜松市	77校	4,381人	107校	6,163人	69校	4,083人
	県内他市	62校	3,951人	73校	4,768人	73校	4,584人
	県外	5校	167人	8校	461人	2校	155人
特別支援学校	県立	16校	225人	14校	229人	10校	150人
	県外（国立含む）	6校	166人	3校	64人	1校	5人
高等学校	県内	7校	211人	7校	257人	8校	236人
	県外	3校	134人	2校	70人	0校	0人
幼・保育園	浜松市	116園	4,766人	90園	3,746人	57園	3,125人
	県内他市	19園	575人	16園	569人	0園	0人
	県外	2園	135人	1園	72人	0園	0人
その他団体（専門学校等）		54団体	2,615人	55団体	2,236人	18団体	612人
合計		367団体	17,326人	376団体	18,635人	238団体	12,950人

③ 出張科学館（出張プログラム）の実施

今年度はさまざまな演目のサイエンスショーを中心に、市内小学校へのアウトリーチ活動を行いました。

月 日	学校名	参加人数	実施内容
6月28日	浜松市立葵が丘小学校	35人	発達支援学級 1～6年生 サイエンスショー（シャボン玉）
7月4日	浜松市立西小学校	65人	3年生 サイエンスショー（液体窒素）
7月11日	浜松市立泉小学校	28人	1～6年生 サイエンスショー（シャボン玉）
7月12日	浜松市立中部小学校	39人	4～6年生 サイエンスショー（液体窒素）
10月24日	浜松市立西小学校	62人	3年生 野外観察会（昆虫・ダンゴムシ採集）
10月31日	浜松市立葵西小学校	35人	小学校 4～6年生 サイエンスショー（液体窒素）
11月2日	浜松市立北浜北小学校	28人	4～6年生 科学クラブ サイエンスショー（磁石）
12月22日	浜松市立萩丘小学校	200人	全校 サイエンスショー（飛ぶ）
1月26日	浜松市立東小学校	17人	サイエンスクラブ サイエンスショー（液体窒素）

④ 作品展、表彰式に関する業務

小・中学校の児童・生徒の理科研究作品等について、関係団体との連携・協力により、作品展を開催しました。
また「発明くふうコンテスト」では、初めて実演審査と表彰式を開催することができました。

（参照：P63 VIII 資料 2「2023年度イベント・講座実施状況」）

名 称	開催時期	場 所	実施内容
浜松市小・中学生理科自由研究作品展	9月9日～21日	浜松科学館 ホール	共催：浜松市教育研究会理科学研究部
第4回小・中学生「発明くふうコンテスト」審査会・作品展示	9月23日～ 10月1日	浜松科学館 ホール	応募のあった559作品から1次審査で39作品を選定後、実演審査（2次審査）を実施し、入賞作品を展示。共催：浜松経済クラブ
第4回小・中学生「発明くふうコンテスト」表彰式	11月12日	浜松科学館 ホール	優秀な成績を納めた子どもたち（35人）や多数の応募があった学校を表彰。共催：浜松経済クラブ

⑤ 児童・生徒等に対する相談の実施

小・中学校の児童・生徒をはじめとする市民の科学や理科に関する相談に対し、助言等を行いました。

(計 26 件)

月 日	担 当	質問・相談内容/方法	対応・回答
4 月 27 日	サイエンスチーム	(来 館) 科学館敷地内の在来タンポポの分布について	自然観察園を案内し、トウカイタンポポ、シロバナタンポポを確認しました。
5 月 12 日	サイエンスチーム	(メール・来館) 鳥の鳴き声について	問合せメールをいただき、その後対面に対応。鳥の鳴き声について種名を案内しました。
5 月 27 日	サイエンスチーム	(来 館) 顕微鏡のメンテナンスについて	個人所有の顕微鏡のメンテナンス方法について、現物を見ながらアドバイスしました。
6 月 3 日	サイエンスチーム	(来 館) 昔の電球と今の電球の明るさの違いはどのくらいか？	電球の種類、電力、光の強さの関係性を口頭で説明しました。
6 月 4 日	サイエンスチーム	(メール) ヤブガラシのシュウ酸の感受性について	note 記事「何に巻き付く？ ヤブガラシのスマートな生存戦略」の読者からの質問についてメールで回答しました。
7 月 17 日	サイエンスチーム	(来 館) 鉱物の調べ方	天竜川で採集した鉱物について、当館の標本と比較しながら同定を行いました。
7 月 17 日	サイエンスチーム	(来 館) 自由研究の進め方	紫キャベツなどの色が変わる食材を使った実験方法、生分解性プラスチックについての質問と実験の進め方についてレクチャーしました。
7 月 25 日	サイエンスチーム	(来 館) ダンゴムシとオームの共通点について	注目すべき形質や観察の手順を説明しました。
7 月 25 日	サイエンスチーム	(来 館) 動物の毛の観察	自由に研究ラボに参加いただき、電子顕微鏡で動物間の毛の性質を比較しました。
7 月 25 日	サイエンスチーム	(電 話) 浜松市の地下水について	三方原台地の堆積物下に地下水脈があることを解説しました。
7 月 26 日	サイエンスチーム	(電 話) 土壌動物について	学校の授業での活用や学校間での教育手法の流布を目的として、科学館オリジナルの土壌検索表の使用を希望。科学館の資料である旨を記載いただくことで使用を許可しました。

月 日	担 当	質問・相談内容/方法	対応・回答
7月27日	サイエンスチーム	(来館) 土壌動物の比較	自由に研究ラボに参加いただき、サイエンスラボにて実体顕微鏡を用いて比較しました。
7月29日	サイエンスチーム	(来館) ハチの同定	タイワンタケクマバチと同定、解説しました。
7月31日	サイエンスチーム	(電話・来館) 天竜川、中田島砂丘についての概要について	当日来館され、自然ゾーンの展示物を用いて浜松の地形、岩石について解説した。不足の情報は論文などを紹介して対応しました。(実践女子学園中学校教員)
8月5日	サイエンスチーム	(来館) 手づくりの野鳥標本について法的な問題の問合せ	落鳥ならば法的な問題はないと説明し、標本作製した後にさらに調べられる課題のヒントを導きました。
8月5日	サイエンスチーム	(来館) ペットボトルのモニタリングについて (自由研究の相談)	多くの親子が訪れる科学館の立地を活かした活動として、自由に研究ラボの位置づけで実施を許可しました。8月6日に実施、30人以上のデータを収集しました。
8月7日	サイエンスチーム	(来館) サイエンスパークでの生き物採集	セミ、チョウなどがいること、トカゲやカナヘビも見かけることがあると説明しました。
8月8日	サイエンスチーム	(来館) 卵を酢に漬ける実験の考察について	炭酸やレモン汁など他の酸性の水溶液、重曹などのアルカリ性の水溶液の紹介しました。
8月8日	サイエンスチーム	(メール) ニイニゼミの羽化数、体表の泥について	先行研究の紹介、考察の手がかりを回答しました。
8月8日	サイエンスチーム	(メール) 昆虫食について	過去の事例や、応用的に取り組む上でのヒントを紹介しました。
8月9日	サイエンスチーム	(来館) 紫キャベツを使った色変わり実験について	現在までの実験のまとめをみながら、今後の展開をアドバイスしました。
11月23日	サイエンスチーム	(電話) 星の探し方	今の季節に見える星や星の探し方、市内で星がよく見える場所、ドローンを打ち上げた時の星の見え方等について質問があり、回答しました。
11月30日	サイエンスチーム	(電話) 樟脳等の毒について	クスノキの葉に含まれる樟脳が落ち葉にも残存するかという質問があり、揮発性の物質であることを説明しました。

月 日	担 当	質問・相談内容/方法	対応・回答
3月10日	天文チーム	(電 話) 1年の長さについて	「1年は365.2422日(1太陽年)」と回答しました。
3月12日	経営管理チーム	(来 館) 館内バリアフリーについて	公共施設のバリアフリーについての調べ学習で館内のバリアフリーについて回答しました。 浜松市立双葉小学校2年(30人)
3月27日	サイエンスチーム	(来 館) 鳥類研究の相談	鳥類研究のコツや、先行研究の調査方法の指導を行いました。静岡大学教育学部附属浜松中学校1年(2人)

⑥ 学校・公的機関の研修、実習等への対応

学校や教育委員会等の教育関係機関等の公的機関が行う研修、実習等を積極的に受け入れています。

(参照：P63 VIII 資料2「2023年度イベント・講座実施状況 教育機関関連事業」)

月 日	研修・実習
6月13、14日	生涯学習施設職員およびボランティアのための実技研修会(106人)
7月28日	磐周理科教育研修会(18人)
8月1日	浜松市教育研究会理科部会研修会(74人)
8月4日	中堅教諭等資質向上研修(1人) 静岡県立榛原高等学校教諭
8月26日	総合学習インタビュー 浜松市立江西中学校(1人)
9月5日～17日	大学生の博物館実習(7人) 名城大学、東京学芸大学、桜美林大学、昭和音楽大学、同朋大学 お茶の水女子大学、帯広畜産大学
9月14、15日	中学生の職場体験 曳馬中学校(4人)
① 10月3、4日 ② 10月11日 ③ 10月18、19日 ④ 10月19、20日 ⑤ 10月26、27日	中学生の職場体験(5校 計27人) ① 八幡中学校(10人) ② 東陽中学校(3人) ③ 中部中学校(2人) ④ 天竜中学校(6人) ⑤ 雄踏中学校(6人)
10月31日	浜松市新規採用教職員研修(教員38人、事務局2人)
① 11月1日 ② 11月9、10日 ③ 11月16、17日 ④ 11月21日	中学生の職場体験(5校 計31人) ① 積志中学校(11人) ② 富塚中学校(5人)、湖東中学校(3人) ③ 舞阪中学校(5人) ④ 南部中学校(7人)
11月15日	特別講義：静岡県立新居高等学校(7人)

月 日	研修・実習
12月5日・6日	中学生の職場体験 蛸塚中学校（8人）
12月16日	卒業制作イベント実施：文教大学情報学部（1人）

⑦ 幼稚園・保育園の利用への対応

幼稚園・保育園に対し、幼児向けの投映等を実施しました。（参照：P19「6 プラネタリウム」）

（2）教育関係機関等との連携

浜松市内ほか教育関係機関、研究機関、企業等と連携し、講座や展示教材の貸し出しなどを行いました。

名 称	開催時期	場 所	実施内容
2023年度 ユネスコ科学教室	5月13日、6月17日 9月2日 1月27日、2月24日	浜松科学館 ホール セミナールーム サイエンスラボ	ユネスコ科学教室開催にあたり、会場や備品を提供しました。 主催：浜松ユネスコ協会
静岡大学 グリーンサイエンス カフェ	① 6月10日 ② 7月8日	浜松科学館 ホール	① 「電池で世の中を変える？～次世代リチウム電池用の新物質開発～」 講師：守谷誠氏 ② 「キノコが地球を救う？～バイオリファイナリーとバイオレメディエーション～」 講師：平井浩文氏
みらいーら自由に 研究ラボ	7月1日、2日、22日、 23日、29日、30日 8月5日、6日	浜松科学館 でんけんラボ	参加者が材料を持ち込み、デジタルカメラや電子顕微鏡で拡大観察しました。また、10月に実施した秋の企画展「科学の学園祭」で自由に研究ラボの成果ポスターを展示しました。
すばっくおやこ 小学校 in 浜松	7月1日、2日、8日、 9日	浜松科学館 ホール ものづくりラボ	小学生の保護者が「同級生」となって一緒に学び合うという趣旨で、SPACの俳優と科学館職員（上野）が講師を務め、親子での共同作業や対話中心の授業を行いました。 共催：SPAC（静岡県舞台芸術センター）
やらまいかテクノロジー コーナーの設置	① 8月～10月 ② 8月～10月 ③ 10月～ 2024年4月	浜松科学館 常設展示室 2F やらまいかストーリー	① 浜松市スマート農業推進協議会 ※協力：ヤマハ発動機 ② 株式会社リサイクルグリーン ③ 天龍製鋸株式会社

名 称	開催時期	場 所	実施内容
浜松市カーボンニュートラル推進事業 夏休みエネルギー体験ツアー	8 月 9 日	浜松科学館 サイエンスラボ 他	公募で集まった市内の小学生が 5 つのグループに分かれて館内での発電のアイデアを探し、発表を行いました。 主催：浜松市カーボンニュートラル推進事業本部
わくわくサイエンスラボ	8 月 26 日	浜松科学館	常葉大学の学生が主体のワークショップを開催し、プログラミング、実験体験など 5 種類のテーマで実施しました。 主催：中部科学技術センター 共催：常葉大学 参加者：137 人
ワークピア磐田「サイエンスカレッジ 2023」	9 月 30 日	ワークピア磐田	磐田市から協力依頼を受け、磐田市内の小学生を対象とした科学のイベントに上野 CE が講師として協力し、水に関する実験・工作をしました。ヤマハ発動機他 3 団体と同時開催。 参加者：小学生 29 人と保護者 市内中学生ボランティア 5 人
秋の企画展「科学の学園祭」	10 月 7 日～29 日	浜松科学館	浜松市および近隣の学生たちによる科学活動の場を提供しました。 ・科学実験・工作のブース出展 ・自由に研究ラボ成果パネル展示、表彰式 (協力：浜松医科大学 針山孝彦氏)
アグリフォーレサイエンスカフェ	11 月 18 日	浜松科学館 ホール	静岡県農林環境専門職大学が一般市民向けにサイエンスカフェを開催し、広報の協力と会場を提供しました。「イチゴの品種開発」に関する内容で、30 人が参加しました。 共催：静岡県立農林環境専門職大学
浜松市水道文化財デジタルツアー in 浜松科学館	11 月 18 日・19 日	浜松科学館 サイエンスラボ	浜松市が所管する登録有形文化財（住吉浄水場、ポンプ室）を広く市民に PR するため、展示や体験コーナーを設置。当館も「歯磨き粉ボート」の体験コーナーを設置しました。 共催：浜松市上下水道部上下水道総務課
浜松市立和田小学校 150 周年記念式典	11 月 22 日	浜松アリーナ	浜松市立和田小学校創立・開校 150 周年記念式典に館長、GM が来賓として出席しました。第 3 部では上野 CE のサイエンスショーと静岡ブルーレヴズの五郎丸 CRO のトークショーが行われました。

名 称	開催時期	場 所	実施内容
第 8 回小・中学生 理科研究プレゼンテーション コンテスト	11 月 3 日	浜松科学館 ホール	トップガン教育システム協議会主催の、小中学生による自由研究プレゼンテーションコンテストが浜松科学館を会場として行われました。 主催：トップガン教育システム協議会
Hamamatsu Micro Maker Fair2023	12 月 2 日	浜松科学館 ホール	浜松周辺地域のメイカーが参加する地域密着型の展示会。科学館からは「爆走！輪ゴムシューター」を出展しました。主催：オライリー・ジャパン 共催：FABLAB Hamamatsu /TAKE-SPACE 来場者 800 人
第 11 回 MATH やらまいか決勝大会	12 月 9 日	浜松科学館 ホール	トップガン教育システム協議会の MATH やらまいか決勝大会が浜松科学館を会場として行われました。主催：トップガン教育システム協議会
令和 5 年度中 部科学技術セン ターアドバイザー 委員会	12 月 14 日	名古屋市 中部科学技 術センター	令和 5 年度中部科学技術センターアドバイザー委員会が開催され、館長が出席しました。
東海 4 県商業 高等学校校長会	1 月 17 日	浜松科学館 ホール	東海 4 県商業高等学校の校長会が当館で開催され、会場を提供しました。参加者には、休憩時間等を利用して、館内を見学していただきました。
ブックトーク	1 月 14 日	浜松科学館 セミナールーム	大型映像「銀河鉄道の夜」上映関連企画として、ブックトークを実施しました。浜松市立中央図書館の司書による宮沢賢治作品や賢治の人物像を紹介しました。 テーマ「宮沢賢治は多面体？多彩な彼の作品を知ろう」共催・浜松市立中央図書館
ボートふしぎ発見 講座	1 月 28 日	浜松科学館 1F 出口ゲート前	全長 7m の大型水槽に手作りボートを走らせ、走行タイムの短縮に試行錯誤するなど、ものづくりの楽しさを感じる催しを開催しました。 共催：ヤマハ発動機
農業と科学のお もしろ発見フェス	2 月 12 日	浜松科学館 ホール	浜松市・湖西市内の農業従事者、静岡大学みかんサークル、浜松スマート農業推進協議会による 13 の展示ブース出展と 4 種の体験プログラムを実施し、農業の魅力を将来の担い手である子どもたちに伝える機会を創出しました。 750 人が参加しました。 共催：New 浜名湖アグリフォーラム実行委員会

名 称	開催時期	場 所	実施内容
浜名湖花博 2024 開催に関 する連携協定の 締結	2 月 22 日	—	浜名湖花博 2024 の開催にあたり、浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会と浜松科学館が連携して事業を実施し、相互の来場者促進を目的に連携協定を締結しました。 ① 生解説プラネタリウム番組「花と星めぐり」特別投映及び花博 PR 動画投映 ② ガーデンパーク会場での PR（「タイムトンネル」の星座デザイン・原画制作による展示協力） ③ 花博入場チケットの販売
インタラクシオンデザインにふれてみよう	2 月 23 日～25 日	浜松科学館 セミナールーム	静岡文化芸術大学の学生が制作したオリジナルゲームやコンテンツ等を体験しながら、デジタル技術を応用したインタラクシオンデザインに触れる機会を創出しました。 共催・静岡文化芸術大学 的場研究室
JR 東海ワーク ショップ	3 月 20 日～31 日	浜松科学館	JR 東海と連携し、JR 各チームの「おしごと紹介」として、体験講座を行いました。 共催：JR 東海 ※P63「2023 年度イベント・講座実施状況」参照



農業と科学のおもしろ発見フェス



JR 東海ワークショップ

(3) その他（研究機関や科学館との連携事業等）

① 研究機関等との連携

科学に関連した研究機関との連携を行いました。

名 称	月 日	内 容
浜松城石垣の地衣類観察	12月29日	大村嘉人 博士（国立科学博物館）とともに浜松城石垣に固着する地衣類相を観察。豊富な種が観察されたものの、文化財のため採集することができず、種同定は断念しました。

② 全国の科学館、博物館との連携・協力

当館が加盟している日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会等の会合に参加しました。また、他の科学館、博物館との連携等を図りました。

名 称	開催時期	実施内容
巡回展	4月1日～ 5月14日	2022年に当館で開催した夏の企画展「身近で気になる昆虫展」の巡回展を北杜市オオムラサキセンターで実施しました。（2022年11月25日から継続） 共催：北杜市オオムラサキセンター
静岡県博物館協会総会	5月23日	静岡県博物館協会総会、役員会が、静岡県立美術館で行われ、オンラインにて館長が出席しました。
第3回（2023年度）全国科学館連携協議会総会	6月26日	全国科学館連携協議会総会が日本科学未来館で行われ、オンラインにて館長が出席しました。
浜松市天文台連携 プラネタリウム観覧割引券の配布	7月8月～ 9月18日	浜松市天文台と浜松科学館の相互的な利用促進を目的に、天文台協力番組「クイズで天体観測」公開にあわせて、天文台イベント利用者にプラネタリウム観覧割引券（100円割引）を配布しました。 配布枚数：1,244枚 利用枚数：118枚
令和5年度東海地区博物館連絡協議会総会・理事会	9月29日	東海地区の協会加盟館園が参加し、総会、理事会がオンラインにて行われ、館長が出席しました。
第71回全国博物館大会	11月15日～ 17日	全国博物館大会が千葉市内で開催され、小粥（サイエンスチームリーダー）、横田（経営管理チームリーダー）が出席しました。全国から約400人が参加し、3日間を通して、事例研究や情報交換を行いました。 テーマ「博物館法改正元年-つながり、交差する-」 主催：日本博物館協会

名 称	開催時期	実施内容
街なか天体観察会	11 月 26 日	「望遠鏡で太陽をみよう」 館内で、太陽に関する解説をした後、アクトシティ浜松の「太陽の広場」に移動して、天体望遠鏡で太陽を観察しました。共催・浜松市天文台
第 2 回指定都市科学館連絡会議定例会	12 月 26 日	定例会が、北九州市科学館（スペース LABO）で行われ、館長が現地参加しました。各館より調査研究活動、人材育成、資金の調達など、さまざまな課題や提案事項について情報共有がなされました。
全国プラネタリウム研修会 2023・渋谷	2 月 19 日～ 21 日	プラネタリウムの解説技術の向上等を目的に、コスモプラネタリウム渋谷を会場に研修会が開催され、天文チームの岩本が参加しました。 テーマ「全国のプラネタリウムをより魅力ある施設に！」 主催：日本プラネタリウム協議会（JPA）ほか
令和 5 年度第 2 回全国科学博物館協議会理事会・総会及び第 31 回研究発表大会	2 月 21 日、22 日	科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、博物館専門職員の活動の充実に資することを目的に滋賀県立琵琶湖博物館を会場に、研究発表会が開催されました。加藤事業企画グループマネージャー、サイエンスチームの三島が参加しました。テーマ「コミュニティとともに活動する博物館」 主催：全国科学博物館協議会ほか
2023 年度全国科学館連携協議会 東海ブロック研修会	3 月 8 日～9 日	来館者を対象とするワークショップイベントを活用した実演型の研修会に、サイエンスチームの天井が講師として参加しました。

③ 他機関や他のイベントとの連携による賑わい創出

大河ドラマとの相乗効果でまちなかの賑わいを創出しようと、浜松まちなかにぎわい協議会や浜松こども館など市内の施設と連携し、徳川家康四天王に関連した謎解きスタンプラリーや屋外イベントを開催しました。

名 称	開催時期	実施内容
浜松まちなか大合戦 2023 夏の陣 ① はままち四天王スタンプラリー	① 7 月 20 日～ 8 月 31 日	① 市内 4 つの施設を巡り、謎解きをしてスタンプを集め、コンプリートした先着 200 人に景品を提供。浜松科学館では「酒井忠次」に関する謎解きを設置しました。 共催：浜松まちなかにぎわい協議会、浜松こども館、浜松市立青少年の家、新川モール

名 称	開催時期	実施内容
② 新川モールの戦い ③ ソラモの戦い	② 7月30日 ③ 8月5日	② 新川モールを会場に合同イベントを開催しました。浜松科学館スタッフによるサイエンスショー「科学演芸 飛行の段」の実演と、「忍法！水走の術（ダイラタンシー）」を設置しました。 ③ 浜松ギャラリーモール・ソラモを会場に合同イベントを開催しました。浜松科学館からは、「うえちゃんのサイエンスショー」（3回）とミニワークショップ「歯磨きボートでいざ出陣！」を実施しました。
発明とアイデア展	11月18日・19日	浜松発明研究会による、アイデアあふれる発明品の展示会を出口ゲート付近で開催しました。研究会のメンバーによる説明や実演が行われ、2日間で499人が立ち寄りました。

④ 県内・市中心部のイベントとの連携

昨年度に引き続き、下記サービスの利用施設にエントリーし、県内観光者の利用促進や中心市街地への回遊性を高めるための取り組みを推進しました。

【観光優待券対象施設】

・浜松・浜名湖ツーリズムビューロー観光優待券・まるっとパス（常設展入場料1割引）

※まるっとパスは2024年1月14日で終了

・ふじのくに地域クーポン、regionPAY×しずおか PAY クーポン（ミュージアムショップで利用可）

※9月30日で終了

⑤ 近隣駐車場の提携利用

提携駐車場（イタクパーキング）利用者に一定額（150円）の割引チケットを提供しました。（※常設展・プラネタリウム観覧者、館内イベント参加者等対象）

年 度	2023 年	2022 年	2021 年	2020 年	2019 年
利用枚数	3,690 枚	3,260 枚	2,246 枚	1,600 枚	413 枚

※2019年12月1日から提携

9. サポーター会員制度

当館は、指定管理料と利用料金収入等に基づき管理運営をしていますが、子どもたちの学びを支え、新たな地域の価値を創造していくために、事業プログラムの拡充が求められています。そのため、より多くの皆さまのご支援とご協力が不可欠と考え、法人・団体向けのサポーター会員を募集し、多くの支援をいただきました。

(1) サポーター会員制度概要

項目	内容	
期間	1年間（4月1日～3月31日）	
会費（年会費）	1口110,000円（消費税10,000円含む）	
会費の主な使途	・特別展、企画展の拡充 ・参加型学習事業の充実 ・プラネタリウム、大型映像番組の拡充	
特典	招待券（常設展+プラネタリウム観覧）	1口につき10枚
	特別展・企画展招待券	10枚
	特別展・企画展内覧会ご招待	開催日前日の関係者・報道向け内覧会
	ニューズレター「COMPASS」送付及び社名・団体名掲載	送付は発行毎（年間5回、部数10部）
	浜松科学館ウェブサイトへの社名・団体名掲載	社名・団体名掲載（リンク設定なし）
	プラネタリウムドームでの社名放映	番組開始前に社名一覧を放映

(2) 2023年度実績

サポーター企業数	協賛口数	金額
47社	58口	5,755,000円

(3) 2023年度サポーター会員一覧

共和レザー株式会社 スズキ株式会社 ヤマハ株式会社 ヤマハ発動機株式会社 ローランド株式会社
 静岡銀行 遠州信用金庫 JAとびあ浜松 中村建設株式会社 ガリバー住吉バイパス店
 株式会社河合楽器製作所 本田技研工業株式会社 浜松磐田信用金庫 アクトサービス株式会社
 アズマ工業株式会社 株式会社飯田組 エンケイ株式会社 遠州鉄道株式会社 株式会社エス・ビー・エム
 サーラエナジー株式会社 株式会社ザザンティ浜松 株式会社シービーエム 株式会社システック
 社会保険労務士法人 村松事務所 須山建設株式会社 聖隷クリストファー中学校 ソミックグループ
 竹下一級建築士事務所 中部印刷株式会社 テイボー株式会社 天龍製鋸株式会社
 東邦液化ガス株式会社 株式会社中村組 日管株式会社 有限会社ネットワーク
 株式会社ハマキョウレックス 浜松駅ビル メイワン 浜松学芸中学校・高等学校 浜松聖星高等学校
 浜松ヤナセ株式会社 株式会社プライムエリート 丸八不動産グループ 三井工業株式会社
 山崎電機産業株式会社 株式会社吉和田浜松 株式会社サイクルクリーン ローム浜松株式会社

10. ボランティア活動支援

科学館活動のパートナーとして市民ボランティアと連携・協働し、科学を楽しむ地域文化の創造を目指すとともに、利用者が自らの興味・関心や学びを深める自主的な活動をする「場」を提供します。

① 募集・面談・登録・研修

4月1日～5月31日に募集を行いました。6月11日、17日、18日に個別に面談したのち、新規で一般ボランティア10人、ジュニアボランティア（中学生・高校生）15人が登録、6月24日、25日のオリエンテーション・研修を経て、7月1日から活動を開始しました。

※2023年度登録者数：一般ボランティア20人、ジュニアボランティア28人 計48人

② ボランティア活動の場

来館者とのコミュニケーション、常設展示案内、ミニワークショップやイベントの運営補助、参加者支援をスタッフと共に実施しました。自然観察園の整備活動では、景観の美化、樹木の維持管理として低木の伐採や清掃を実施するとともに、自然観察園内の生物の観察、スタッフによる講義などに参加しました。また、2022年度から始まったボランティアが自ら企画・運営するイベント（「科学の学園祭」でのジュニアボランティアブース出展、サイエンステーブル「Mite Mite（ミテミテ）」）を実施し、多くの来館者と交流しました。



Mite Mite



ミニワークショップ

③ 自主イベント「Mite Mite」の企画・運営

「消えない水玉」（4月～7月）

「音の足し算」（4月～7月）

「ノイズキャンセリングと共振」（8月）

「ピアノの音で動くひも」（8月～11月）

「ロケットとスイングバイのしくみ」（9月～3月）

「パクパクダイナソー」（ジュニア：10月）

「一瞬（0.001秒）を見る」（11月～3月）

「光と波長の技術」（1月～3月）



④ ボランティア研修

今年度からスタッフが講師となってボランティア向けの研修を実施しました。

・「サイエンスコミュニケーション講座」(一般対象)

開催日：9月30日、10月1日

参加者：7人

・「やさしい日本語講座」(一般・ジュニア対象)

開催日：10月7日、8日

参加者：9人(一般5人、ジュニア4人)



⑤ 交流会

開催日時：3月17日(日) 13:00~16:00

内 容：活動報告会、懇親会

参加者：29人(一般14人 ジュニア15人)



⑥ ボランティアブログの運用

浜松科学館ボランティアの活動を、多くの方に知っていただくことを目的として、ボランティアブログを定期的に更新しています。ボランティア担当スタッフで運用しています。

⑦ 浜松市「青少年の表彰」

ジュニアメンバー3人が、浜松科学館でのボランティア活動により、浜松市長より「善行賞」の表彰を受けました。3人は、中学から高校にかけて約4年間、科学の学習活動を通じた社会貢献、社会体験活動に取り組み、来館者に科学を身近に感じてもらう原動力となりました。



⑧ 活動実績

年間で合計130日、延べ327人が参加しました。昨年度に比べ、活動日数は27日、延べ活動人数は108人増加し、活発な活動を展開しました。

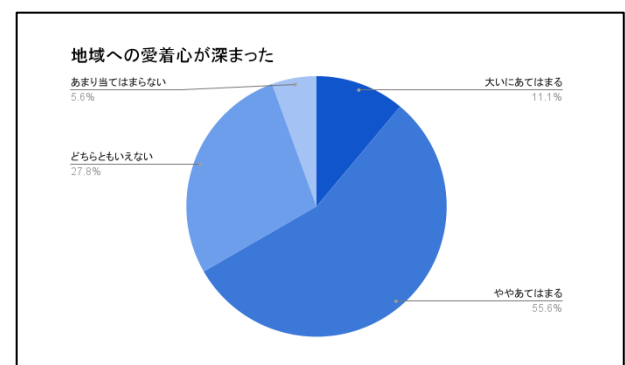
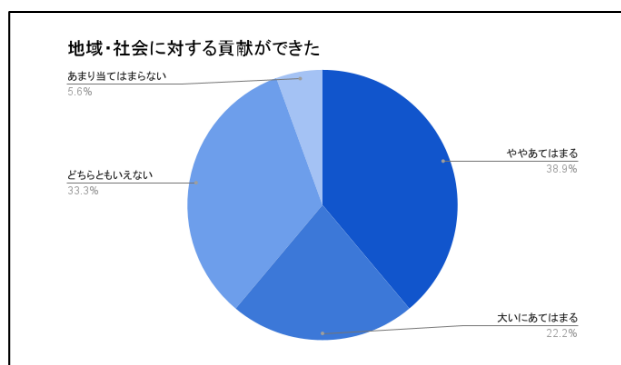
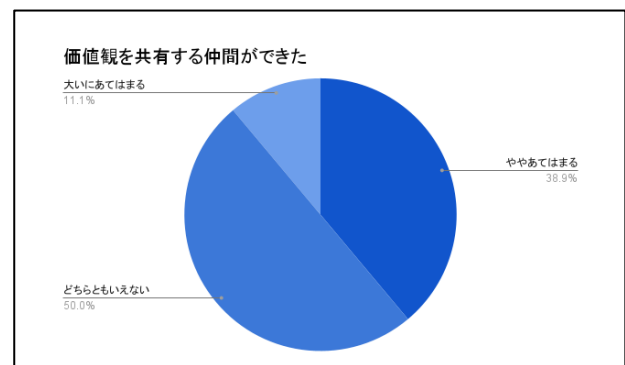
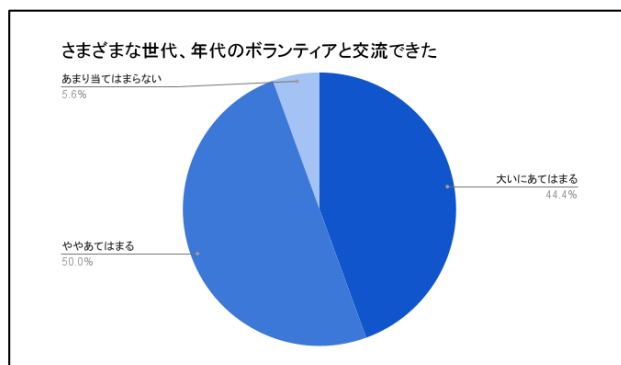
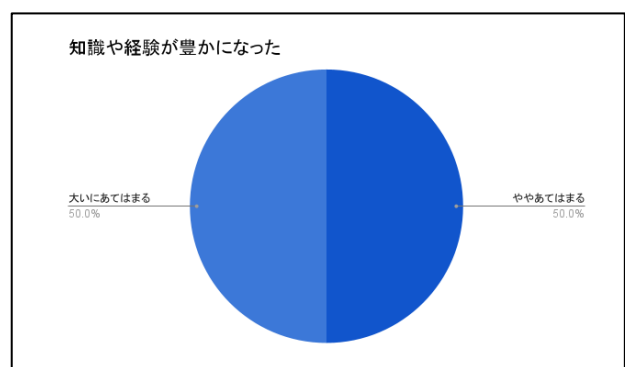
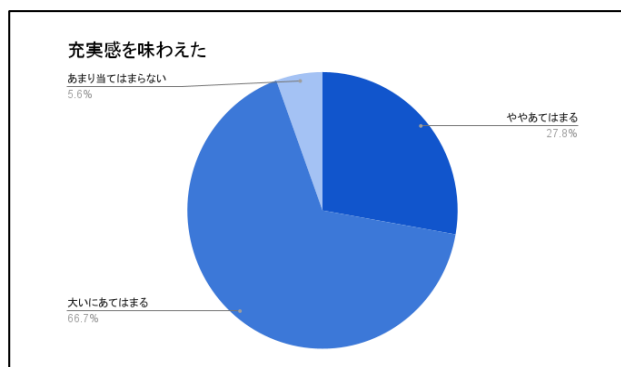
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動日数(日)	9	9	7	16	18	12	10	9	9	9	9	13	130日
一般	6	8	5	13	14	12	7	9	8	8	8	12	110日
ジュニア	9	6	5	12	15	10	9	9	8	8	8	9	108日
参加人数(人)	15	14	15	41	32	32	34	29	28	23	28	36	327人
一般	8	7	9	20	15	15	17	15	14	13	14	18	165人
ジュニア	7	7	6	21	17	17	17	14	14	10	14	18	162人

⑨ 活動評価（ボランティア活動充実度調査：2024 年 3 月実施 回答者 43 人）

ボランティア活動の評価指標として、以下 6 項目についてアンケートを行いました。

1. 充実感を味わえた
2. 知識や経験が豊かになった
3. さまざまな世代、年代のボランティアと交流できた
4. 価値観を共有できる仲間ができた（ジュニア：科学に対する興味や関心が深まった）
5. 地域・社会に対する貢献ができた（ジュニア：浜松科学館を身近に感じるようになった）
6. 地域への愛着心が深まった（ジュニア：地域への関心が深まった）

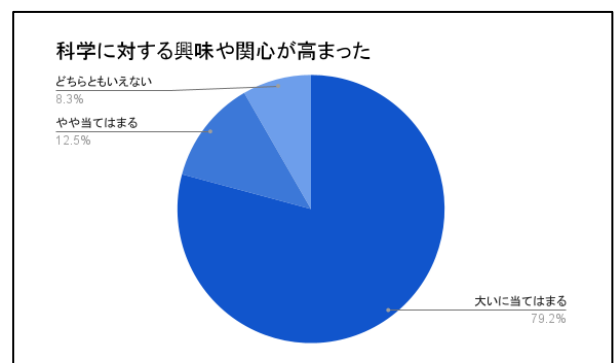
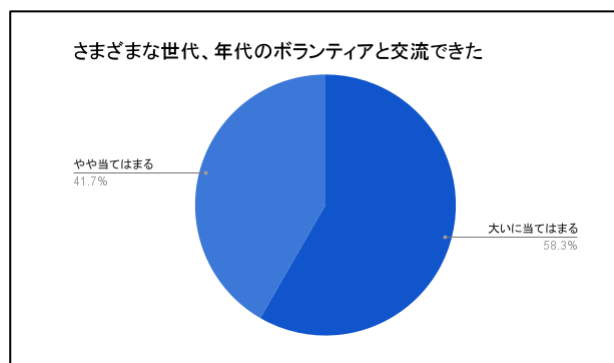
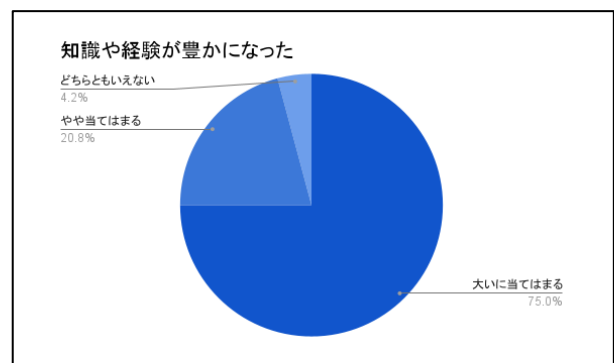
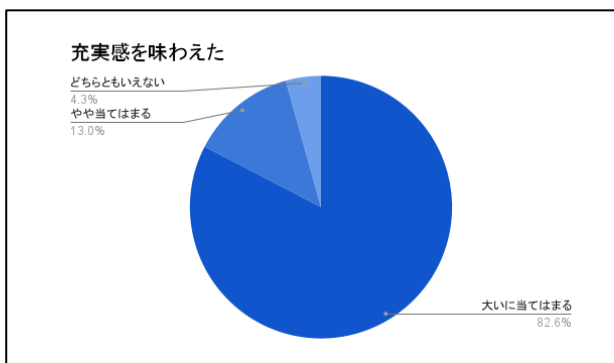
○一般（回答 18 名）

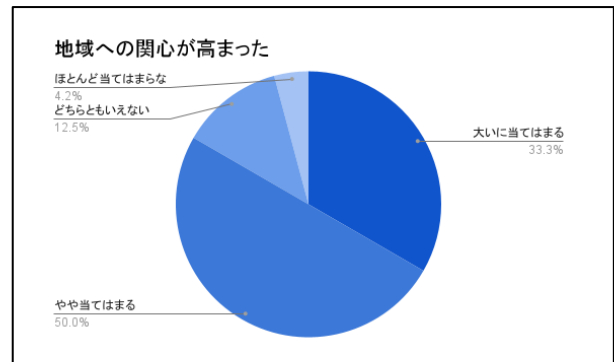
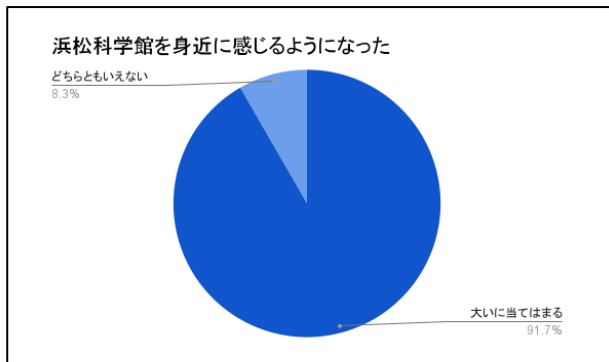


(感想)

- ・「ミニワークショップ」のお手伝いは楽しかったです。利用者が少ないのが残念な気がします。より良い科学館になって地域の方から愛されるような科学館になってくれるといいなと思いました。
- ・「ミニワークショップ」のみの参加でしたが、作品の原理や仕組みの理解も楽しみですし、参加した家族との交流も楽しみです。
- ・「ミニワークショップ」に加え「15分で科学実験」への活動にも参加し、いつもと違うボランティアの方とお話ができ有意義でした。活動メニューが増えるなど、ボランティア活動の環境充実に感謝します。体調管理をして次年度も新たな挑戦をしたいと考えます。
- ・「ミニワークショップ」はどのような内容かわかる動画をモニターで流しておく、もっと参加しやすいのではと思います。
- ・音に関わる新しい展示を考えたいが進んでいない。また他のボランティアとの交流も進めたいが「Mite Mite」中心の今のやり方では難しい。
- ・ボランティア活動に参加することにより、従来の「一般来館者」より、浜松科学館の理念を理解することができてよかったです。
- ・ただのアリ好きから、学問の世界へ一歩踏みだす貴重な体験をさせてもらっています。また、小学生の娘と一緒に参加させてもらっているので、ありがとうございます。

○ジュニア（回答 25 名）





(感想)

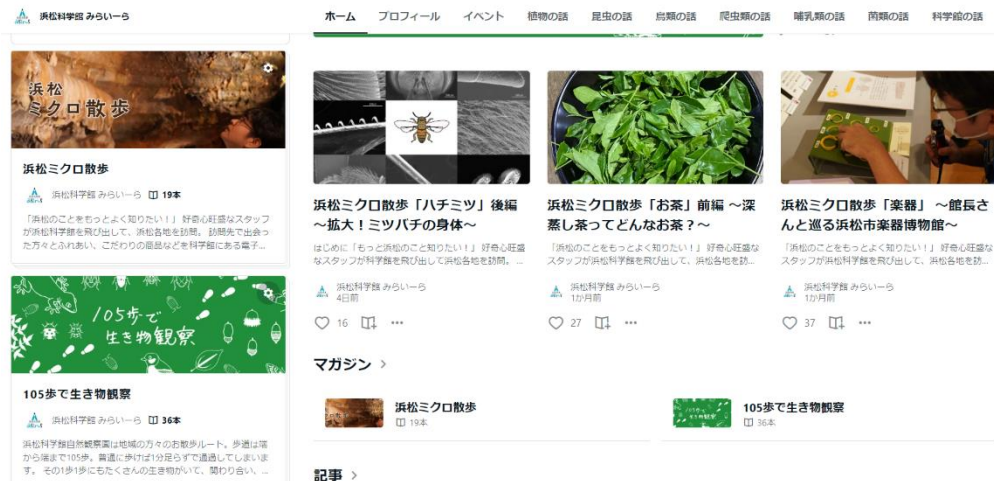
- ・人生で初めてのボランティア活動でなれないところもありますが、楽しくできたのでよかった。
- ・月一程度の活動でしたがかなり充実感がありました。
- ・すごくいろんな人やことと関わって、たくさんのことを知れてとても楽しかったし嬉しかったです！たくさんの人に優しくしてもらったのも、すごく嬉しかったです。
- ・回数はあまり多く活動できませんでしたが、これまで参加者として楽しんでいたミニワークショップで、小さな子のお手伝いをできたりしたのが嬉しかったです。
- ・普段話さない他の学校の人や、違う世代の人と話せて楽しかった。
- ・ボランティアが中心となる秋の企画展が特に楽しかったです。次年度から高校生になるので、より活発に活動していきたいと思います。
- ・たくさんの人と交流することができ、コミュニケーションに対する恐怖心が少し薄れました。

次年度の更新希望者は一般 18 人、ジュニア 20 人（計 38 人）。2024 年度の活動では、アンケートで得られた意見や要望を取り入れ、活動の場を拡げるとともに、さらに充実した活動になるよう支援していきます。

11. 調査・研究および収集・保存

毎月1回ボランティアとともに自然観察園の整備活動を行い、植物の遷移や外来生物の問題を生態学の野外実習の位置づけで教育普及を行いました。その観察の成果や、春の特別展「浜松ミクロ散歩」と連動した地域産業の作り手、守り手のこだわりや、生産物の電子顕微鏡写真などをnoteで連載しました。年間で計19本の記事を執筆し、PV数は159,301に上りました。

上記活動の過程で、科学館ボランティアが主導してミニガイドブック「おそと de みらいーら」のアリ編の作成を目指して、毎月1回、アリの勉強会（アリ調査）を行いました。



(note)



アリ調査の様子

12. パブリックリレーションズ

利用者の視点に立った広報に取り組み、地域やステークホルダーとのより良い関係構築ができるよう努めました。内製化した広報物により、情報を的確に届け、集客を図りました。また、Web や SNS、ニュースレターを通して科学館への親しみが感じられるよう、取り組みやスタッフの人柄が伝わる情報発信を行いました。ボランティアブログやサイエンススタッフの SNS アカウントなど、担当者自らが発信する場面も設けています。

① 紙媒体

事 項	内 容			
科学館ニュースレター COMPASS	科学館の事業の全体的な広報を行うため、浜松市、湖西市、磐田市、袋井市の小学校の全児童、森町は各学校 60 部を教育委員会経由で配布し、掛川市はデータ送信。また、館内や市内公共施設、幼稚園・保育園で配架しました。			
	号	発行部数	発行月	
	第 17 号	71,030 部	4 月	
	第 18 号	75,230 部	7 月	
	第 19 号	74,230 部	9 月	
	※増刷	500 部	10 月	
	第 20 号	74,730 部	12 月	
第 21 号	74,200 部	2 月		
				
		(A4 判×6 ページ三つ折り)		
科学館リーフレット	来館者を中心に配布しました。			
	また、市内のホテルや観光施設などにも置いていただき、市内周遊の際、ご利用いただいています。			
				
星空案内	浜松市天文台との共同編集で月に一度発行しました。(A3 判二つ折り)			
	月	発行部数	月	発行部数
	4 月	2,500 部	10 月	3,200 部
	5 月	2,500 部	11 月	2,500 部
	6 月	2,500 部	12 月	2,500 部
	7 月	2,700 部	1 月	2,500 部
	8 月	2,800 部	2 月	2,500 部
	9 月	2,600 部	3 月	2,500 部
				

事 項	内 容
ポスター、フライヤー	科学館の催し等の集客を目的とし、ポスターおよびフライヤーを発行しました。 ・ポスター 10種 計 2,880 枚 ・フライヤー 2種 計 12,000 枚



② ウェブ媒体

事 項	内 容
公式ウェブサイト	「今月の星空」「夜の科学館」などのブログ公開や定期的なサイト更新を行い、さまざまな目的で活用されるサイトを目指しました。また、今年度発行した紀要や過去の事業報告書をサイト上に掲載しました。サイトへのアクセス動向は以下の通りです。 ・ユーザー数 307,483 ・セッション数 449,901 ※セッション：ウェブサイトへの訪問のこと ・エンゲージのあったセッション数 0.95 ・セッションあたりの平均エンゲージメント時間 1:02 (※2023年4月1日～2024年3月31日の集計)
公式 SNS アカウント	X (旧 Twitter)、Facebook、Instagram、YouTube の公式アカウントを通じて、催しの告知などを発信し、浜松科学館への集客を図りました。

③ パブリシティ (※詳細は P69 資料参照)

項 目	件 数	内 訳
テレビ・ラジオ	14 件	テレビ：7 件、ラジオ 7 件
新聞・雑誌	60 件	新聞：38 件、雑誌：22 件
ウェブ	34 件	TV 系 1 件、新聞系：18 件、その他：15 件

④ 広告

項 目	件 数	内 訳
広告	1 件	新聞広告 1 件

13. 視察・調査

静岡県内外の行政視察や科学館関係者、学校関係者等の視察・調査の対応をしました。

区 分	団体名・名称	月 日
行政・議会	浜松市議会	5月30日、6月9日
	名古屋市議会	7月13日
	浜松市消防局南消防署	1月18日、19日
	新潟県燕市	1月19日
	浜松市代表監査事務局	2月21日
	磐田市（副市長）	3月14日
	さいたま市議会	3月28日
科学館等	多摩六都科学館	4月23日
	神戸市青少年科学館	9月20日
	栃木県こども総合科学館	10月24日
	愛媛県総合科学博物館	12月12日
学校(総合学習、理科教員視察等)	浜松西高等学校	4月7日
	浜松学院大学	5月9日
	早稲田大学社会科学部	6月9日
その他	常葉大学、中部科学技術センター	4月4日
	SPAC（静岡県舞台芸術センター）	6月9日
	乃村工芸社九州支店	6月28日
	東海旅客鉄道株式会社（新幹線鉄道事業本部企画部）	8月30日、11月10日
	東海旅客鉄道株式会社 （観光開発事務局静岡観光開発グループ）	11月22日
	松竹株式会社	1月5日
	河合楽器株式会社	1月19日
	東海旅客鉄道株式会社（新幹線鉄道事業本部）	3月20日

Ⅳ 維持管理業務

1. 科学館の維持保全業務

① 施設維持管理業務

来館者に満足してもらうための快適かつ機能的な環境を継続的に提供することを目的に、予防保全を基本とし、中長期的な視点からライフサイクルコストの低減に努めました。公共施設、社会教育施設としての施設特性を踏まえ、その目的の達成を施設維持管理面で支えるため、故障や不具合発生を未然に防ぐよう計画的に業務を行います。

② 業務実績

分類	分類	項目	仕様	2023												2024			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
設備運転管理業務	設備運転管理業務	日常設備管理、残留塩素測定		1-30	1-31	1-30	1-31	1-31	1-30	1-30	1-30	1-28	1-31	1-29	1-31	常駐業務			
1.建物管理業務	1.建物管理業務	特殊建築物定期調査	建築物調査						26							2年1回（奇数年）			
		建築設備定期点検	換気設備検査						26-28							年1回			
			非常用照明装置検査													年1回			
			防火設備点検						26-28							年1回			
2.設備点検業務	2.設備点検業務	昇降機点検		1	6	7	4	1	1	3	1	5	9	2	12	年12回			
		自動ドア保守点検		6			4			3			9			年4回			
		吸収式冷凍機保守点検		17.18				23				20-24		7-8		年4回			
		空調設備	パッケージエアコン	17.18								20-24				年2回			
			空調機	17.18								20-24				年2回			
			ファンコイルユニット	17.18								20-24				年2回			
			全熱交換器	17.18								20-24				年2回			
			ポンプ	17.18								20-24				年2回			
			送排風機	17.18								20-24				年2回			
			その他の点検(フロン)					24						7-8		フロン漏洩点検年2回			
			フィルター清掃	17.18				24				20-24		7-8		年4回			
		空調自動制御機器点検		17.18								20-24				年2回			
		消防設備点検	機器点検						26-28							年1回			
			総合点検											19.26		年1回			
			防火対象物点検						26-28							年1回			
		自家用電気工作物保守 (電力メータ監視)	保守点検	6	8	6	10	7	11	6	6	6	9	6	4	年12回			
			年次検査											6		年1回			
		非常用発電機保守点検												26		年1回			
		監視カメラシステム保守点検									6					年1回			
3.環境衛生管理業務	3.環境衛生管理業務	受水槽清掃				12										年1回			
		雑排水槽清掃					10						15			年2回			
		害虫駆除・鼠防除管理	建物全域	26	24	29	24	29	26	25	24	26	31	28	29	年12回			
			飲食スペース	26	24	29	24	29	26	25	24	26	31	28	29	年12回			
		簡易専用水道検査														年1回			
		水質検査	水質検査全項目			29						26				年2回			
			略式項目(水のテーブル)			29										年1回			
		ばい煙濃度測定					14						17			年2回			
		レジオネラ菌検査			24			30								年2回			
		Fog装置保守		6												年1回			
		冷却塔水質管理設備点検		26	24	15	13	23	21	13						年6回			
		空気環境測定		18		20		23		17		20		27		年6回			

※各月内の数字は実施日

③ 屋外緑地管理業務

サイエンスパーク、自然観察園、サイエンス農園等、科学館敷地内の緑地管理を行い、樹木の剪定・伐採、雑草除去に努めるとともに、ニュートンのリンゴの木・醍醐寺のクローン桜、綿花等の生育を図って、周辺環境の向上と美観の保持、事業活用に供しています。

2. 特殊機材・展示物等保守管理業務

① プラネタリウム機器の保守管理業務

プラネタリウム機器を常に正常な状態に保ち、最適な環境の下で安定的に投映を行うことができるようにするために、日常点検を行うとともに、故障やトラブルを未然に防ぐための定期保守点検を行いました。また、不具合が生じた場合は、速やかに復旧させるために、補修や部品交換等の適切な事後保全処置に迅速に対応しています。

内 容		実施日
1	保守点検（㈱五藤光学研究所） （光学式プラネタリウム機器 CHIRONⅢ、ハイブリッドコンソール、デジタル映像システム機器 VIRTUARIUM II R7、音響装置、演出プログラム制作システム）	9 月 24 日～29 日

② 展示アイテム・ホール設備の保守管理業務

内 容		実施日
1	展示映像機器点検作業（指定管理者） （映像・音響装置、プロジェクター、PC、タブレット端末等調整・動作点検）	適時
2	展示装置・造形物点検作業（指定管理者） （調整・動作点検、目視点検）	適時
3	屋外展示・遊具・霧発生装置点検作業（㈱アネビー） （調整・動作点検）	適時
4	ホール舞台照明・吊物設備保守点検（㈱エスピーエスたくみ） ホール舞台音響設備保守点検	適時

3. 什器・備品等保守管理業務

浜松市物品管理規則（昭和 40 年規則第 18 号）に基づき、備品台帳を整備し、保守・修繕等を随時行い、適切に管理しています。

4. 清掃・警備・防災関係業務

(1) 清掃業務

- ① 日常清掃 日単位の短い周期で日常的に行う清掃業務
- ② 定期清掃 月 1 回程度定期的に行う清掃業務
- ③ 巡回清掃 1 日 1 回の日常清掃と共に行う補完的な清掃業務
- ④ 補給作業 資機材や衛生消耗品の不足を確認し、常に補給を行う作業

(2) 警備業務

機械警備業務を実施し、夜間・休館日の警備に対応しました。

(3) 防災関係業務

災害に備えて防災対策を図るとともに、本施設が被災した場合には、直ちに補修等の措置を講じられるよう、設備管理業務協力会社との定例会議を開催し、施設の機能維持に努めています。

項 目	実施期間	備 考
建築設備点検	9 月 26 日～28 日	建築基準法第 12 条に係る設備の法定検査 (浜松市所管課への報告)
特定建築物定期調査	9 月 26 日～28 日	建築基準法第 12 条に係る建築の法定検査 (浜松市所管課への報告)
防火対象物点検	9 月 26 日～28 日	消防法第 8 条の 2 の 2 に基づく消防署への点検報告制度
消防用設備等点検 (総合点検)	2 月 19 日、26 日	消防法第 17 条に基づく消防署への点検報告制度
避難誘導訓練	4 月 21 日 9 月 29 日	・消防計画書に基づく特定防火対象物の総合訓練 ・地震避難総合訓練
防災教育	随時	消防計画書に基づく教育活動 ※新規職員（常勤・非常勤）採用時

- 防火権原者及び防火管理者の選定と「浜松科学館消防計画」の策定（浜松消防署に提出）
- 避難誘導マニュアルの作成と自衛消防隊の編成
- 災害時や警報発令時の参集基準、方法の設定（緊急連絡網の整備）
- 緊急事態に備えた教育・訓練の実施－危機管理マニュアル及びアクションカードに基づく総合避難訓練の実施（年間 2 回）
- 館内消火栓等確認

(4) 安全管理

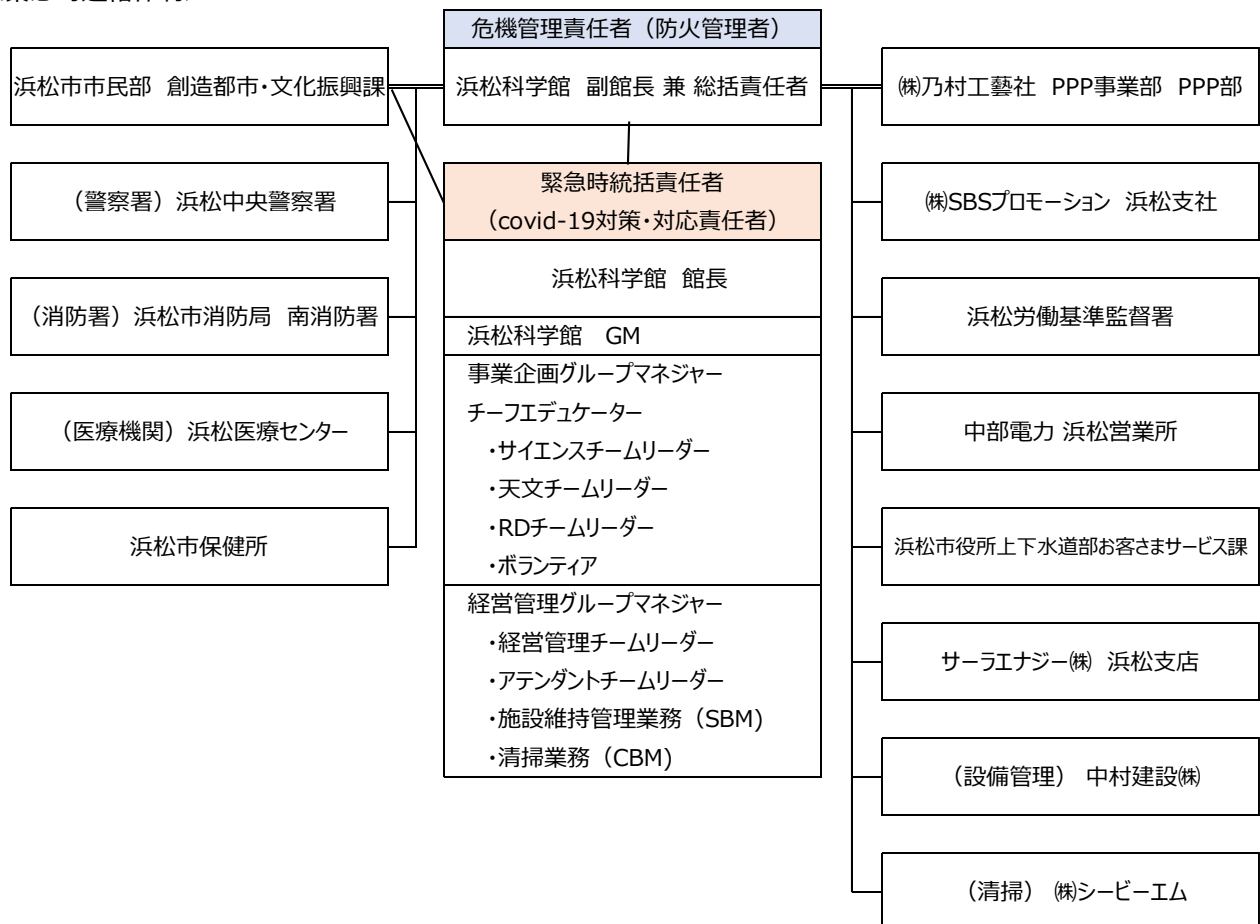
① 安全対策の基本的な考え方

来館者の安全を確保するために、前項（3）防災関係業務に基づき、施設内での事故・災害・盗難・不正・破壊等を未然に防止するよう図っています。特に、日常的な施設の施錠・出入口の開閉及び入退室者の管理を行うとともに、来館者に対して細やかな心配りにより安全を確保し、危険な事態や火災・盗難等の早期発見と拡大防止に努め、災害や事故に強い施設づくりに取り組みました。

② 緊急時の対応体制

災害等の発生時には危機管理責任者を中心に連絡体制を整え、浜松市の関連部署と連携を密にした指揮命令系統をつくり、対策にあたります。

<緊急時連絡体制>



5. 修繕工事に関する業務

区 分	件数	主要事項の概要	対応状況
故障・不具合	14件	① パワーアスレチックハウスすべり台裏のクッションはがれ ② パワーアスレチックハウス 遊具の床破損 ③ 温度ヒューズ不具合 ④ ロールフィルター交換 ⑤ ホール折戸工事 ⑥ 排気ファンベルト交換 ⑦ 冷却塔タンク補修 ⑧ フォグ装置補修 ⑨ 送風機Vベルト交換 ⑩ 3階下がり壁補修 ⑪ 防火扉修繕 ⑫ 雨漏り・天井材の剥落 ⑬ サイエンスパーク 水道栓不具合 ⑭ プラネタリウム誘導灯工事	①～⑪：浜松市所管課に報告の上、指定管理者 実施修理など11件 （修理費約200万円） ⑫～⑭：浜松市による修繕
損傷・破損・汚損	9件	① エレベーター衝撃による動作停止 ② 3Fホワイエ壁面のガラス部分破損 ③ サイエンスパーク マテリアルベンチ落書き ④ 自然観察園立て看板 落書き ⑤ サイエンスパーク ごみの不法投棄 ⑥ 東側駐車場 バリカー損傷 ⑦ 自然観察園 立ち木損傷 ⑧ サイエンスパークトランポリン 落書き ⑨ 天のリバー ホロライト損傷	⑥：保険会社による修繕 上記以外：指定管理者による修繕、清掃

6. 事故・苦情等の対応状況

区 分	件数	主要事項の概要	対応状況
事故・事件	24件	① 体調不良・けが 18件 ② ごみの不法廃棄 4件 ③ 詐欺被害・盗難（植物） 2件 ④ 拾得物処理	① 救護室で対応（安静、救急搬送等含む） ②～④ 所管警察署に届け出
意見・苦情等	3件	① 施設内喫煙について ② 施設内の支障枝、除草について	① 職員による声かけにて対応 ② 造園業者に連絡し、早急に剪定、除草を実施

V 施設貸出

(1) 業務概要

浜松市スポーツ・文化予約システム（まつぼっくり）による施設の利用申請を受け付け、利用許可を行い、利用料金を徴収しました。

(2) 貸室料金等

① 利用可能時間

9:30 から 21:30 までを貸出時間とします。（準備、片付け、原状復帰の時間も含む）

② 対象施設と利用料金（消費税及び地方消費税額含む）

対象施設	利用区分		9:30～10:00 及び 21:00～21:30	10:00～21:00 1 時間につき
ホール	教育関係団体	入場料徴収なし	470 円	940 円
		入場料徴収あり	940 円	1,880 円
	その他	入場料徴収なし	940 円	1,880 円
		入場料徴収あり	1,880 円	3,770 円
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160 円	320 円
		入場料徴収あり	320 円	640 円
	その他	入場料徴収なし	320 円	640 円
		入場料徴収あり	640 円	1,290 円
セミナールーム B	教育関係団体	入場料徴収なし	160 円	320 円
		入場料徴収あり	320 円	640 円
	その他	入場料徴収なし	320 円	640 円
		入場料徴収あり	640 円	1,290 円

※椅子や机等の備品の貸し出しの他、音響、照明、冷暖房装置等の備品は有料での貸し出しを行います。

(3) 貸出実績

施設区分	利用団体区分	件数	利用者数	利用料金
ホール	教育	19団体	1,527人	64,600円
	一般	11団体	554人	126,170円
	手帳・高齢	0団体	0人	0円
	事業	5団体	621人	1,196円
	計	35団体	2,702人	191,966円
セミナールーム	教育	6団体	224人	9,280円
	一般	15団体	249人	37,310円
	手帳・高齢	0団体	0人	0円
	事業	2団体	6人	0円
	計	23団体	479人	46,590円
合計		58団体	3,181人	238,556円

VI 収支報告

I 収入

(単位：円)

区 分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差 引
(A) 収入合計（税込み）		210,820,900	210,502,112	99.8%	318,788
1 指定管理業務委託料	指定管理料 年額140,710,900円(税込)	140,710,900	140,710,900	100.0%	0
2 利用料金		64,310,000	63,625,286	98.9%	684,714
入場料・観覧料等	常設展示・プラネタリウム等観覧料	60,109,000	56,790,330	94.5%	3,318,670
特別展入場料	春、夏の特別展等入場料	2,000,000	3,637,200	181.9%	△ 1,637,200
施設貸出使用料	ホール、セミナールーム貸室料	300,000	238,556	79.5%	61,444
その他収入 (受益者負担金)	情報端末貸出料	1,000	800	80.0%	200
	みらいーらカード発行料	100,000	163,500	163.5%	△ 63,500
	参加費・材料費	1,800,000	2,794,900	155.3%	△ 994,900
3 補助金、協賛金等		5,800,000	6,165,926	106.3%	△ 365,926

II 支出

区 分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差引
(B) 支出合計		210,820,900	206,466,270	97.9%	4,354,630
1 事業運営業務費		21,650,000	17,374,944	80.3%	4,275,056
常設展示運営費	保守点検、管理経費等	1,980,000	1,418,177	71.6%	561,823
プラネタリウム運営費	番組制作・借上料、保守点検、管理経費等	10,170,000	7,281,995	71.6%	2,888,005
特別展・企画展運営費	企画料、製作費等	5,700,000	5,417,307	95.0%	282,693
教育普及事業費	展示消耗品、ミニワーク、サイエンス ショー材料費等	3,800,000	3,257,465	85.7%	542,535
2 広報業務費		5,300,000	6,086,952	114.8%	△ 786,952
広報費、印刷費	広告媒体費、宣材印刷費等	5,300,000	6,086,952	114.8%	△ 786,952
3 施設運営業務費		142,881,000	134,010,467	93.8%	8,870,533
管理運営人件費	常勤・臨時職員給与等	131,604,000	122,766,447	93.3%	8,837,553
運営事務費	旅費、消耗品、事務機器等借上料、保険料 等	11,277,000	11,244,020	99.7%	32,980
4 施設維持管理業務費		37,290,000	39,165,907	105.0%	△ 1,875,907
維持管理業務委託費	清掃、設備管理、保守点検等委託料	34,628,000	34,700,330	100.2%	△ 72,330
その他施設管理費	安全管理、修繕料等	2,662,000	4,465,577	167.8%	△ 1,803,577
5 公租公課		10,000	0	0.0%	10,000
租税公課費	消費税、法人事業税等	10,000	0	0.0%	10,000
6 一般管理費		3,689,900	9,828,000	266.3%	△ 6,138,100
一般管理費	バックオフィス事務経費等	3,689,900	9,828,000	266.3%	△ 6,138,100
収支（千円） (A) — (B)		0	4,035,842	—	—

Ⅶ 自主事業

1. 必須の自主事業

(1) ミュージアムショップ

① 事業方針

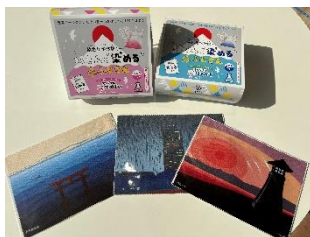
事業活動と一体的に企画・運営し、利用者の科学への興味関心を高めるとともに、帰宅後にさらに学びを深めることを支援する商品や、館内での体験を回想し、また来館したいと感じてもらえるような商品の選定、販売を行いました。また、地域のアンテナショップとして、地元浜松の企業や事業者の商品も積極的に紹介することに取り組みました。

② 概要

営業日数	開館日と同じ
営業時間	9：30～17：00（夏季休暇期間は17：30まで） 毎月第2金曜日「夜の科学館」開催日は終了時刻まで

② 実施業務

事業と連動し、来館者の学びを支援するグッズや地元浜松の企業関連製品を販売し、来館の記念になるようなオリジナル商品を開発しました。特に、毎月第2金曜日開催の「夜の科学館」や特別展関連の商品を企画・販売し、多くの方に購入していただきました。また、大河ドラマ放映に連動し、家康グッズや、地域企業の商品を販売しました他、浜名湖花博2024のショップにオリジナルグッズ等を提供し、入場チケットの販売も行いました。

業 務	内 容
グッズ販売	① 常設展示のテーマ（光、力、音、自然、宇宙）やプラネタリウムに関連した教材、実験・工作材料、書籍、文具などのグッズ販売 ② 特別展や企画展のテーマに関連した書籍、工作キット、教材などのグッズ販売 ③ 実験・工作のキットや道具、材料等の販売 
地域のイベントや地元企業との連携	① 大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせ、家康グッズコーナーを設置 ② 地元企業の商品販売・展示 制作キット「はさんで染めるさんかくふじさん」、浜松観光名所のイラスト付き眼鏡クリーナー、浜名湖焼き他、浜松銘菓などの販売。 水難事故対応ランドセル「UKURAN」の展示紹介。 

業 務	内 容
オリジナル商品の開発と販売	① 職員が描いた「オリジナル 12 星座」グッズの販売 ② オリジナルキャラクター「コンパス君」「まるだしくん」「ブッソラちゃん」の木製マグネットを製作販売。 

(2) カフェ

① 事業方針

来館者の利便性に配慮した飲食サービスを提供するとともに、「サイエンスライブラリー & カフェ」として、科学館職員がお勧めする図書等の配架や科学をテーマにしたミニ講座の開催など、科学館事業と連携しながら運営することを目指しています。令和3年9月、COVID-19感染拡大による営業不振によりカフェ営業者が撤退後、営業体制の見直しを図り、公募による市内飲食店とのコラボ営業を基本に、職員が営業するなど、試行錯誤を続けてきました。

令和5年度は市内飲食店の営業希望が増え、カフェ営業日数が増加してきたことから、10月に年間を通して営業できる事業者を公募し、11月に選考会を行いました。その結果、創作イタリア料理店「kitchen KOPPE」に決定し、3月14日から営業を始めています。

② 概要

項目	内容
営業実績	NAKATAJIMART 79日間 和ダイニングー莉（NAKATAJIMARTと共同営業） 2日間 Hara ペコ・サンド 94日間 うなぎパイカフェ 1日間 有限会社 村松商店 3日間 コッペのぱんきち 3日間 キッチン Cramet 1日間 シフォンケーキ絹 5日間 kitchen KOPPE 17日間 職員直営「宇宙食カフェ」 1日間 職員直営「ニコニコ餅仕入販売」 2日間 
営業日	土日祝日、夏休み・冬休み・春休みの一部 3月14日からは毎日(臨時休業有)
営業時間	11時から概ね15時まで(終了時間は日によって異なる。店頭に表示)
席数	50席

③ メニュー

地域の食材を活用したメニューや科学館らしいメニューなど、客層に合わせて工夫しました。

事業者	主なメニュー
NAKATAJIMART	パン各種、カレー、うなぎ芋を使ったスイーツ、ソフトクリーム、ドリンクなど
和ダイニング 莉	峯野牛串焼き、焼肉弁当、厚焼き玉子など
Hara ペコ・サンド	サンドイッチ各種、フランクフルト、かき氷、ドリンクなど
うなぎパイカフェ	うなぎパイジェラード 3 種
(有)村松商店	お茶を使ったスイーツ・かき氷、ドリンク(煎茶・和紅茶・ほうじ茶・玄米茶)各種
コッペのぱんきち	調理コッペパン各種(惣菜、スイーツ、揚げパン)、ドリンクなど
キッチン Cramet	お弁当、豚汁など
シフォンケーキ絹	シフォンケーキ各種、ドリンクなど
Kitchen KOPPE	パスタ各種、キッシュ、ランチプレート、ドリンクなど
直営「宇宙食カフェ」	ショップで販売している宇宙食を使ったメニュー(カレー、焼き鳥丼、ちりめん山椒茶漬等)、銀河系の惑星をイメージするドリンク など
直営「ニコニコ餅仕入販売」	巻きずし、ちらしずし、みたらし団子、あん団子

(3) 自動販売機

利用者へのサービスのために、館内 1F に 2 台、2F に 3 台、サイエンスパークに 1 台(計 6 台)設置しています。

2. 任意の自主事業

(1) キッチンカーのフードサービス

① 事業方針

サイエンスパーク内に専用エリアを設け、浜松市公有財産管理規則(昭和 39 年規則第 30 号)第 9 条の規定に基づき、行政財産の使用許可を得て、キッチンカーのフードサービスを計画しました。令和 4 年 4 月までは COVID-19 感染拡大の影響によりキッチンカーの誘致を見合わせていましたが、5 月に「みらいーら みなくる マーケット」での募集を契機に、7 月 20 日からの夏期休暇期間に合わせてキッチンカースペースの出店者を募集し、利用を再開しました。夏期休暇期間終了後も出店希望があり、3 月末まで土日祝日を中心に複数のキッチンカーが出店しました。

② 概要

項目	内容
営業実績	コッペのぱんきち 4 日間 AMERICAN DINER OISHI 2 日間 k.d.café 2 日間 Irie Kitchen Nana no moe 2 日間 Nick&Ribbon 13 日間 自家焙煎コーヒーライフ 6 日間 MEAT DOG 1 日間
営業日	土日祝日、夏休みの一部
営業時間	11 時から概ね 15 時まで（終了時間は日によって異なる。店頭に表示）

③メニュー

事業者	主なメニュー
コッペのぱんきち	調理コッペパン各種（惣菜、スイーツ、揚げパン）、ドリンクなど
AMERICAN DINER OISHI	ホットドッグ、かき氷、アイス、クリームソーダなど
k.d.cafe	バナナジュース、自家製シロップソーダなど
Irie Kitchen Nana no moe	発酵惣菜、亀田揚げ、フライドポテト、甘酒アイスなど
Nick&Ribbon	揚げパン、フライドポテト、かき氷、綿菓子、ドリンクなど
自家焙煎コーヒーライフ	コーヒー、コーヒー豆
MEAT DOG	ホットドッグ各種、から揚げ、ハンバーグ弁当など

（２）プリントシール機の設置

ミュージアムショップ横に設置し、利用者の来館記念撮影の他、年間パスポート用写真撮影に活用しています。

（３）販わい創出のマルシェ

COVID-19 感染拡大により開催を見合わせていたマルシェの開催を昨年度は試行的に、12 月 24 日・25 日の 2 日間、「みらいーらクリスマスマーケット」としてエントランスエリアで開催しました。

その成果を踏まえ、本年度はイベント名を「みらいーら みなくる マーケット」と名付けて年間 4 回開催しました。募集は、年間 4 回分のスケジュールを示し、公式 HP や SNS で 5 月に実施し、屋内・屋外・キッチンカーの 3 つの出店区分を設け、出店調整を行いました。告知は公式 HP、COMPASS のほか、A5 判のリーフレットを作成し、館内及び駅周辺の施設等に配架したほか、出店者にも配布し出店者自身も周知に努めました。ワークショップなどを通して出店者と来館者の交流も生まれ、マーケット目当ての新たな集客も見られました。



開催日	出店者
5月21日(日)	Aki.leather&crafts、エチラオチラ、けん玉すずき商店、ビーズのおみせ、hopuni、Hara ペコ・サンド、壺焼き芋専門店 (計7事業者)
7月23日(日)	Aki.leather&crafts、エチラオチラ、けん玉すずき商店、ビーズのおみせ、drops design、ponococo、あおい商店、BIRTHDAY、Hara ペコ・サンド、おやつ工房歩々、忍茶、Bakeshop Scot、はじめてのキッシュ、南インド料理 iCurry、ichi ya stand (計15事業者)
10月9日(月・祝)	Aki.leather&crafts、けん玉すずき商店、つぶ屋、SarahAngelina、ビーズのおみせ、aoitori_chibi_candle、FAIS UnREVE、Nonet、うずら、LOLO ISLAND、ナナ君ママ、BAKESHOP Scot、忍茶、焼菓子ピラット、シェアザスープ、おやつ工房天禄 (計16事業者)
12月23日(土)	Aki.leather&crafts、エチラオチラ、ビーズのおみせ、drops design、ナナ君ママ、aoitori_chibi_candle、FAIS UnREVE、Nonet、drops design、うずら、coto coto、小麦の奴隷、幻想工房きつねや、あおい商店、ハマナコベリーズファーム、奏、シェアザスープ、JOIE CREPE (計18事業者)

3. 自主事業の収支

(単位：円)

区分	内 容	金額 (税込)	備 考
収入	ショップ売上	18,567,996円	
	カフェ手数料等(外部委託業者)	754,378円	売上の5%+消費税、基本使用料
	カフェ自主営業	95,485円	宇宙食カフェ1回/ニコニコ餅仕入販売2回分
	マーケット出店料	112,000円	みらいーらみなくるマーケット出店料収入
	キッチンカー販売手数料等	54,000円	1日当たり1,000～2,000円の出店料
	飲料用自動販売機手数料	1,751,487円	売上の34～35%
	自動販売機電気料徴収分	66,887円	設置業者からの電気料徴収金額の一部
	プリントシール機	88,340円	売上の20%
	浜名湖花博2024チケット販売手数料	4,800円	チケット代金の10%
合計 A		21,495,373円	
支出	通信費	7,020円	みなくるマーケットチラシ発送費
	運搬費	9,810円	ショップガチャガチャ機械返却費
	消耗品費・什器等備品費	354,316円	ショップ・カフェ自主営業・マーケット消耗品
	行政財産目的外使用料 (使用料賃借料)	1,541,868円	カフェ・ガチャ・ショップ・プリントシール機
	修繕費	36,300円	カフェコーナー修繕
	印刷製本費	12,250円	みらいーらみなくるマーケットフライヤー
	光熱水料費	251,847円	自動販売機電気料・カフェ電気料&水道料
	維持管理委託費	246,950円	ショップ物語保守契約料・カフェ厨房清掃
	手数料支出	403,798円	振込手数料、キャッシュレス手数料等
	商品仕入	13,000,907円	買取・委託商品仕入
	雑支出	▲ 471,007	クーポン差額、ショップ商品仕入調整
合計 B		15,394,059円	
収支差引 A-B		6,101,314円	

(注) 支出は、ショップの店舗運営に係る販売管理等の経費を除いたもの。

Ⅷ 資料

1. 2023 年度科学館入館観覧者状況
2. 2023 年度イベント・講座実施状況
3. 利用者アンケート調査集計結果
4. 浜松科学館と大学・企業との事業連携アンケート調査（評価）結果
5. メディア取材等一覧表

1. 2023年度科学館入館観覧者状況

チケット区分				利用者数（人）	構成比	利用料金（円）	構成比	
個人	常設展	有料	大人	36,700	23.4%	22,020,000	40.5%	
			中人	1,233	0.8%	369,900	0.7%	
			計	37,933	24.2%	22,389,900	41.2%	
		無料	大人	11,195	7.1%	0	0.0%	
			中小人	45,715	29.1%	0	0.0%	
			計	56,910	36.3%	0	0.0%	
		合計		94,843	60.5%	22,389,900	41.2%	
	常設展＋ プラネタリウ ム・大型映 像	有料	大人	27,219	17.3%	30,385,100	55.9%	
			中人	941	0.6%	521,650	1.0%	
			計	28,160	17.9%	30,906,750	56.8%	
		無料	大人	5,093	3.2%	0	0.0%	
			中小人	28,793	18.4%	0	0.0%	
			計	33,886	21.6%	0	0.0%	
	合計		62,046	39.5%	30,906,750	56.8%		
観覧券			4,578	—	1,380,750	—		
割引			—	—	△ 281,590	—		
A 個人合計				156,889	—	54,395,810	—	
団体	常設展	有料	大人	292	1.7%	135,480	27.3%	
			中人	184	1.1%	49,050	9.9%	
			計	476	2.7%	184,530	37.2%	
		無料	大人	962	5.6%	0	0.0%	
			中小人	5,937	34.3%	0	0.0%	
			計	6,899	39.8%	0	0.0%	
		合計		7,375	42.6%	184,530	37.2%	
	常設展＋ プラネタリウ ム・大型映 像	有料	大人	289	1.67%	248,600	50.1%	
			中人	124	0.7%	63,040	12.7%	
			計	413		311,640		
		無 料	大人	1,157	6.7%	0	0.0%	
			中小人	8,381	48.4%	0	0.0%	
			計	9,538	55.1%	0	0.0%	
	合計		9,951	57.4%	311,640	62.8%		
	B 団体合計				17,326	—	496,170	—
	個人・団体合計(A+B)				174,215	—	54,891,980	—
別納分				—	—	0	0	

2. 2023 年度イベント・講座実施状況

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
4月1日	サイエンスラボ	15分で自然観察 「ツクシの胞子はクネクネ動く」	12	事前に採集したツクシを材料に、生物顕微鏡でツクシの胞子を観察した。息を吹きかけると胞子から生える弾糸が伸び縮みして激しく動く。何に反応して、なぜ動く必要があるのか？を考察した。
4月15日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「くるくるビーコロ装置をつくろう」	28	円筒の中に板を配置して螺旋階段状の装置を作成した。ビー玉が筒の中をくると落ちる様子を観察して、力学的な物体の動きを楽しみながら体感した。
5月20日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「3色キーホルダーで色の実験」	23	プラ板に彩色し熱を加えて作るキーホルダー。複数のキーホルダーを重ねることで色が変化するのを観察し、光の三原色を体感した。
5月27日	サイエンスラボ	水が丸くなる「撥水」の科学	11	前半の座学では身の回りのものでどんなものが撥水するのか、またその原理を実験した。後半の野外観察では撥水する植物の葉を探し、水滴の様子を撮影した。
6月17日	サイエンスラボ	「クランク機構でパタパタちようちよ」	25	与える力の向きを変えて出力するクランク機構。イベントでは手回しの力を上下運動に変化させるクランク機構を針金で手作りし、蝶の模型が羽ばたく実験道具を作成する過程で楽しみながら機構の仕組みを体感した。
7月15日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「12星座の3D模型を作ろう」	38	職員オリジナルの暗闇で光る12星座の模型を製作。相対的に正しい距離関係を3Dで配置し、星座は地上から見たときの2Dの配置であることを解説しながら工作した。
8月12日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「蚊取り線香を作ろう」	17	お香の材料として使われていたタブノキの粉末と、殺虫成分を含む除虫菊の粉末を混ぜた蚊取り線香を作成した。いつの時代も生き物たちからの恩恵があることを体感した。
8月27日	サイエンスラボ	カラフルミラーボックスを作ろう	20	内側が鏡面の正六面体を覗き込むと合わせ鏡を応用したような鏡の世界が広がる。鏡面を削ったり色を付けたりすることで美しいオリジナルの箱を作る過程で鏡の性質を学んだ。
9月3日	サイエンスラボ	15分で科学実験「手作りカメラで写真を撮ろう！」	13	特別展の内容に合わせたワークショップ。展示会のカメラの仕組みについて、特に凸レンズの光を点として集める性質を体感してもらいながらカメラを制作した。
9月18日	サイエンスラボ	15分で科学実験「青色LEDでアクリルスタンド」	24	天野名誉館長が制作に携わった青色LEDを用いた工作体験。アクリル板に傷を付けることで、板を透過する青色の光を可視化され自身で描いた絵が浮かび上がった。
12月3日	サイエンスラボ	標本を作って観察しようータネ編ー	13	昼休憩をはさんで午前、午後と時間（5時間）をかけて種子の樹脂標本づくりを行った。自然観察園での野外観察や、屋内の講義などを行い、種子の生態について深く学ぶ機会となった。
1月21日	サイエンスラボ	15分で科学実験「試験管の中で雪を降らせよう」	16	実際に塩化アンモニウムを加熱して結晶を溶かし、冷えて再結晶する様子を観察することで、再結晶という化学現象を体感した。
サイエンスラボイベント 計			240	

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
8月27日	サイエンスショーイベント	特別サイエンスショー「どうする科学館夏の陣」	100	浜松市やらまいか大使の天玲美音さんをゲストに、浜松城の石垣の特性や、通信、葉など家康に関するサイエンスショーを開催した。
サイエンスショーイベント 計			100	

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
4月～3月 (毎月第2金曜日)	その他	館内 夜の科学館	1,812	今年度より、毎月異なるテーマを設定し、大人が楽しめるさまざまなコンテンツを用意した。 4月146人、5月123人、6月206人、7月118人、8月263人、9月164人、10月143人、11月161人、12月155人、1月120人、2月101人、3月112人
4月1日～12月22日	その他	館内 さがしてためして みらいーら2	2,269	常設展示内の5ゾーンそれぞれで問題を解きながら、観察・実験を促す仕掛けになっている。科学館をより楽しんでもらうための親子向けのツール第2弾。冊子の中2階のゆめたまごで販売（1冊100円）4月233人、5月222人、6月197人、7月357人、8月653人、9月212人、10月149人、11月153人、12月93人
12月23日～3月31日	その他	館内 さがしてためして みらいーら3	1,188	常設展示内の5ゾーンそれぞれで問題を解きながら、観察・実験を促す仕掛けになっている。科学館をより楽しんでもらうための親子向けのツール第3弾。冊子の中2階のゆめたまごで販売（1冊100円）12月94人、1月301人、2月273人、3月520人
4月1日～16日	その他	館内 全国プラネタリウムこども絵画展	—	プラネタリウム誕生100周年を記念して、子供たちが描いた、プラネタリウムがテーマの絵画約90点を展示した。
5月3日～5日	その他	館内 トークオブワンダー 「となりのトトロ」で生き物観察	140	映画に登場する生き物たちに注目しながら、生物の多様性、色形、進化の魅力をサイエンスカフェ形式で紹介した。

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
6月17日～8月31日	その他	館内	22	市内の小・中学生を対象に、その人に読んでほしい1冊をスタッフが選書し、贈呈。当選者の読後のメッセージとスタッフのメッセージを本とともにライブラリーに展示した。6月18日には浜松ロータリークラブ副会長が出席し、記念品贈呈式をみらいーらステージで行った。(6/17～記念品贈呈8人、6/18記念品贈呈式出席14人※保護者12人) 共催：浜松ロータリークラブ
6月4日,10日,11日,17日,18日,24日,25日	その他	館内	8	子供たちが興味関心のあること科学館に持ち込んで、科学館の職員、機材を活用して探求する自由研究の関連イベント。コピー用紙・ボール紙などの紙、アクリル・綿などの布、動物・鳥などの毛や羽毛などそれぞれの比較を電子顕微鏡を用いて行った。
7月1日,2日,22日,23日,29日,30日	その他	館内	10	子供たちが興味関心のあること科学館に持ち込んで、科学館の職員、機材を活用して探求する自由研究の関連イベント。乳酸菌の観察、エノコリの解剖、ナナフシの卵の解剖、死んだセミを鳴かせる実験などを行った。
7月9日	その他	館内	5	自由研究や調べ学習に役に立つ検索サイトや情報管理ソフトなど、世の中に沢山ある情報から自身が求める信ぴょう性の高い情報を手に入れ、整理するコツを紹介した。
7月20日～2024年1月8日	その他	館内	—	プラネタリウム誕生100周年にあたり、プラネタリウム100周年記念トレイラーの上映や、プラネタリウムが作られた理由、プラネタリウムの種類等を紹介する（Q&A形式）パネル展を宇宙ゾーンにて開催。
7月27日	その他	館内	2	2024年、2026年に予定している展示更新に向けた市民調査の一環として実施。職員による展示案内の後、参加者がデジタルカメラを持って館内を見学。発見したことやおもしろいと思ったことなどを1枚の用紙にまとめ、常設展示場内に掲出した。
8月5,6日	その他	館内	3	子供たちが興味関心のあること科学館に持ち込んで、科学館の職員、機材を活用して探求する自由研究の関連イベント。6日の参加者は、来館者を対象にモニタリングを実施した。
8月11日,19日,20日	その他	館内	979	数十万年前の地層から得られた岩石を割って、当時の植物の葉の化石を探した。 8/11(434人)、8/19(276人)、8/20(269人) 共催：公益財団法人 山崎自然科学教育振興会
9月23日	その他	館内	29	市内小中学校から発明くふう作品を応募し、1次審査を通過した子供たちを対象に実演審査を実施した。第4回にして初の対面での審査会が実現した。共催：浜松経済クラブ
9月23日～10月1日	その他	館内	488	1次審査を通過した発明くふう作品を展示した。会場内に子供たちが作品の内容を説明する動画を投影した。9月340人、10月148人 共催：浜松経済クラブ
10月7日	その他	館内	30	カゾーン「パワーアシストつなひき」で用いられている電動アシスト機能が実用されている電動アシスト自転車、電動アシスト車椅子などを試乗し体感した。
10月14日,15日	その他	館内	56	サイエンスショーとでんけんラボにて、サツマイモという共通したテーマを取り上げ、科学的に、そして多面的なものを捉える時間を創出した。 でんけんラボ56人（サイエンスショー199人は1-1で計上）
10月28日	その他	館内	19	みらいーらステージにて、自由に研究ラボで優秀な成果をまとめた参加者に探求賞、特別賞を表彰した。受賞者6人
10月29日	その他	館内	29	（サイエンストーク）19人 針山孝彦特命研究教授（浜松医科大学）によるトークショー。これまでに訪れた国々での研究者たちとの交流、バイオメテックスの研究、開発したナノスーツ法について、みらいーらステージで披露した。 （でんけんラボ）10人 上記に引き続き、針山特命研究教授による電子顕微鏡を用いた生物の観察会を参加者とともに実施した。トップダウン式の教え方ではなく、参加者の疑問を優先した探求心を大切にしながら作られた。
11月4日,5日	その他	館内	55	黒色に着色したCDを削ることで、CD面が露出した部分が虹色に輝き、オリジナルの絵画作品ができる。構造色の美しさを体感した。 （11月4日34人 5日21人）
11月12日	その他	館内	35	市内から募集した発明くふう作品について優秀な成績を納めた子供たちや多数の応募作品があった学校を表彰した。当日は35人を表彰した。 共催：浜松経済クラブ
11月18日,19日	その他	館内	499	浜松発明研究会によるアイデアあふれる作品の展示会を実施した。パズルや身体を動かして楽しむ作品を多くの来館者が体験した。共催：浜松発明研究会 （参加者数：11月18日258人,19日241人）
11月23日,25日,26日	その他	館内	10	昨年度は参加者の家族限定でのショーだったが、今年度は一般の来館者も入場可能として、参加者の思い出により残りやすい特別な場を創出した。：色変わり実験編 （体験者23日4人、5日4人、26日2人）

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
1月4日～8日	その他	館内 昔あそび広場	844	コマ回し、けん玉、かるたなどお正月遊びの体験スペースをみらいーらテーブル周辺に設置した。連日、多くの来館者が五月雨的に体験した。
1月14日	その他	館内 音読会「銀河鉄道の夜～旅の続き～」	3	大型映像「銀河鉄道の夜」上映関連企画として、大型映像では描かれなかった旅の続きを、原作で味わうイベントを実施。原作（ちくま文庫）の後半部分を参加者が交互に音読し、賢治の世界観を味わうとともに作品についての感想を共有した。
1月14日	その他	館内 ブックトーク「宮沢賢治は多面体？多彩な彼の作品を知ろう」	8	大型映像「銀河鉄道の夜」上映関連企画として、ブックトークを実施。浜松市立中央図書館の司書による宮沢賢治作品や多方面で活躍した賢治の人物像を紹介した。共催：浜松市立中央図書館
1月28日	その他	館内 ボートふしぎ発見講座	26	全長7mの大型水槽に手作りボートを走らせた。走行タイムを短縮するために試行錯誤することでのづくりの楽しさを体感した。 共催：ヤマハ発動機
2月10日～25日	その他	館内 MENKA Fair 「紙芝居」	219	温暖で水はけの良い風土が綿花栽培に適していたこと、綿花を出発点とした織物産業が現在のものづくりのまち浜松の原点であったことを、みらいーらステージを会場に職員手作りの紙芝居で紹介した。
2月10日～12日	その他	館内 MENKA Fair WS 種をとって「フクロウ」をつくろう	146	綿花の種とり体験をスタートとして、綿を材料にフクロウの置物を作った。体験をとおして、綿花の性質や加工の方法を学んだ。
2月10日～12日	その他	館内 MENKA Fair 「ミニ織機でオリジナルのコースターを織ろう！」	29	織物産業を起点としたスズキの歴史館を講師として招き、ミニ織機で織物を体験し、コースターを作成した。※共催：スズキ歴史館
2月12日	その他	館内 農業と科学のおもしろ発見フェス	750	浜松市・湖西市内の農業者、静岡大学みかんサークル、浜松スマート農業推進協議会による13ブースの出展と4種の体験プログラムにより、農業について楽しく学べるイベントを開催。農業の魅力や将来の担い手である子供たちに伝えた。 ※共催：NEW浜名湖アグリフォーラム
2月17日、18日	その他	館内 MENKA Fair 「糸紡ぎ体験」	102	種をとった綿花を糸紡ぎ機を使って糸を紡いだ。綿花が捻じれることで綿糸が作られることを実感した。
2月23日～25日	その他	館内 MENKA Fair WS 種をとって「シマエナガ」をつくろう	362	綿花の種とり体験をスタートとして、綿を材料にシマエナガの置物を作った。体験をとおして、綿花の性質や加工の方法を学んだ。
3月1日～31日	その他	館内 みらいーらブックセレクション	—	市内の小・中学生を対象に募集。これまでに読んだ本や興味のあることを記入して応募した人に、職員が選書し贈呈する。今後は、職員と応募者のメッセージのやり取りと本を展示するブックセレクション展を開催予定。共催：浜松ロータリークラブ（応募者37人）
3月20日～24日	その他	館内 【鉄道Week】新幹線のおしごと	242	ミニチュア模型運転体験、打音検査体験ほか 協力：新幹線 浜松工場
3月25日、26日	その他	館内 【鉄道Week】新幹線のおしごと	98	コンクリート打音検査、レール探傷ほか 協力：新幹線 浜松保線所・浜松レールセンター 静岡新幹線構造物検査センター
3月27日	その他	館内 【鉄道Week】新幹線のおしごと	43	腰道具・ヘルメット着用体験ほか 協力：新幹線 浜松電気技術センター
3月28日	その他	館内 【鉄道Week】新幹線のおしごと	40	超音波を使ったレールの検査体験 協力：東海道線 保線チーム
3月29日	その他	館内 【鉄道Week】新幹線のおしごと	40	踏切や信号機の安全の仕組みをまなぼう！ 協力：東海道線 信号通信チーム
3月30日	その他	館内 【鉄道Week】新幹線のおしごと	49	線路と道路を両方走れる、はたらく車に乗ってみよう！ 協力：東海道線 電力チーム
3月31日	その他	館内 【鉄道Week】新幹線のおしごと	70	電車の運転士さんや車掌さんの1日を体験してみよう！ 協力：東海道線
その他イベント 小計		館内	10,759	

開催日	種 別		名 称	参加人数	内 容
7月16日, 17日	その他	野外	身近な昆虫採集体験	100	科学館敷地内でチョウ、バッタ、セミなどを採集、写真撮影し、サイエンスライブラリーにて図鑑で種名を調べた。特定外来生物アカボシゴマダラも採集された。
9月10日	その他	野外	浜松シャボン玉フェス2023	600	サイエンスパーク内にシャボン玉溶液と、様々な形状の枠を用意し、のびのびとシャボン玉を楽しんだ。
11月26日	その他	野外	街なか天体観測	38	「望遠鏡で太陽を見よう」 館内にて太陽に関する事前説明を実施した後、アクトシティ太陽の広場に移動して、天体望遠鏡で太陽を観察した。共催：浜松市天文台
12月10日	その他	野外	スマホで撮ろう！生き物たちのミクロな世界	11	マクロレンズを付けたスマホで植物、地衣類、コケ植物、土壌動物などを観察、撮影した。普段の野外観察とは一味違った散歩を経験した。
12月24日	その他	野外	親子でバードウォッチング！	3	双眼鏡の使い方を習った後に馬込川沿いを歩いてバードウォッチングを行った。カワセミなど計16種の野鳥を観察した。
その他イベント 小計		野外		752	

開催日		種 別		名 称	参加人数	内 容
6月13日,14日		その他	外部	生涯学習施設職員及びボランティアのための実技研修会	106	市内の協働センター職員を対象とした実技研修会を実施した。センターの講座で使えるような科学工作を5種類、提供した。 参加人数：13日52人、14日54人
3月20日～24日		その他	館内	【鉄道Week】新幹線のおしごと	242	ミニチュア模型運転体験、打音検査体験ほか 協力：新幹線 浜松工場
3月25日、26日		その他	館内	【鉄道Week】新幹線のおしごと	98	コンクリート打音検査、レール探傷ほか 協力：新幹線 浜松保線所・浜松レールセンター 静岡新幹線構造物検査センター
3月27日		その他	館内	【鉄道Week】新幹線のおしごと	43	腰道具・ヘルメット着用体験ほか 協力：新幹線 浜松電気技術センター
3月28日		その他	館内	【鉄道Week】新幹線のおしごと	40	超音波を使ったレールの検査体験 協力：東海道線 保線チーム
3月29日		その他	館内	【鉄道Week】新幹線のおしごと	40	踏切や信号機の安全の仕組みをまなぼう！ 協力：東海道線 信号通信チーム
3月30日		その他	館内	【鉄道Week】新幹線のおしごと	49	線路と道路を両方走れる、はたらく車に乗ってみよう！ 協力：東海道線 電力チーム
3月31日		その他	館内	【鉄道Week】新幹線のおしごと	70	電車の運転士さんや車掌さんの1日を体験してみよう！ 協力：東海道線
その他イベント 小計			外部		688	
その他イベント（館内・野外・外部） 計					12,199	

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
4月1日～5月14日	教育機関連携	巡回展	—	2021年に開催した夏の企画展「身近で気になる昆虫展」の巡回展を北杜市オオムラサキセンターで実施。主催：北杜市オオムラサキセンター
6月28日	教育機関連携	出張プログラム	35	葵が丘小学校にて、発達支援学級1～6年生を対象としたシャボン玉のサイエンスショーを実施した。
7月4日	教育機関連携	出張プログラム	65	浜松市立西小学校にて、液体窒素の実験ショーを行った。
7月11日	教育機関連携	出張プログラム	28	浜松市立泉小学校にて、シャボン玉のショーを行った。
7月28日	教育機関連携	磐周教育研修会	18	磐周教育研究所にて、磐田市周辺の小学校教員を対象とした研修を行った。磁石をテーマに取り上げ、伝え方やワークショップなどを行った。
8月1日	教育機関連携	浜松市教育研究会理科部会研修会	74	浜松市内、小中理科教員を対象に、3種類（ガウス加速器、偏光カード、バランス人形）のワークショップの実技研修を行った。
8月4日	教育機関連携	中堅教諭等資質向上研修	1	科学館の業務（ワークショップの対応、展示室業務など）を中心に研修を行った。
8月26日	教育機関連携	浜松市立江西中学校 総合学習 インタビュー	1	浜松市立江西中学校の生徒が来館し、エネルギーについての質問に対応した。
9月5日～17日	教育機関連携	博物館実習	7	博物館実習の受け入れを行い、学芸員としての必要な知識、技術研修を行った。最終日には生活において身近な科学現象をハズオン形式で楽しめる企画展「かくれた科学をみつけよう！」を企画し、実習生が中心となって、出口ゲート付近で実施した。
9月9日～21日	教育機関連携	理科自由研究作品展	3,197	市内小中学校の理科の自由研究で優秀な作品を展示した。自由に研究ラボや、自由研究の質問をとおして科学館と関わりのある子供たちの作品も多数展示された。 共催：浜松市教育研究会理科研究部
9月	教育機関連携	職場体験	4	プラネタリウムやサイエンスショー、ミニワークなど浜松科学館が展開している事業企画や、維持管理業務の体験の場を提供した。 浜松市立曳馬中学校9/14,15（4人）
10月	教育機関連携	職場体験	27	サイエンスショー、ミニワークショップ、プラネタリウムなどの事業企画の体験に加えて、イベントの準備など館の裏方的な業務を体験した。 浜松市立八幡中学校10/3,4（10人）、浜松市立東陽中学校10/11（3人）、浜松市立中部中学校10/18,19（2人）、浜松市立天竜中学校10/19,20（6人）、浜松市立雄踏中学校10/26,27（6人）
10月7日～29日	教育機関連携	秋の企画展「科学の学園祭」	1,575	自由に研究ラボのパネル展示や、地元の高校、大学、専門学校、学習センター、科学館ボランティアなど計9団体によるパネル展示、体験ブースを実施した。これらを通して、来館者や運営者、運営者間の交流の場が生まれた。
10月24日	教育機関連携	出張プログラム	62	教室での座学と、野外観察会を校内で実施。昆虫とダンゴムシを採集し、体の造りの違いを学んだ。浜松市立西小学校3年生
10月26日	教育機関連携	浜松市教員初任者研修	38	ストーリーブックを基本とした展示解説に加え、学校での利用方法、授業との連携などについて紹介した。
10月31日	教育機関連携	出張プログラム	35	液体窒素をテーマにしたサイエンスショーを実施した。葵西小学校4～6年生
11月	教育機関連携	職場体験	29	サイエンスショー、ミニワークショップ、プラネタリウムなどの事業企画の体験に加えて、イベントの準備など館の裏方的な業務を体験した。 浜松市立積志中学校11/1（11人）、浜松市立富塚中学校11/9,10（5人）、浜松市立湖東中学校11/9,10（3人）、浜松市立舞阪中学校11/16,17（5人）、浜松市立南部中学校11/21（5人）
11月2日	教育機関連携	出張プログラム	28	科学クラブを対象に磁石をテーマにしたサイエンスショーを実施した。 浜松市立北浜北小学校4年～6年
11月15日	教育機関連携	特別講義	7	波をテーマとして、電磁波、マイクロ波、音波について講義と実験を行った。 静岡県立新居高等学校
12月5日、6日	教育機関連携	職場体験	8	サイエンスショー、ミニワークショップ、プラネタリウムなどの事業企画の体験に加えて、イベントの準備など館の裏方的な業務を体験した。 浜松市立蛸塚中学校12/5,6（8人）
12月16日	教育機関連携	文教大学イベント	52	文教大学情報学部的大学生による卒業制作。参加児童が親しみやすい謎解きを介して「海洋プラスチックゴミ」について学ぶイベントを実施した。

開催日	種 別	名 称	参加人数	内 容
12月22日	教育機関連携	出張プログラム	200	「飛ぶ」をテーマに、飛ぶものの科学原理を解説した。(浜松市立萩丘小学校)
1月26日	教育機関連携	出張プログラム	17	液体窒素の実験を解説した。 浜松市立東小学校 サイエンスクラブ
2月23日～25日	教育機関連携	インタラクティブデザインにふれてみよう	968	静岡文化芸術大学の学生が制作したオリジナルゲームやコンテンツ等を体験しながら、デジタル技術を応用したインタラクティブデザインに触れる機会を創出した。: 静岡文化芸術大学 的場研究室
教育機関連携事業 計			6,476	

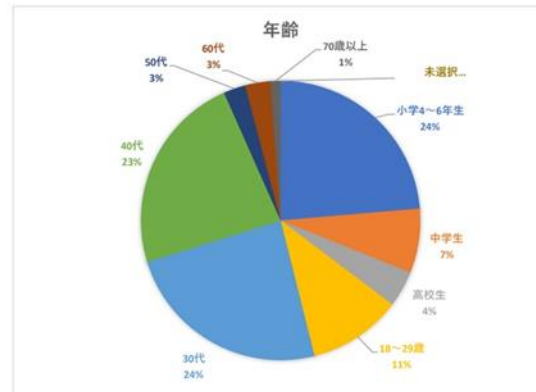
イベント種別	人 数
サイエンスラボイベント	240人
サイエンスショーイベント	100人
その他イベント（館内）	10,759人
その他イベント（野外）	752人
その他イベント（外部）	688人
教育機関連携事業	6,476人
合 計	19,015人

3. 利用者アンケート集計結果

(実施期間：2023年4月1日～2024年3月31日 回答数：859件)

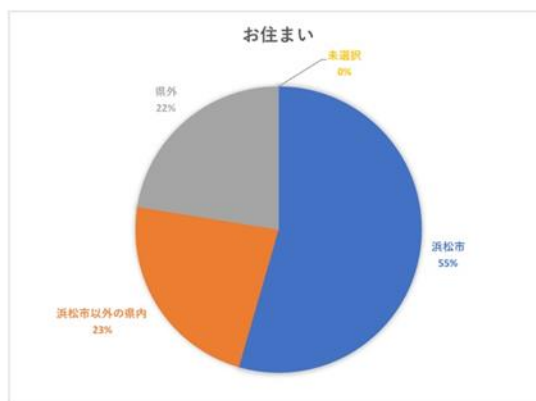
年齢	人数
小学4～6年生	203
中学生	64
高校生	36
18～29歳	93
30代	207
40代	199
50代	22
60代	25
70歳以上	10
未選択	0

859



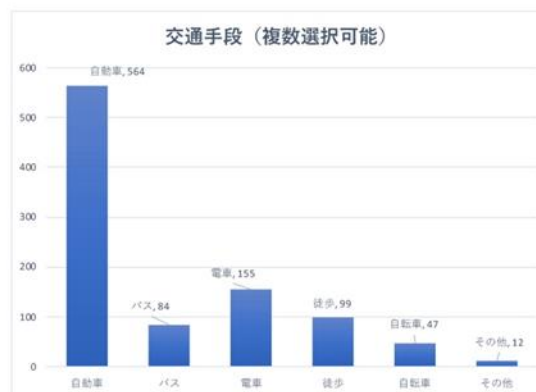
お住まい	人数
浜松市	468
浜松市以外の県内	198
県外	193
未選択	0

859



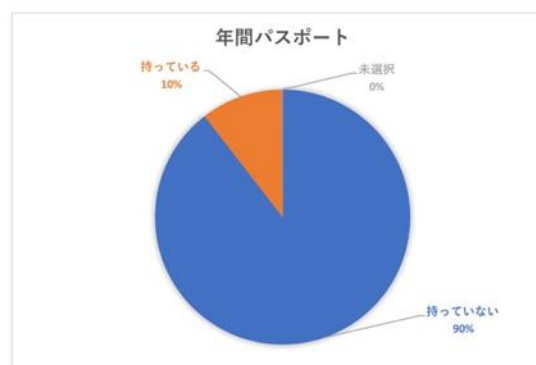
交通手段	人数
自動車	564
バス	84
電車	155
徒歩	99
自転車	47
その他	12

961



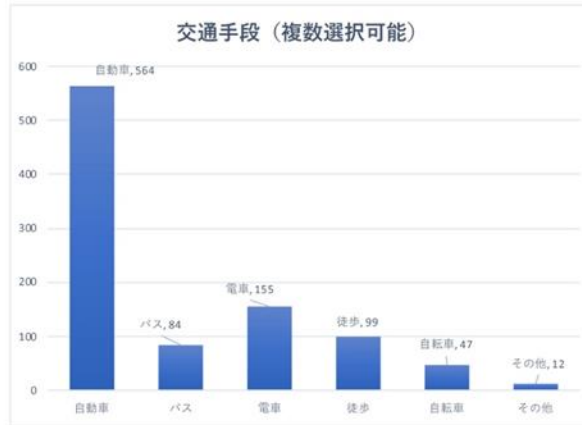
年間バスポート	人数
持っていない	769
持っている	89
未選択	1

859



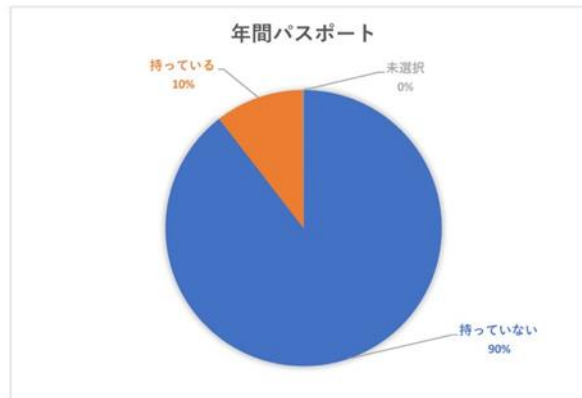
交通手段	人数
自動車	564
バス	84
電車	155
徒歩	99
自転車	47
その他	12

961



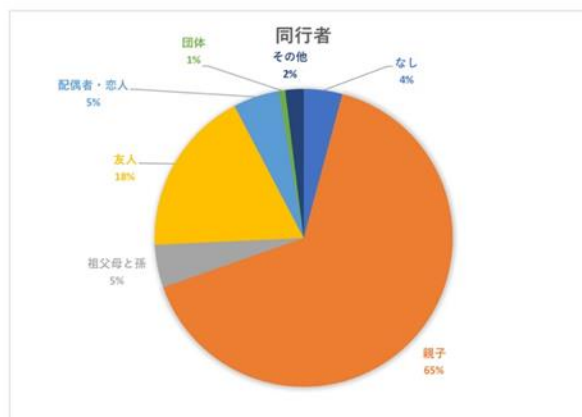
年間パスポート	人数
持っていない	769
持っている	89
未選択	1

859



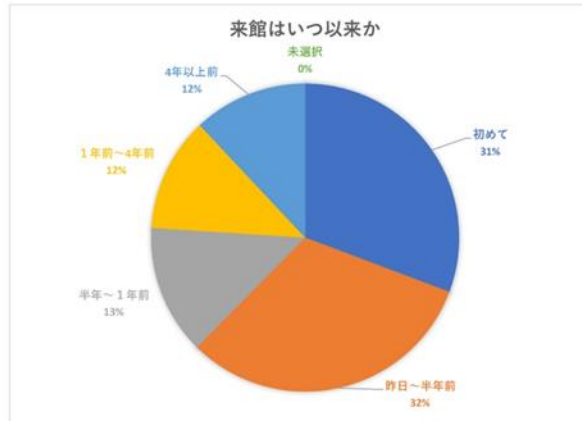
同行者	人数
なし	36
親子	562
祖父母と孫	40
友人	155
配偶者・恋人	43
団体	6
その他	17

859



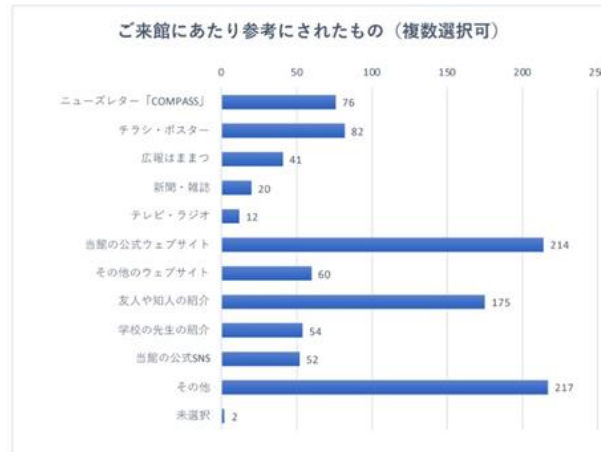
来館されたのは、いつ以来ですか？	人数
初めて	264
昨日～半年前	272
半年～1年前	117
1年前～4年前	103
4年以上前	103
未選択	0

859



ご来館に当たり参考にされたもの（複数可）	人数
ニュースレター「COMPASS」	76
チラシ・ポスター	82
広報はままつ	41
新聞・雑誌	20
テレビ・ラジオ	12
当館の公式ウェブサイト	214
その他のウェブサイト	60
友人や知人の紹介	175
学校の先生の紹介	54
当館の公式SNS	52
その他	217
未選択	2

1005



参考	初めて	昨日～半年前	半年～1年前	1年～4年前	4年以上前
ニュースレター「COMPASS」	5	46	14	8	11
チラシ・ポスター	17	28	31	11	6
広報はままつ	7	21	10	8	3
新聞・雑誌	5	6	6	3	3
テレビ・ラジオ	3	4	5	3	0
当館の公式ウェブサイト	74	71	40	17	29
その他のウェブサイト	31	9	13	9	7
友人や知人の紹介	66	36	45	21	28
学校の先生の紹介	11	16	18	9	9
当館の公式SNS	18	16	12	4	6
その他	49	42	30	12	21

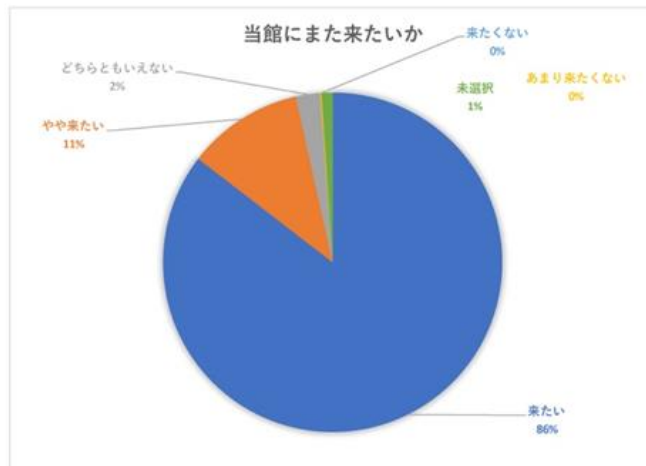
本日最も印象に残ったできごとや体験、展示、プラネタリウム番組（集計）
プラネタリウム（66） ・生解説プラネタリウム（16）
大型映像（31） ・海竜王 モササウルス（22） ・銀河鉄道の夜（5）
サイエンスショー（32）
ミニワークショップ（16） …ガウス加速機、スライム、ずっと見てくる自画像を作ろう、 暗闇で光るお絵描きゴマ、ビー玉万華鏡、 カッティングマシンオリジナルステッカーを作ろう
常設展（130） 自然ゾーン(9) …でんけんラボ、アクティブ・リサーチ・デスク 音ゾーン（30） …アクティブ・サウンド・ライブ、効果音をつくろう、ピアノアクション カゾーン（44） …アクティブ・パワー・コースター、クルマの基本と応用、バイクの基本、 パワーアシストつなひき 光ゾーン（20） …色当てチャレンジ、カラーミキサー 宇宙ゾーン（22） …ロケットをとばそう、アクティブ・スペース・ミッション 新技術コーナー（2） …宇宙エレベーター
さがしてためしてみらいーら（7）
特別展・企画展（25） ・春の特別展「ビーコロ展2 in 浜松」（19） ・夏の特別展「これって光？キラッとライトな10の実験」（2） ・秋の企画展「科学の学園祭」（1） ・冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり」（2） ・春の特別展「浜松ミクロ散歩」（1）
イベント(17) ・みらいーらブックセレクション（1） ・プラネタリウム100周年記念パネル展（2） ・JR東海が初登場！鉄道のおしごと大発見Week（2） ・昔あそび広場（3） ・MENKA Fair（3）
科学学習情報システム（1）
カフェ・ミュージアムショップ（3）

コメント (抜粋)
ビーコロ展がとても楽しんで手づくりで作られていることを知ってびっくりした。
プラネタリウムが小話も含まれており飽きずにとっても楽しい思いをさせていただきました。
数年ぶりに来館して、懐かしいものや初めて見るものも多くあり、どれも楽しめました
体験学習できることは子供も楽しいですし、大学生の私でも楽しむことができました。
こどもの頃に社会科見学で別の科学館に行きましたが、その時よりも技術はこれほど進化しているのかと、全てに驚きました。
音ゾーンが楽しかったです。 楽器博物館とのコラボレーションがあれば楽しいかも
何回も来ているけど、今日初めて見た、小惑星のプラネタリウムがたのしかったです！
特に本の受け取りの参加賞をもらえたことがうれしかったです。 ここで消しゴムをかったのですが太陽に当てると色が変わったということにびっくりしました。とても楽しかったです。また来たいです。(*^▽^*)
25年ぶりに来ました。とても楽しかったです。年パス買って帰ります
カフェの回転が悪く、コーヒーの出来具合もまばらだった。べつのテナントを入れた方がいい。(2023年7月)
シャボン玉がのサイエンスショーがおもしろかった。
プラネタリム100年展示が良かったです。プラネタリムは、いつも楽しみにしています。解説が分かりやすく面白かったです。
キッズプラネタリウムとクイズのプラネタリウムがとても面白く良かったです。 子供の夏休みの自由研究の材料になりました。
大型映像がとても迫力があって楽しかった。久しぶりにきたけれどさらに科学について興味を持つことができ良かった。また来たいと思う。
サーモグラフィで口の中の温度を下げてみようかなって思ったときに飲み物を飲んだら温度が下がったので面白かった。
1階の自然の展示コーナー。タマムシの羽が輝く仕組みとその利用。
展示の扱い方が違う子供がいて、こわかった
銀河鉄道の夜は、以前も他で見ましたが、きれいで楽しかったです。
電子顕微鏡ラボに入らせて頂いた事です。ナノスーツで創られた試料を色々みせていただいて、学習になりました。ありがとうございます。
2階の宇宙コーナーの、プラネタリウムの解説が面白かったです。プラネタリウムの仕組みに興味があったので、詳しく解説されているのを見てとても勉強になりました。プラネタリウムをまた見たくなりました。
体験型の展示が多くて面白かったです
物作りがみんなと対戦できて楽しかったです！

コメント (抜粋)
音のコーナーのバンド演奏が楽しかった。
ワークショップに熱中していました。
すごろくなど昔の遊びができるのを毎年楽しみにしています。
光の屈折の展示、音のゾーンの展示などで学べて復習出来て良かったです。 ありがとうございました。
ゆめたまごをやった。音のコーナーがおもしろかった。
プラネタリウムは每回来ても、いつも子供(6歳)喜ぶので、これからも充実の内容をお願いしたいたいです。
ボールを入れてぐるぐる回し、ボールが転がって行くのを5歳の息子がたのしそうにしてました。とんでタンバリンからゴールにはいるのは特にお気に入りです
偉人のパネル 各個人の説明が簡潔かつ丁寧で良かった。
入口に昔いたロボットがいなくなつててちょっと寂しかった
宇宙エレベータの模擬機が興味深かった。このような試作品の創意工夫を発見するのが楽しい。
足ふみのピアノの曲が変わっていてあきずにとりくめた。
すごろくなど昔の遊びができるのを毎年楽しみにしています。
学校の授業でやった内容や遊びながら学べるスペースがあったのしかったです

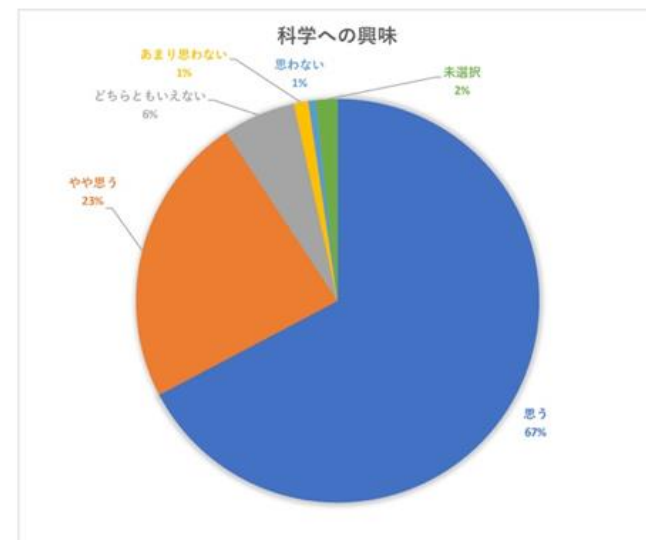
当館にまた来たいと思いますか？	人数
来たい	734
やや来たい	95
どちらともいえない	20
あまり来たくない	1
来たくない	0
未選択	9

859



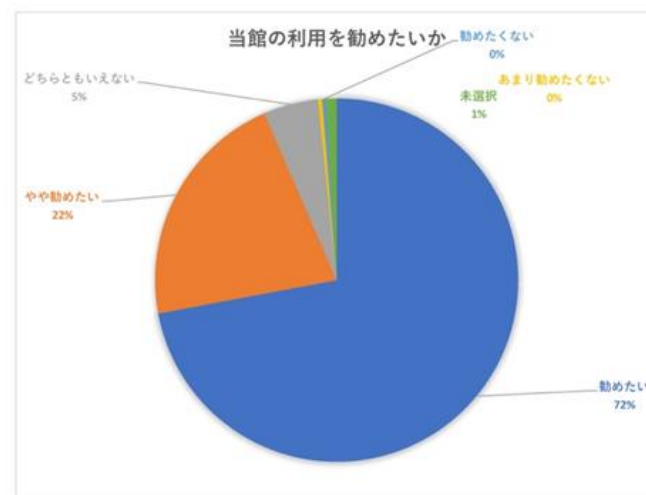
当館の利用を通して、科学についてもっと知ったり、講座やイベントに参加したりしてみたいと思いませんか？	人数
思う	578
やや思う	201
どちらともいえない	50
あまり思わない	10
思わない	5
未選択	15

859



当館の利用を誰かに勧めたいと思いますか？	人数
勧めたい	619
やや勧めたい	184
どちらともいえない	42
あまり勧めたくない	3
勧めたくない	3
未選択	8

859

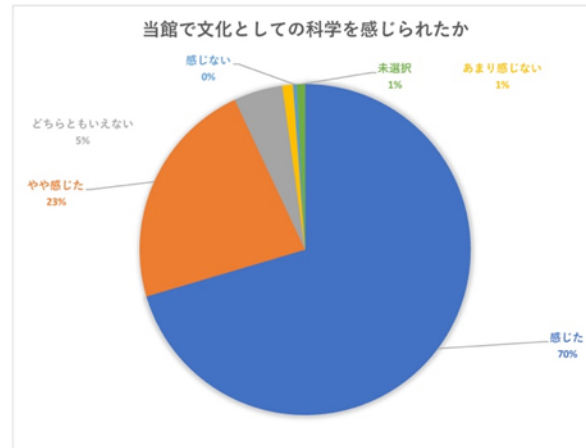


推奨理由集計	
対象	39
子どもに勧められる	21
子供連れに勧められる	4
親子で楽しめる	3
家族に勧められる	1
友人に勧められる	2
来たことのない人に勧められる	1
幅広い年齢が楽しめる	7
感情	40
楽しい	28
面白い	10
気軽	2
学び	37
学びがある	16
楽しく学べる	11
勉強になる	7
科学以外の学びがある	1
地域について知れる	2
科学への興味・関心	11
科学に興味を持てる	5
科学が好きになる	1
好奇心がもてる	1
身近にある科学	1
幅広い（科学の）ジャンル	1
科学の楽しさを感じる	2
常設展・プラネタリウム	51
常設展	5
プラネタリウム	15
展示の内容	2
体験型の展示	12
特定の展示	8
企業連携	1
展示の豊富さ	7
実験ができる	1
職員	5
職員の解説、生解説	3
職員の対応	1
職員に親しめる	1
プログラム	11
サイエンスショー	2
イベント	3
コンテンツの豊富さ	2
夜の科学館	1
ワークショップ	3
設備・料金	10
設備	2
料金	4
アクセス	1
屋内	3
その他	12
見どころの多さ	1
全部	3
独自性がある	2
リピート性がある	3
遊べる	2
オリジナルキャラクター	1

よろしければその理由またはどんな所を勧めたいかをご記入ください（抜粋）
動めている。プラネタリウム、夜の科学館など企画が楽しみ。
頼りになる職員さんが相談に乗ってくれる
科学について楽しみながら学べるから
小さい子でも科学に興味をもたせつつ楽しめる。
展示も時々変わり、何回来ても楽しいこと。
身近な物を使った科学実験が体験できるから
身近にある科学を体験しながら学べるから。親子で勉強ができて良いと思います
プラネタリウムのナレーションが素敵だった
子供が長時間楽しめた
楽しかったから。光ゾーンをオススメしたい。
コスパがいいから
プラネタリウムや体験できる展示を誰かと体験したいです
スタッフさんを身近に感じられる。
色々なイベントがあって、いつ来ても飽きない
科学以外にも勉強できる点がたくさんありとてもためになったから
展示の内容が具体的な所です。
色んな企業とも密接に関わっている。
季節ごとにプラネタリウムのプログラムが変わり、楽しめる
科学のことが勉強になるから
駅から近く、子供連れでも楽しめるので
体験型の展示が多くある点
室内で学びながら楽しめる
常設展が充実している
子供が興味を持てることがたくさんある
子供も大人も楽しめる
科学や理科に気軽に興味を持てる場所。
リニューアルしたのは知っていたけど、こんなに面白くなっているとは思ってなかったです。
他の科学館と違うところを教えたい
子供無料。雨でも楽しめるし、勉強になる。
夏は涼しくて良いですし、楽しく科学が学べて良い！
コンパクトだけれども内容が充実していて、企業ブースなども面白いです。
面白い設備はたくさんあるところ。
プラネタリウムがきれいなので勧めたい
子供の興味を広げられそう
いつもくるに行くけれど、また違って高学年でも楽しめたり、浜松らしいところもあり良かった
身の回りへの好奇心が増す
小学生は充分に楽しめるかなと感じたので
理科の勉強になるから。いろんな人にこのしぜつを知ってほしいから。
コロナ開けて階段上がる遊具復活して、サイエンスショー等めった違ったことが楽しめて子供連れの目が輝いていたので。
中学生までが無料なのがいい
子供が夢中になっている姿を見て、今度子供を連れてきたいと思いました。
駐車場がない
体験できる展示が多いため
子供のいる家族が楽しめると思ったので、すすめたい
こどもが出来たら、ぜひこどもに紹介して、親子で楽しみたいです。
このみあり

※灰色の背景は「どちらとも言えない」の回答

本日の利用で、「科学が文化の一環である」と感じられましたか？	人数
感じた	605
やや感じた	194
どちらともいえない	41
あまり感じない	9
感じない	3
未選択	7
	859



当館へのご意見やご要望がありましたら教えてください (抜粋)
全体について
息子が小さな頃から何度も来館していますが、成長するにつれて理解も深まる様子を見て嬉しいです
施設も利用しやすく綺麗で楽しかったですありがとうございました
保育園で初めて来てから早30年経ちました。毎回新しい発見があり楽しいです。これからも応援しています。
科学は難しいイメージがあるが、生活の一部に様々な技術として取り入れられていることを肌で感じられ、いつも楽しませてもらっています。
以前より奥深く、大人も楽しめる、一日楽しめる休憩もできるまた来たい
私も子供の頃遊びに来ていました。親になって子供と来てとても嬉しいです。ありがとうございました。
施設も利用しやすく綺麗で楽しかったですありがとうございました
年少から年長さんぐらいの子も楽しめる場があるとより利用しやすいと感じました。
設備・料金について
母子で来館したときに男の子のトイレに入りづらいのでどうにかならないか
チケットの価格はちょっと高いと思います
場所が分かりにくい、飲食可のスペースをしっかり設けてほしい
駐車場が近くにほしい
職員について
クイズラリーの際、係員さんがとても親切でした。ありがとうございました
楽しかったです！スタッフさんにお尋ねした際も丁寧に教えていただいて助かりました(*´?*)科学館…あなどれませんね。
スタッフさんが科学について楽しく教えてくださいました。ありがとうございます！
顕微鏡の女性のスタッフさんが親切でありがたかった。
楽しく過ごせました！！スタッフの方の気遣いが素晴らしかったです
スタッフの方が、こどもの展示鑑賞をサポートしてくれた
てんちゃんいつもたのしいことをおしえてくれてありがとう。スーパーボールロケットがたのしかったよ！ロケットをクリップでとばすのもたのしかったよ。
やり方を教えてくれると嬉しいです
うえちゃんと話せること。いつもスタッフさんが話しかけてくれて、とても楽しみにしています。

当館へのご意見やご要望がありましたら教えてください（抜粋）
みんなやさしく見守ってれてありがとうございます。
常設展について
光の展示の光を使った測定器の紹介動画が意味不明だった。
調整中のものが多々あったのが残念です。
企業ブースが充実していて、名だたる創業者の紹介も勉強になりました。
周りのうるささによつてボリュームを調節してほしい
ボールがなくなっていたりうちわがやぶれていたりした。施設の確認をしてほしい。
ピアノの曲は前回の「線路はつづくよどこまでも」などまたやってみたい。
ジムニーなどのシミュレーションの列が長く、待ち時間が長いこと。
音のところの3つの音を奏でるセクションは波の音が小さすぎて録音されない。変えてほしい。
サイエンスショー・ミニワークショップについて
子供はいつも制作を楽しみにしてます。実験は見飽きてしまったようです。。。
いつも楽しいワークショップをありがとうございます！
シャボン玉ショーがすごかったです。プラネタリウムの説明がとても上手で分かりやすい
プラネタリウムについて
子供が連れでなくても楽しめた。気軽に見れるプラネタリウムがあれば嬉しいです。楽しみ方が分からないものもあったので、説明などがあつたら嬉しかったです
プラネタリウムのが始まる前にアナウンスをある程度の音量で館内放送してほしい
6年ぶりぐらいに銀河鉄道の夜のプログラムを見ました。名作ですね。でも、やっぱり生解説が好きです。
特別展・企画展について
ロケットを飛ばして、楽しかったけど、本番であまり飛ばせず悔しかった。
またリベンジに来ます。
ビーコロ展やってほしいです。
イベントについて
宇宙のイベントをやってほしい。
イベント企画楽しみにしています
その他
浜松の人しか利用できないものなどあったので、ひろくつかえるようにしてほしい
毎月発行してる浜松天文台・浜松科学館の星空案内表紙を県内の中部、東部、伊豆地方の図書館、美術館、博物館の各市町に置いて欲しい。
昔のプラネタリウムの映像（ブラックホールからの贈り物）が思い出ぶかく、弟と話題に出るので、また一緒に観たいです。もし残ってたら公開してほしい。

当館へのご意見やご要望を踏まえた主な対応事例

- ・今年度も引き続き、大人向けの企画として、毎月第2金曜日に高校生以上限定の「夜の科学館」を開催しました。毎回テーマを設定して、大人が楽しめる時間を創出しました。また、プラネタリウムを観覧する方に整理券を配布し、時間を気にせず、館内をゆっくり楽しんでいただけるようにしました。
- ・ミュージアムショップの商品についてのご意見を受け、小さなお子様がいり物体験できるような手に取りやすい価格の品や、他県のお客様がお土産として購入できる浜松産のグッズなどをそろえました。科学館での体験や思い出を持ち帰っていただけるようなショップづくりに努めました。

4. 浜松科学館と大学・企業等との事業連携アンケート調査(評価)結果

(1) 目的

浜松科学館が施設の使命・目的に基づいて、適正に管理運営しているかを検証し自己評価するためにセルフモニタリングを実施しています。その一環として、協働パートナーがどのような価値を見出すかを、質問票により記述していただき(定性的な評価)、より望ましい事業連携を進めるうえでの参考にします。

(2) 実施先リスト

事業・催事名	実施期間	連携先(実施先)
やらまいかテクノロジーコーナーでの 企業・技術紹介	8月1日～10月31日 10月20日～ 2024年4月7日	浜松スマート農業推進協議会 天龍製鋸株式会社
サイエンスカフェ	6月10日、7月8日 11月18日	国立大学法人 静岡大学グリーン科学技術研 究所 静岡県立農林環境専門職大学
すばっくおやこ小学校 in 浜松	7月1日・2日、8日・9日	公益財団法人 静岡県舞台芸術センター
プラネタリウム番組制作協力及び 観覧割引券の配布	7月8日～9月18日	浜松市天文台
浜松まちなか大合戦<夏の陣>	7月20日～8月31日	浜松まちなかにぎわい協議会、浜松こども館、新 川モール（HACK）
夏休みエネルギー体験ツアー	8月9日	浜松市カーボンニュートラル推進事業本部
磐田サイエンスカレッジ 2023	9月30日	ワークピア磐田
科学の学園祭 2022	10月7日～10月29日 同上 10月14日 10月28日・29日	浜松西高等学校 自然科学部 浜松未来総合専門学校グラフィックデザイン科 磐田東高等学校 自然科学研究部 聖隷クリストファー中・高等学校 科学部
水道文化財デジタルツアー	11月18日・19日	浜松市上下水道部上下水道総務課
ボートふしぎ発見教室	1月28日	ヤマハ発動機株式会社
オリジナルコースターを織ろう	2月10日～12日	スズキ歴史館
農業と科学のおもしろ発見フェス	2月12日	New 浜名湖アグリフォーラム実行委員会 静岡県西部農林事務所

(3) 調査項目

- ア. 浜松科学館と連携したことでどのような価値が得られたか
- イ. 浜松科学館と連携した感想
- ウ. 事業を実施する中での改善すべき点や課題
- エ. 今後浜松科学館と連携してできること(アイデア)

(4) 評価結果要約

連携先	主な意見
浜松スマート農業推進協議会	<u>内容：やらまいかワゴン展示「スマート農業」</u> 昨年度に引き続き、将来の農業の担い手になりうる子どもたちに農業に関心を持ってもらえるようにヤマハ発動機株式会社の農薬散布用のドローンと、野菜の水耕栽培を展示した。科学館職員が企画段階から相談に乗ってくれるため、こちらが来館者に伝えたいことを最大限に引き出した展示が出来た。スマート農業と科学の相性が良いと感じるので、今後も科学館を交えた展開ができることを期待している。
天龍製鋸株式会社	<u>内容：やらまいかワゴン展示「のこぎりの種類と切断のしくみ」</u> ワゴン展示は初めての試みで、のこぎりを触らせてはいけなく、実機での切断を見せることができないなど、事業者向けの展示会にはない制限も多く展示は難しいものだったが大変勉強になった。分かりやすい動画を制作し、ケースの中にのこぎりの刃を展示するなど工夫した。当社の社員も見学し、家族が関心を持っていたという感想も聞いた。また展示等の機会があれば声をかけて欲しい。
国立大学法人静岡大学 グリーン科学技術研究所	<u>内容：グリーンサイエンスカフェ</u> 科学館での広報協力により、参加者数が増加し、科学に関心を持つ人たちが参加してくれた。今後は中高生の参加を増やしていくために、より魅力的なプログラムを検討していきたい。高度な内容を分かりやすく伝えることが大学のアウトリーチ活動として適している。今後は、サイエンスカフェに限らず展示やイベント等も連携してできることを期待したい。
静岡県立農林環境専門職大学	<u>内容：アグリフォーレサイエンスカフェ</u> 昨年度は磐田市内だけで開催したサイエンスカフェを、科学館の協力により初めて浜松市内で開催できた。広報や事前準備、当日の運営なども協力していただき、会場の設備も整っており、非常にスムーズに実施できた。今後も引き続き連携して実施したい。
公益財団法人静岡県舞台芸術センター	<u>内容：すぱっくおやこ小学校 in 浜松</u> 昨年度から県内 3 会場で実施している親子向けの授業。科学館と連携することで、「科学×アート」という組み合わせで授業をアレンジすることができた。授業を担当した SPAC の俳優や音楽家も科学館職員(上野 CE)とコラボレーションしたことで多くの刺激を得た。

連携先	主な意見
浜松市天文台	内容：プラネタリウム番組「クイズで天体観測」制作協力及び観覧割引券の配布 科学館と天文台を行き来する客が見られ、天文に関係する2つの施設を有効に利用してもらえた。連携が増えることで、職員も知識や経験を高めていこうという意欲につながった。天文台ボランティアにも大変好評で、今後も連携を望む声が多い。
浜松まちなかにぎわい協議会	内容：浜松まちなか大合戦 <夏の陣> 「ソラモの戦い」では科学館ならではのサイエンスショーやワークショップを通してイベント全体の盛り上げや満足度向上につなげてもらった。スタンプラリーも科学館を起点として参加している人が多くみられ、子どもたちに中心市街地を回遊してもらう機会を創出できた。
浜松こども館	内容：浜松まちなか大合戦 <夏の陣> 市内の施設が連携し、施設を回遊してもらうことで「市街地の活性化」に寄与できたと思う。イベントの企画・運営を通して担当者同士が親しくなることで、イベント以外のことも気軽に意見交換ができるようになった。今後も5施設の回遊策を継続していきたい。
新川モール（HACK）	内容：浜松まちなか大合戦 <夏の陣> 科学館と連携したイベントを実施し、大勢の子どもたちが新川モールに足を運んでくれた。新川モールの場所の周知が足りない中で、スタンプラリーで訪れてもらうことも多くの方に知ってもらうきっかけになった。今後も連携してまちなかの魅力を一緒に伝えていきたい。
浜松市カーボンニュートラル推進事業本部	内容：浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク 夏休みエネルギー体験ツアー 科学館内の展示を参考に「エネルギーを発見する」というミッション遂行の形式で考察するという内容は、子どもたちにも大好評で、講座を受ける以上のアイデアを広げることができた。サイエンスラボも講座に最適で、科学館と連携することで、充実した事業内容になった。
ワークピア磐田	内容：磐田サイエンスカレッジ 2023 講座「うえちゃんのおもしろ水かがく」 未来のエンジニアを育てる目的で、昨年度に引き続き開催。浜松科学館の知名度で集客に多大な効果があった。小学校低学年の参加者が多かったが、講師の上野 CE が分かりやすく楽しく「水」に関する実験や解説を実施し、参加者の満足度が高かった。
浜松西高等学校 自然科学部	内容：科学の学園祭 2023 パネル展示「①枯草菌が産生する抗生物質について ②西山台の地形と植生について」 ポスター・模型の展示で来館者とのコミュニケーションが直接取れなかったのが残念だが、研究活動の一環を多くの人に知ってもらえ有意義であった。今回のような企画を通じて、さらに幅広い属性の方々に見学してもらえると良いと思う。
浜松未来総合専門学校 グラフィックデザイン科	内容：科学の学園祭 2023 パネル展示「浜松科学館の大人に向けた常設展のPR」 科学館から課題テーマをいただき取り組むことができた。科学館のデザインへの意識とクオリティの高さは学生たちに良い勉強になった。サイエンスをテーマに参加している学校が多い「科学の学園祭」の中で異色な展示となったが、グラフィックデザインの面白さが少しでも伝われば良いと思う。

連携先	主な意見
磐田東高等学校 自然科学研究部	<u>内容：科学の学園祭 2023 実験「今日から君もサイエンティスト」</u> 多くの人と関わることで、生徒のコミュニケーション能力が高まった。実験などの研究が深まり、部活動に対する生徒の意識が高まった。科学館のサイエンスラボは実験を行いやすい環境で、普段とは違う雰囲気で行うことができた。顕微鏡もお借りすることができ、実験に深みを増すことができた。
聖隷クリストファー中・ 高等学校 科学部	<u>内容：科学の学園祭 2023 実験「おどろき・ひらめき ガラス玉のふしぎ」</u> 生徒にとっては、外部の人に対して実験の方法や仕組みを説明し、参加者に感謝してもらえするという、貴重な経験を得られた。生徒が「伝える力」を付けることができた。来館者は、子どもも大人も科学や不思議に対して興味が高い人が多く、楽しく取り組むことができた。
浜松市上下水道部 上下水道総務課	<u>内容：浜松市水道文化財デジタルツアーin 浜松科学館</u> 初めての事業で知名度も集客力もない中で、2日間で524人もの来場者があり、科学館と連携することで集客につながり、水道文化財を知ってもらうことができた。科学館職員との打合せや館内の展示の見学などを通して、イベントの運営について学ぶことができた。今後は「夜の科学館」などで連携できると良いと思う。
ヤマハ発動機株式会 社	<u>内容：ボートふしぎ発見教室</u> 地域・学校を超える対象者と接触することができた。弊社のイベントに興味のある子どもたちが参加し、今までにない質問や工夫がみられ、社員も多くの驚きがあった。今後も、館内の展示(パワーアシストつなひき、舟を動かそう)と関係性のあるイベントを推進できると良いと思う。
スズキ歴史館	<u>内容：ミニ織機でオリジナルのコースターを織ろう</u> 科学館と連携し、共に浜松のものづくりを伝えるという共通のベクトルをより多くの方々に伝えるきっかけを得ることができた。今後も同じ目的の達成のために協力していくノウハウを得ることができた。今後は、歴史館でサイエンスショーを行ってもらうとか、科学館に展示品を置いてもらうなど、より緊密に連携することが望ましいと感じた。
New 浜名湖アグリフ ォーラム実行委員会 (有限会社村松商 店、京丸園株式会 社、うなぎいも協同 組合、高山ローズ、 若松園、日下農園、 アールファーム、かしま ハーベスト、静岡県 西部農林事務所 (事務局))	<u>内容：農業と科学のおもしろ発見フェス</u> 農業者向けに行うこれまでのアグリフォーラムと異なり、子どもや若い親世代にアピールすることができたと思う。地元の農業と生産者の活動を認知してもらえた。農業では栽培や製造する過程で様々な化学反応が起こる。農家にとっては普通のことで子どもたちにとっては目新しいこと。それを伝える場所として科学館は最適だった。農業者以外の視点がとても勉強になった。科学館と連携することで、広報も充実し、750人もの集客があった。実行委員会の単独開催ではたくさんの子どもたちを集めるのは難しかったと思う。会場の設備も充実しており科学館職員も親切に対応してくれ、各ブースも充実し、華やかな会場にすることができた。企画段階から科学館職員がいろいろな提案をしてくれ、当日も積極的に協力してくれ運営面でも助かった。今後も農業と科学という分野の研究の場になれば面白いと思う。農業者側がもっとコンセプトを練り上げる必要がある。農業×科学に×食も関連したイベントも面白いと思う。今回のように大勢の人たちに発信する場として科学館と連携するのはとても有意義だと思う。

5. メディア取材等一覧表

掲載(放送)日	メディア名	詳細	取材内容
4月 24日	静岡第一テレビ	まるごと「突撃インディアンズ」	常設展、プラネタリウム、ミニワーク（風）
4月 1日	浜松百撰	4月号	連載「科学で見つめる空」（第4回）
4月	中日新聞	遠州歴史のとびら	観天望気について
4月 21日	eらっこ	5月号	キッズプラネタリウム、キッズサイエンスランド
4月 19日	静岡新聞		夜の科学館（4月）
4月 19日	中日新聞		夜の科学館（4月）
4月 16日	こどもかがく新聞		イベント情報
5月 1日	浜松百撰	5月号「街ネタ」	夜の科学館（5月）
5月 1日	浜松百撰	5月号	連載「科学で見つめる空」（第5回）
5月 13日	FM Haro	はままつ案内所	ボランティア募集
5月 5日	天界	5月号	プラネタリウム紹介
5月 11日	静岡新聞		夜の科学館（5月）
5月 13日	中日新聞		夜の科学館（5月）
5月 14日	こどもかがく新聞		イベント情報
5月 14日	YOMOっとしずおか		みらいーら通信（山下さん）
6月 1日	浜松百撰	6月号	連載「科学で見つめる空」（第6回）
6月 1日	テレビ金沢	となりのテレ金ちゃん	note記事「ハレの日」は「晴れの日」に。意外と自由度が高いツクシとタンポポの話。）の引用紹介
6月 10日	Su-ing	6月号	プラネタリウム、常設展
6月 7日	中日新聞		夜の科学館（6月）
6月 18日	こどもかがく新聞		イベント情報
6月 17日	静岡新聞		プラネタリウム100周年記念の県内施設の取り組み
6月 21日	静岡新聞		みらいーらブックセレクション 記念品贈呈式
6月 19日	中日新聞		みらいーらブックセレクション 記念品贈呈式
6月 20日	浜松市子育て情報サイトびっぴ	子連れでおでかけ	みらいーらブックセレクション
7月 1日	浜松百撰	7月号	連載「科学で見つめる空」（第7回）
7月 5日	広報はままつ	特集「自由研究を応援」	みらいーら自由に研究ラボ
7月 8日	旅色		全体
7月 8日	FM Haro	はままつ案内所	生解説プラネタリウム「あなたはわかる？クイズで天体観測」
7月 3日	りぼん	8月号	「レオと三日月」presents 夏休みはプラネタリウムに行こー！
7月 24日	浜松ケーブルテレビ ウィンディ	だもんDE浜松	サイエンスショー
7月 2日	静岡新聞		すばっくおやこ小学校 in浜松（国語＋体育）
7月 13日	中日新聞		すばっくおやこ小学校 in浜松（音楽）
7月	中日新聞		静岡大学グリーンサイエンスカフェ（第2回）
7月 19日	FM-Hi	あさラジオ！@Morning「IRODORI」	館全体、夏の特別展「これって光？キラッとライトな10の実験」
7月 9日	YOMOっとしずおか		みらいーら通信（天井さん）
7月 20日	中日新聞		夏の特別展「これって光？キラッとライトな10の実験」
8月 3日	NHK	たっぶり静岡	みんなの防災
8月 1日	浜松百撰	8月号	連載「科学で見つめる空」（第8回）
8月 1日	浜松百撰		夏の特別展「これって光？キラッとライトな10の実験」
8月 3日	浜松ケーブルテレビ ウィンディ	さんちよく！	夏の特別展「これって光？キラッとライトな10の実験」
8月 5日	中日新聞		生解説プラネタリウム「あなたはわかる？クイズで天体観測」
8月 1日	ENGAWA		ボランティアについて
8月 4日	静岡新聞		夏の特別展「これって光？キラッとライトな10の実験」、プラネタリウム100周年記念パネル展示
8月	中日新聞		化石探し体験！、夜の科学館
9月 9日	FM Haro	はままつ案内所	生解説プラネタリウム「北極星の見つけ方 ポラリス」、特別放映「プラネタリウムをみませんか？」
9月 1日	浜松百撰	9月号	連載「科学で見つめる空」（第9回）
9月 10日	YOMOっとしずおか		みらいーら通信（大堂さん）
9月 30日	Meet Japan Through Hamamatsu	Facility Information	常設展、プラネタリウム
9月 18日	こどもかがく新聞		イベント情報
9月 15日	ぶらネタ		プラネタリウム
10月 1日	浜松百撰	10月号	連載「科学で見つめる空」（第10回）
10月 14日	朝日新聞	おでかけガイド	秋の企画展「科学の学園祭2023」
10月 19日	中日新聞		秋の企画展「科学の学園祭2023」
10月 19日	浜松ケーブルテレビ ウィンディ	さんちよく！	秋の企画展「科学の学園祭2023」
10月 25日	中日新聞		プラネタリウム100周年記念特別放映「プラネタリウムをみませんか？」
11月 1日	浜松百撰	11月号	連載「科学で見つめる空」（第11回）
11月 11日	FM Haro	はままつ案内所	街なか天体観察会
11月 10日	SBSテレビ	LIVEしずおか	夜の科学館、プラネタリウム
11月 12日	YOMOっとしずおか		みらいーら通信（岩本さん）
12月 1日	浜松百撰	12月号	連載「科学で見つめる空」（第12回）
12月 4日	中日新聞		Hamamatsu Micro Maker Faire 2023
12月 17日	こどもかがく新聞		イベント情報
12月 23日	eらっこ	1月号	昔あそび広場
12月 26日	中日新聞		冬の企画展「みんなで熱中！ものづくり2023」

掲載(放送)日	メディア名	詳細	取材内容
1月 1日	読売新聞	新春イベント情報	昔あそび広場
1月 1日	浜松百撰	1月号	連載「科学で見つめる宇宙」(第1回)
1月 7日	静岡新聞		常設展入場者70万人記念セミナー
1月 13日	FM Haro	はままつ案内所	生解説プラネタリウム「宇宙大爆発」
1月 18日	月刊UO	2月号	Hamamatsu Micro Maker Faire 2023
1月 22日	子連れでおでかけ		キッズプラネタリウム
2月 1日	読売新聞	朝刊 イベント欄	夜の科学館(2月)
2月 1日	WOMO	2月のイベント	MENKA Fair2024
2月 1日	東海5県ミュージアムおでかけガイド		MENKA Fair2024
2月 1日	浜松百撰	2月号	連載「科学で見つめる宇宙」(第2回)
2月 10日	静岡新聞		農業と科学のおもしろ発見フェス(予告)
2月 11日	YOMOっとしずおか		みらいーら通信(伊藤さん)
2月 13日	静岡新聞		農業と科学のおもしろ発見フェス
2月 15日	るるぶ特別編集「浜名湖花博2024」		生解説プラネタリウム「花と星めぐり」
2月 15日	浜松ケーブルテレビ	ウェインディ「さんちょく!」	農業と科学のおもしろ発見フェス
3月 2日	静岡新聞		生解説プラネタリウム「花と星めぐり」投映記念セミナー
3月 2日	中日新聞		生解説プラネタリウム「花と星めぐり」投映記念セミナー
3月 8日	子連れでおでかけ		3歳でもたくさん遊べる浜松科学館(常設展)
3月 9日	FM Haro	はままつ案内所	春の特別展「浜松ミクロ散歩」
3月 11日	るるぶ浜松浜名湖三河'25		常設展、プラネタリウム
3月 20日	読売新聞		生解説プラネタリウム「花と星めぐり」
3月 21日	静岡新聞		JR東海が初登場! 鉄道のおしごと大発見Week
3月 23日	中日新聞		JR東海が初登場! 鉄道のおしごと大発見Week
3月 26日	WOMO	イベント	春の特別展「浜松ミクロ散歩」
3月 29日	中日新聞		春の特別展「浜松ミクロ散歩」

IX 指定管理者による自己評価

“浜松科学館は、科学を入り口とした多様な文化交流を通して人々をつなぎ、地域への誇りと愛着をもとに、創造都市を牽引する科学館となることを目指します。さらに、誰もが科学を楽しみ、安心して学ぶことができ、ひとりひとりの好奇心を育む場として地域に開かれた科学館となります。”（浜松科学館第 2 次中期計画の使命）

浜松科学館指定管理者は、上記の使命（ミッション）と下記の 4 つの事業目標に基づいて、各年度の実施計画（事業計画）を作成し、日々の管理運営に取り組んでいます。運営課題の解決や成果の検証は、自己点検として『セルフモニタリング報告書』（月次・四半期）に取りまとめて浜松市所管課へ提出し、設置者と緊密に情報を共有するよう努めています。年度ごとの事業報告書に基づいて、浜松科学館運営委員会による外部評価の場を設け、スタッフの説明に対して委員から様々な指摘や助言を直接いただき、より良い運営を目指してスタッフのエンパワーメントを重視した取り組みとしています。PDCA マネジメントサイクルを明確にすることで、事業の成果を客観的に検証し、公正な評価を行うことで、スタッフの能力やモチベーションを高め、組織全体のパフォーマンスを向上させます。専門性が高い半面、市民へのきめ細かなサービスが求められる職務であるため、マネジメントでは人材資本の観点から、権限の委譲、コミュニケーションの強化、ワークライフバランスの向上等の施策に留意しています。

以下、第 2 次中期計画の 4 つの事業目標に基づくマネジメントの要点と自己評価を記します。

【事業目標 1】 創発的な学びの場を構築

1.1 常設展示室内での体験価値の向上

利用者起点で体験価値を高めることを目指し、感動や長期的記憶に結びつく「学びの楽しさ」や「交流の喜び」を実感できるよう、現場でのプログラムの検証と改善を日々実践しました。体験機会を増やすことで利用者数増進などの定量的な成果を目安としつつ、参加者との一体感やライブ感を高めて、「今、ここでしか体験できない」という体験価値の希少性を追求し、短時間のうちにも凝縮した内容としています。

前年度から継続してプログラムの改良や新規の取り組みを行い、1 回の時間を短縮して実施回数を増やしたり、参加者を少人数に絞ってコンテンツの種類を増やしたりする工夫をしています。サイエンスショーは、前年度に引き続き、約 1,600 回実施し、約 5 万 2 千人が参加していて、5 年間で常設展入場者の 30%が参加するメインプログラムに定着しました（2019 年度：18%）。2 週ごとにテーマが変わるミニワークショップは、有料にも拘らず常設展入場者の 5%が参加しています。また、アクティブ展示解説、「さがしてためしてみらいーら」等、常時体験できるプログラムのバリエーションを増やし、繰り返し利用者（リピーター）が飽きずに楽しめる工夫を凝らしています。

春・夏の特別展で年間集客のピークを高めるだけでなく、秋・冬の企画展を実施することで、多極分散的な利用者の底上げを図る戦略が功を奏しています。極端な集中を避けることで、スタッフが利用者一人ひとりに対し、より丁寧な対応を図ることが可能となり、体験と交流の質を高めることができる素地を築いています。

1.2 プラネタリウムでの感動体験

2022 年 3 月に導入されたプラネタリウム「CHIRONⅢ（ケイロンⅢ）」は、圧倒的な星空の美しさと臨場感、高精細な映像の魅力等により、利用者調査で「最も印象に残った体験」としてプラネタリウム・大型映像を挙げる声が多数ありました。常設展入場者に対する観覧率は 47%で、来館者のほぼ半数がドームに入っていることになり、アンケート調査では生解説主体の投映スタイルも多くの方に支持されています。

前年度は設備リニューアル効果もあり、過去最高の観覧者数（82,522人）となりましたが、今年度も81,861人とそんな実績となり、利用者の拡張と固定ファンを作るという目標に向け成果が表れつつあります。

1.3 常設展示更新事業

2024年度に実施する常設展示更新（第一期）については、前年度に実施した『展示更新のためのモニタリング報告書』を受けて、『浜松科学館 展示リニューアル 2024/2026 基本計画書』を作成しました。展示更新のビジョン＜自由に楽しみ、「面白そう」があふれる広場＞の下に「プロセスを重視した探求・創造・交流の場」等の5つの視点を新たに掲げて、Society5.0を見据えて従来の発想を超えた展示空間を造ることを目指します。事業の特徴として、運営スタッフを中心に設置者等を交えたプロジェクト会議を定例的に実施し、設計コンサルティングで浜松を拠点とする建築家に会議へ加わってもらうことでアイデアの整理や具現化が進み、制作・施工体制も地元のメンバーで構成する方針です。また、D E & Iの考え方を軸に据えたことで、これまで科学館に来ていない（来られない）さまざまな背景の方々に、リードユーザーとしてリニューアル事業に参画していただくことも特筆されます。

【事業目標2】 地域に開かれ、市民に愛される科学館づくり

2.1 オリジナルコンテンツの独創性

科学館のスタッフが事業プログラムを内製し、独自のコンテンツ作成を進めていることで、他では味わえない雰囲気や施設固有の魅力となっています。「浜松科学館ならではの」事業を構築することで、施設価値が市民の文化・学習体験と結びついた思い出となり、地域への愛着を生み出すきっかけとなることを狙いとしています。

春・夏の特別展はすべてスタッフが企画・制作することで、地域や身近なことを楽しみながら科学の面白さを追求する科学館独自のコンテンツを積み重ねていくことを目指しました。ほかの場所では出合えない体験で、科学館のファンとなり、地域への愛着を育むことにつなげたいと考えます。プラネタリウムでは、話題となっている天文現象などをタイムリーに紹介したり、浜松市の歴史・文化、観光に関連付けたりしたオリジナルコンテンツを制作していて、宇宙に興味を持ってもらい、地域の価値創造にも寄与することに努めてきました。

4年目を迎えた夜の科学館は、毎月、新たなテーマを設定して全フロアで展開しました。プラネタリウム投映をはじめ、サイエンスショー、でんけんラボ、ミニワーク、展示ガイド、ショップ等を組み合わせて、大人が科学館をゆっくりと楽しめる時間を提供しています。

2.2 教育機関との連携

幼年期から児童期に科学館を体験することが、後々の施設への親近感や訪問動機に大きく影響することが指摘されています。このため、学校、幼稚園・保育園等の団体利用の促進に努め、科学館ニューズレター「COMPASS」やフライヤーの配布、市内外の校長会・理科学研究部会等でのPR活動に精力的に取り組みました。また、浜松市内の全小学校校庭のパノラマ風景が投映できる新システムにより、プラネタリウム学習投映の際に学習効果がより高まったという評価も得ています。浜松市新規採用教職員研修、教育研究会理科部会研修会、生涯学習施設職員およびボランティアのための実技研修会、中学生の職場体験活動、大学生の博物館実習等、可能な限り教育機関との連携を拡張できるよう努めました。

2.3 ボランティア活動の拡充

市民が科学館のパートナーとして活動し、利用者と共に科学を楽しむ文化の創造を目指しています。ボランティア登録者は48人で、うち28人が中学生・高校生のジュニアボランティアとなり、4年間継続した高校生が浜松市「青少

年の表彰」に選ばれています。成人のボランティアでは、自主イベント「Mite Mite」の企画・運営や自然観察園の手入れ・観察等の独自のプログラムの実施やミニワークショップの運営補助、研修会の実施等を通して、スタッフとの協働がより一層進展しました。活動日数は延べ130日間（年間開館日の41%）に及び、安全管理等の研修も経て科学館で不可欠の役割を担っています。

ボランティアへのアンケート調査からは、「充実感を味わえた」（一般・ジュニア共95%）、「知識や経験が豊かになった」（一般100%、ジュニア95%）、「さまざまな世代、年代のボランティアと交流できた」という質問では、一般95%、ジュニア100%とあり、活動の充実度や世代間交流が高く評価されています。また、「科学に対する興味や関心が高まった」（ジュニア92%）、「地域への関心が高まった」（ジュニア83%）、「価値観を共有できる仲間ができた」（一般89%）といった実感からも明らかなように、ボランティア活動が地域と科学館に対する良好な関係構築に寄与しています。

【事業目標3】 協働による新たな視点の提供と地域固有の価値向上

3.1 地域の様々な主体との連携

年度末の春の特別展「浜松ミクロ散歩」は、浜松の名物・名所をスタッフが取材し、電子顕微鏡を使って観察することで新たな発見・知見が得られる展示となりました。地域の特色と科学の視点を掛け合わせることで、新たな交流が広がりシナジーが生じ、新しいアイデアや視点を共有することで、双方にとってより良い関係を築いていくことが期待できます。科学館のスタッフが地域に赴いて、専門性に裏打ちされた先進的な知見と技術を伴って訪問することのインパクトは予想以上に大きなものでありました。浜松市天文台との連携を深め、プラネタリウム観覧割引券の配布や「街なか天体観察会」を開催し、天文台ボランティアを含めた相互交流とイベントの拡張を図っています。新たな連携事業としては、JR 東海と共催で鉄道の仕事を体験できるワークショップを開催しました。新幹線、在来線の各チームが多彩なプログラムを展開して、従来にない独創的な学びの機会を作ることができました。

また、大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせ、番組関連グッズコーナーを設置したほか、市内各施設と協力して「浜松まちなか大合戦 2023 夏の陣」を実施したほか、浜名湖花博 2024 開催に係る連携協定を締結して、生解説プラネタリウム番組「花と星めぐり」の特別投映、花博 PR 動画投映、ガーデンパーク会場での PR（タイムトンネルの星座展示協力）、入場チケットの販売等を通じて観光を起点とした地域の大型イベントで積極的に役割を果たしました。その他、前年度から開催している「みらいーらクリスマスマーケット」やミュージアムショップでの特産物販売等を通し、地域の様々な主体との連携の可能性を拡張して科学館の存在意義の向上に努めました。

3.2 ユーザー・エクスペリエンス（UX）の価値向上

科学館を利用する一連のプロセスの各段階で適切な情報発信を行い、利用者の体験価値の向上に努めました。施設ブランディングを意図したニューズレター等の広報物を内製し、科学館で事業に携わるスタッフの人物像が伝わるような発信を継続することで、利用者が科学館への親しみや公共施設としての安心感・信頼感を抱き、支援したい気持ちや来館意欲の向上につながるように努めました。特に、特別展等のイベント実施のタイミングで動画や画像を SNS や Web サイトにアップして、内容やイメージの拡散を図っています。さらに組織的にユーザー・エクスペリエンスの価値を高めるため、受付や電話応対等のバックヤード業務で各スタッフが丁寧な対応に努め、新たにコンシェルジュサービスを試行することで市民やステークホルダーとの良好なコミュニケーション機会を増やし、様々な場面での関係構築を図りました。

【事業目標 4】 持続可能性の向上を目指した適正なマネジメント

4.1 施設価値の向上を目的としたマネジメント

施設価値を向上させることを目的に、ブランディング、集客、業務の品質に的を絞ったマネジメントに取り組みました。ブランディングでは、特にオウンドメディアの魅力を高めることに努め、デザインや発信のタイミング等を最適化しており、集客につながる形で展開しています。オウンドメディアの主力であるニューズレター（COMPASS）は、年間 5 回・計 37 万部を発行し、近隣市町を含む小学校全児童に配布し続けている効果は非常に高く、科学館のイメージや認知度を上げており、年間利用者目標数（17 万人）を底支えています。新たに取り組んでいる動画配信やブログ、SNS の活用により、公式 Web サイトのユーザー数は 30 万 7 千人となり、前年度を上回って過去最高を記録しており、来館時に参考としたメディア等のトップになっています。インターネット経由の情報発信は、今や特定の世代・層に限らず広範な利用者層が参照するツールとなっていることから、アクセシビリティに十分配慮して運用しています。

業務の質的向上の鍵となるスタッフマネジメントについては、専門的なセミナーや研修会への参加等を通じて博物館での実践的な取り組みを研究する機会を積極的に設けています。マネジメントとの四半期ごとの面談を通して、個々のスタッフの組織的コミットメントを高め、適正な人事配置や評価制度の運用により、異動や昇格、新規採用等による組織体制の強化を図っています。

4.2 環境整備・安全対応

科学館の敷地は、駅南地区の貴重な緑地として多くの市民に親しまれています。この貴重な環境を良好に維持するために、自然観察園の整備をボランティアと共に定期的に実施して、適正な生物相の維持・保全に取り組んでいます。敷地周辺の清掃、樹木・植栽の剪定、除草等によって、美観にも留意した管理を行っています。また、夜間・休館日の飲酒や騒乱、器物の汚損、自転車の盗難等に対して、浜松中央警察署の協力で巡回（警邏）を強化するなど、サイエンスパーク及び自然観察園の適切な維持管理に努めました。

COVID-19 感染症対応は感染症法の位置づけが「5 類感染症」に移行したことに伴い、一律に利用者へ対策を求めることはなくなりましたが、引き続き感染症予防の観点から、館内での消毒液の設置や清掃作業の徹底、全館の換気量モニタリングに基づく適正な換気等に取り組んでいます。スタッフの感染予防対策や健康管理にも十分留意し、利用者が安心して過ごせる空間を提供し続けられるように努めています。

4.3 危機管理対応訓練

科学館では年 2 回、休館日に避難誘導訓練と防災研修会を実施していますが、従来の火災時に加えて、今回から地震による大規模災害を想定した訓練にも取り組みました。スタッフが携行できるアクション・カードに基づき、実際に震災時のシミュレーションを行うことで課題が明確になり、手法の改善や機材の準備等の方法が具体的になり、実効性の高い訓練を実施することで協力会社を含む従事者の防災意識を高めることに寄与しています。

4.4 サポーター会員制度

科学館の事業に賛同し支援をいただくため、地域の企業・団体等を対象にサポーター会員を募る活動に取り組んでいます。47 社（58 口）からいただいた会費は、既存の科学館事業を更に拡充させる際の追加活動資金に充てることとし、特別展や夜の科学館、各種講座・ワークショップの実施経費、プラネタリウムや大型映像の番組制作・上映費用の一部に充当させていただきました。

4.5 個人情報保護マニュアルの改正と運用

科学館が取り扱う個人情報は、事業への参加申し込みや職員雇用、ボランティアの登録等に関連した限定的な事項に限られます。これらを適切に管理し、保護するためにマニュアルに基づき適正な運用を行っています。特に、個人情報の取得、利用、保存、提供、削除・廃棄に関するルールと手順の明確化に留意し、不要になった情報は速やかに処理するよう図っています。

令和5年4月の法規定の改正に伴い、個人情報保護委員会から示されているガイドラインに則った取り扱いが行えるよう、従来のマニュアルの内容を更新し、社会情勢や組織の実情に合わせて適切な運用が行われるように努めています。

令和 5 年度浜松科学館指定管理業務事業報告書

令和 6 年 5 月

浜松科学館指定管理者

乃村工藝社・S B S プロモーション共同事業体

〒430-0923 浜松市中央区北寺島町 256 番地の 3

Tel.053-454-0178 Fax.053-454-0184

info@mirai-ra.jp